

龍野市・新宮町・揖保川町・御津町
合併に関する住民意向調査

【報告書】

平成16年9月

龍野市・新宮町・揖保川町・御津町合併協議会

目 次

住民意向調査の概要.....	1
問 1 居住者の属性.....	2
(住所).....	2
(性別).....	2
(年齢).....	3
(職業).....	4
(居住歴).....	5
問 2 日常生活の活動範囲.....	6
問 3 居住環境評価	13
問 4 合併に関する情報提供方法	18
問 5 合併への期待	22
問 6 合併への不安	31
問 7 将来のまちづくりの重点	40
問 8 自由記述欄	55
住民意向調査のまとめ	56

住民意向調査の概要

調査の目的

合併に関連する情報を住民に的確に提供し、現段階で合併について住民が持つ期待感や不安感、将来のまちづくりへの意向等を把握するとともに、新市建設計画の検討や合併協議などにおける基礎的資料として活用することを目的とする。

調査対象

龍野市・新宮町・揖保川町・御津町在住全世帯（25,421世帯）を対象とする。

調査方法

龍野市・新宮町・揖保川町・御津町の自治会を通じて配布し、郵送にて回収を行った。

調査期間

平成15年7月3日（水）～平成15年8月15日（金）

回収状況

回収数 11,402票（回収率44.9%）

参 考

市町別回収率

市町名	配布数	回収数	回収率 (%)
龍野市	12,850	5,349	41.6
新宮町	4,760	2,128	44.7
揖保川町	3,962	1,890	47.7
御津町	3,849	1,881	48.9
不明		154	1.4
合計	25,421	11,402	44.9

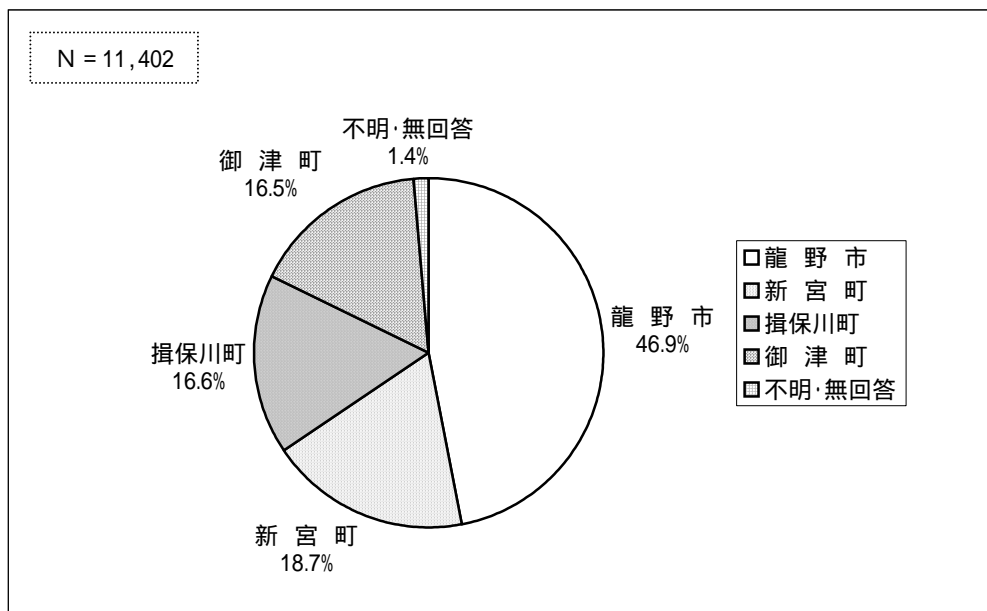
この報告書は、龍野市・新宮町・揖保川町・御津町・太子町合併協議会が行った「龍野市・新宮町・揖保川町・御津町・太子町合併に関する住民意向調査」の集計情報から、龍野市、新宮町、揖保川町、御津町住民の回答票を再集計し、整理したものである。

そのため、調査設問には「太子町」を含んだ表現が残されている。

まずはじめに、記入されているあなた自身のことについておたずねします。

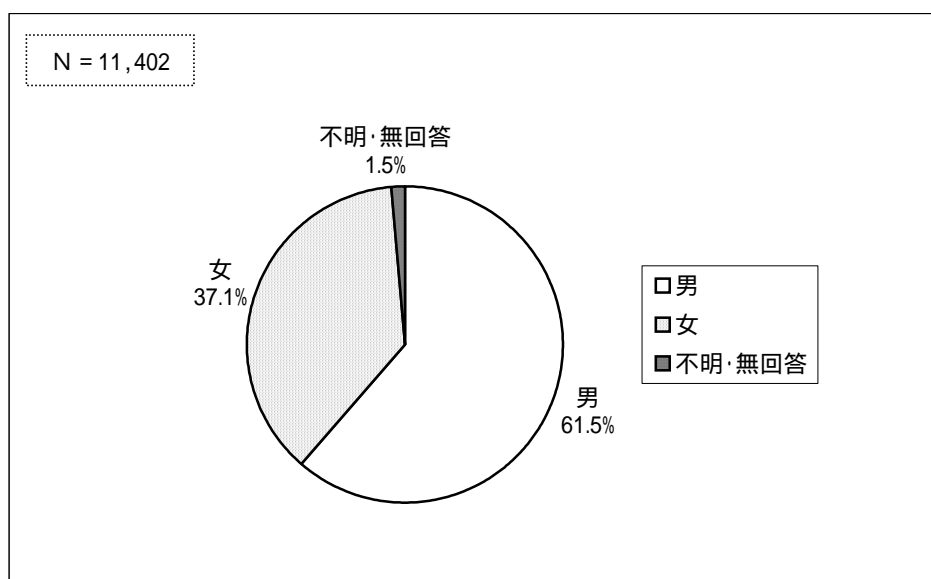
問1 あなたのご住所、性別、年齢、職業についてお答えください。(1つに)

(住所) 1. 龍野市 2. 新宮町 3. 揖保川町 4. 御津町



回答者の住所は、それぞれ、「龍野市」が 46.9%、「新宮町」が 18.7%、「揖保川町」が 16.6%、「御津町」が 16.5%となっている。

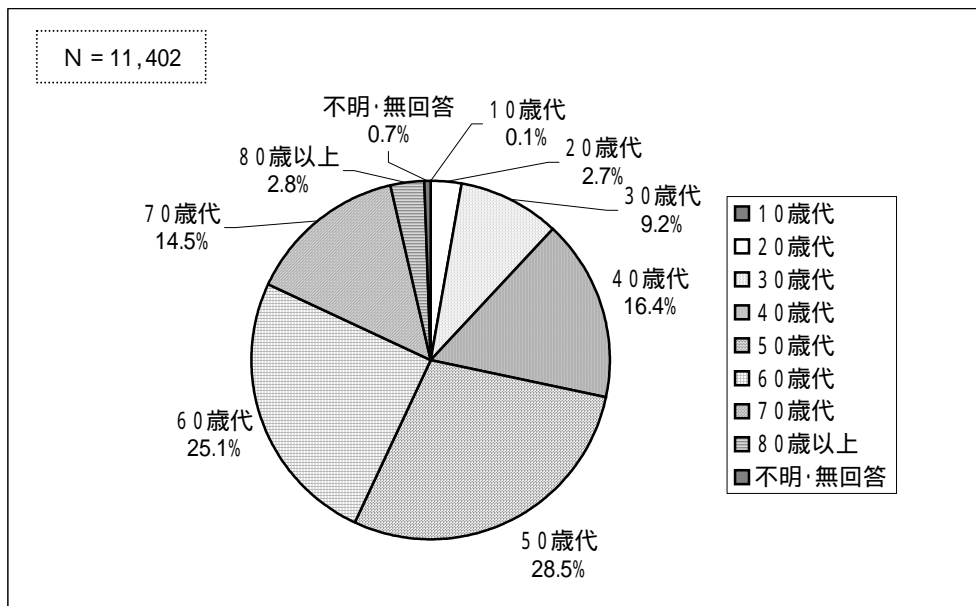
(性別) 1. 男 2. 女



回答者の性別は、「男」が 61.5%、「女」が 37.1%となっている。

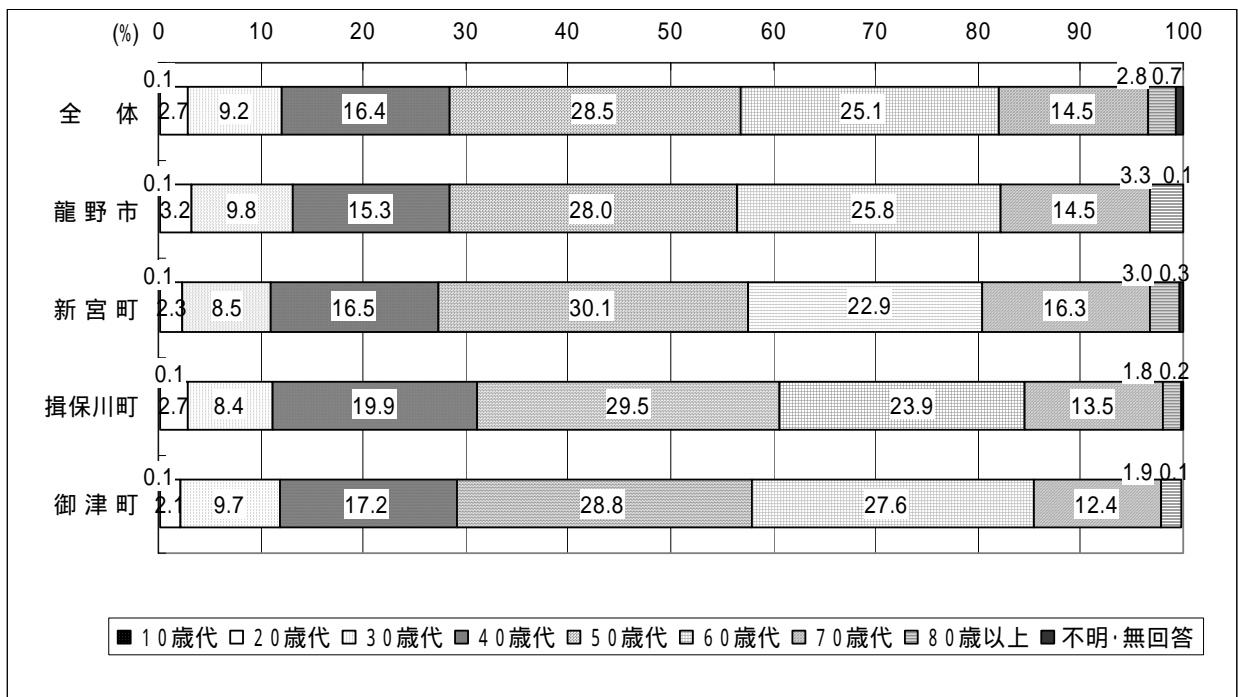
(年齢)

1 . 10 歳代	2 . 20 歳代	3 . 30 歳代	4 . 40 歳代
5 . 50 歳代	6 . 60 歳代	7 . 70 歳代	8 . 80 歳以上



回答者の年齢は、「50 歳代」が 28.5%と最も多く、次いで「60 歳代」が 25.1%、「40 歳代」が 16.4%、「70 歳代」が 14.5%、「30 歳代」が 9.2%と続く。さらに、「80 歳以上」が 2.8%、「20 歳代」が 2.7%、「10 歳代」が 0.1%となっている。

年齢構成 × 地域別クロス



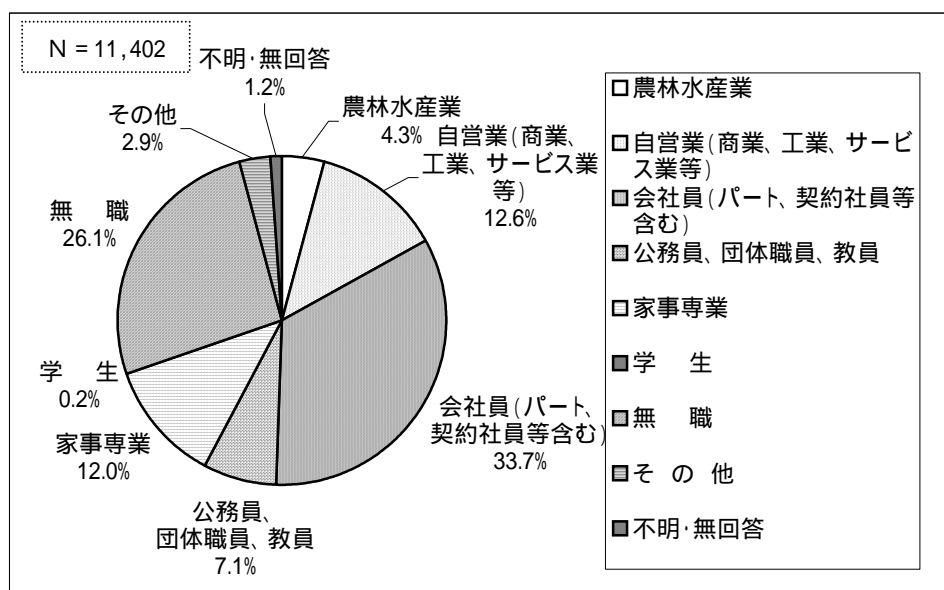
地域別

< 各市町の年齢構成はほぼ類似 >

概ね各市町とも類似した構成比率になっているが、揖保川町においては、「40 歳代」の割合が、また、新宮町においては、「70 歳代」以上の割合が、他市町に比べやや大きくなっている。

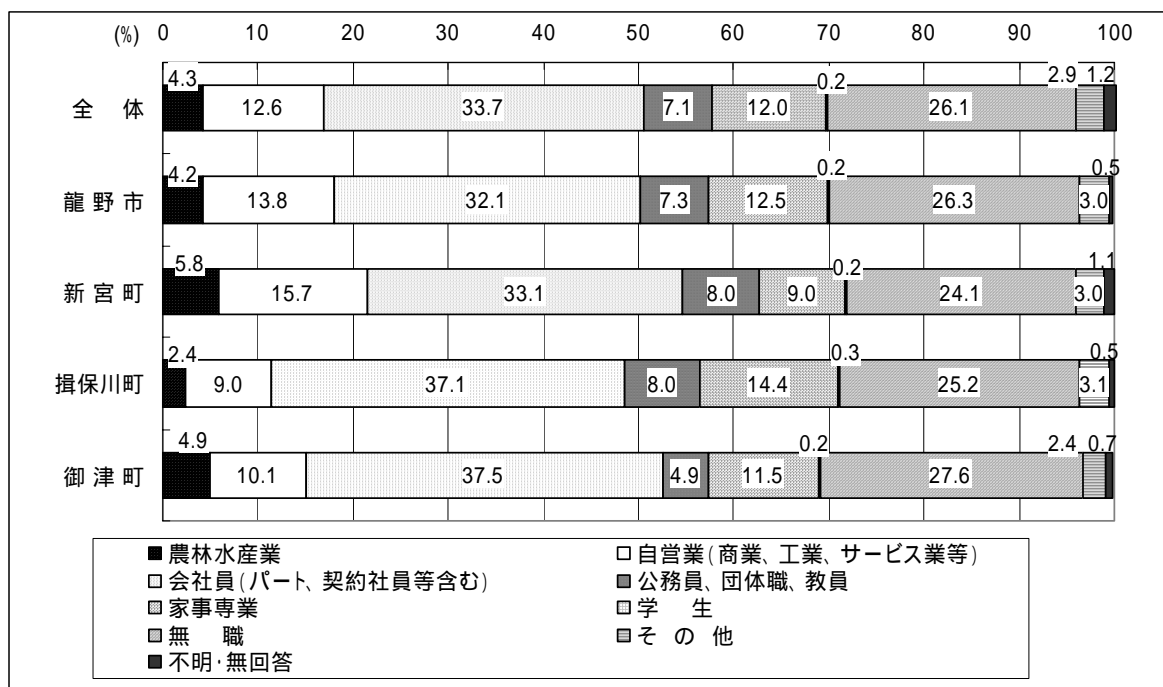
(職業)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 自営業(商業、工業、サービス業等) |
| 3. 会社員(パート、契約社員等含む) | 4. 公務員、団体職員、教員 |
| 5. 家事専業 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他 () |



回答者の職業は、「会社員」が 33.7%と最も多く、以下「無職」が 26.1%、「自営業」が 12.6%、「家事専業」が 12.0%と続いている。

職業×地域別クロス



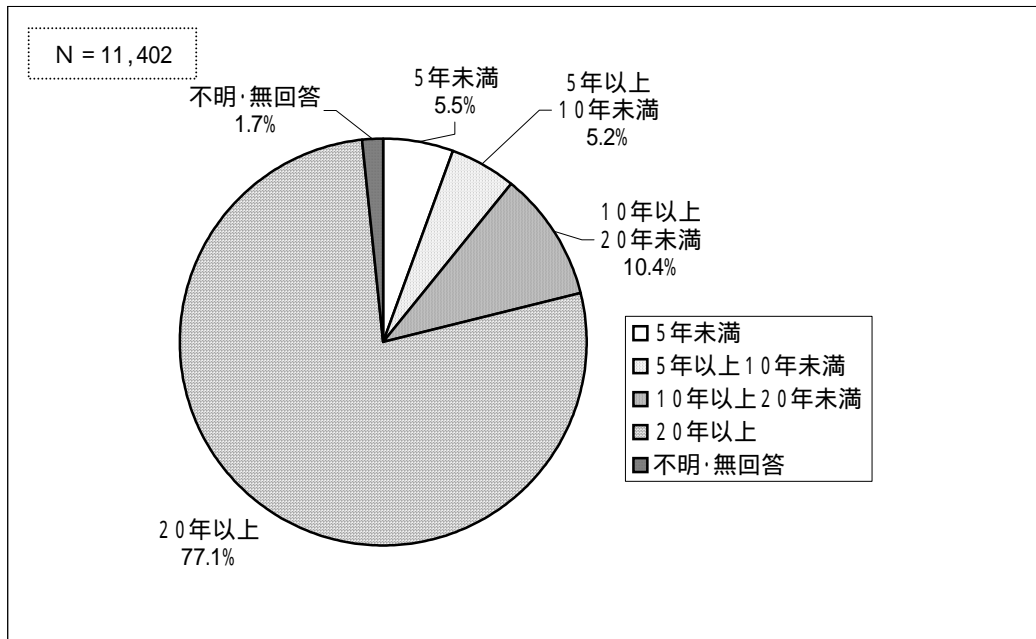
地域別

<新宮町で農林水産業、自営業がやや多く、御津町では会社員がやや多い>

新宮町では、「農林水産業」「自営業」の割合がやや多くなっている。また、御津町では、「会社員」「農林水産業」の割合が若干大きくなっている。

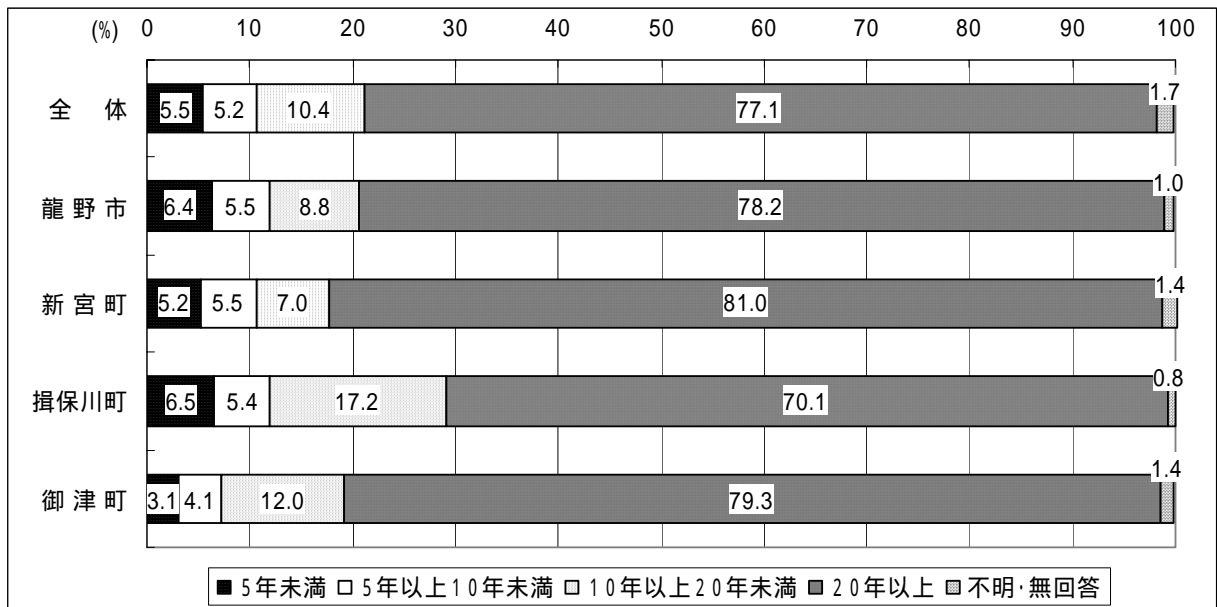
(居住歴)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 |
| 3. 10年以上20年未満 | 4. 20年以上 |



回答者の居住歴を見ると、「20年以上」と答えた回答者が全体の77.1%を占めている。次いで「10年以上20年未満」が10.4%で、「5年以上10年未満」と「5年未満」を合わせた居住歴10年未満の回答者は10.7%となっている。

居住歴×地域別クロス



地域別

<各市町とも居住歴20年以上の人が多く>

各市町とも居住歴「20年以上」の回答者が多くあり、龍野市、新宮町、御津町で80%前後を占めている。揖保川町では「10年以上20年未満」が17.2%と高い割合を占めている。

あなたの活動範囲についておたずねします。

問2 あなたの日常生活の主な活動範囲はどこですか。それぞれの項目で主たる地域を1つ選んで該当する番号を で囲んでください。

目 的	地 域										
	龍野市	新宮町	揖保川町	御津町	太子町	相生市	姫路市	神戸市	その他県内	県外	
通勤・通学	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
しゃれた物や高価な物の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
レストランなどでの飲食	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
病院・診療所の利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
音楽会、観劇、美術鑑賞	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
自然に親しむ近距離の行楽	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

< 姫路市、龍野市に主な活動範囲が集中 >

「通勤・通学地」では、龍野市で21.5%、姫路市で16.9%となっている。

「食料品・日用品の買い物」では、龍野市で48.6%と最も多く、次いで新宮町の11.9%と続いている。

「しゃれた物や高価な物の買い物」では、姫路市が60%近くを占めている。次いで神戸市11.1%、龍野市10.1%と続いている。

「レストランなどでの飲食」では、姫路市が38.3%と一番多く、次いで龍野市の23.7%となっている。

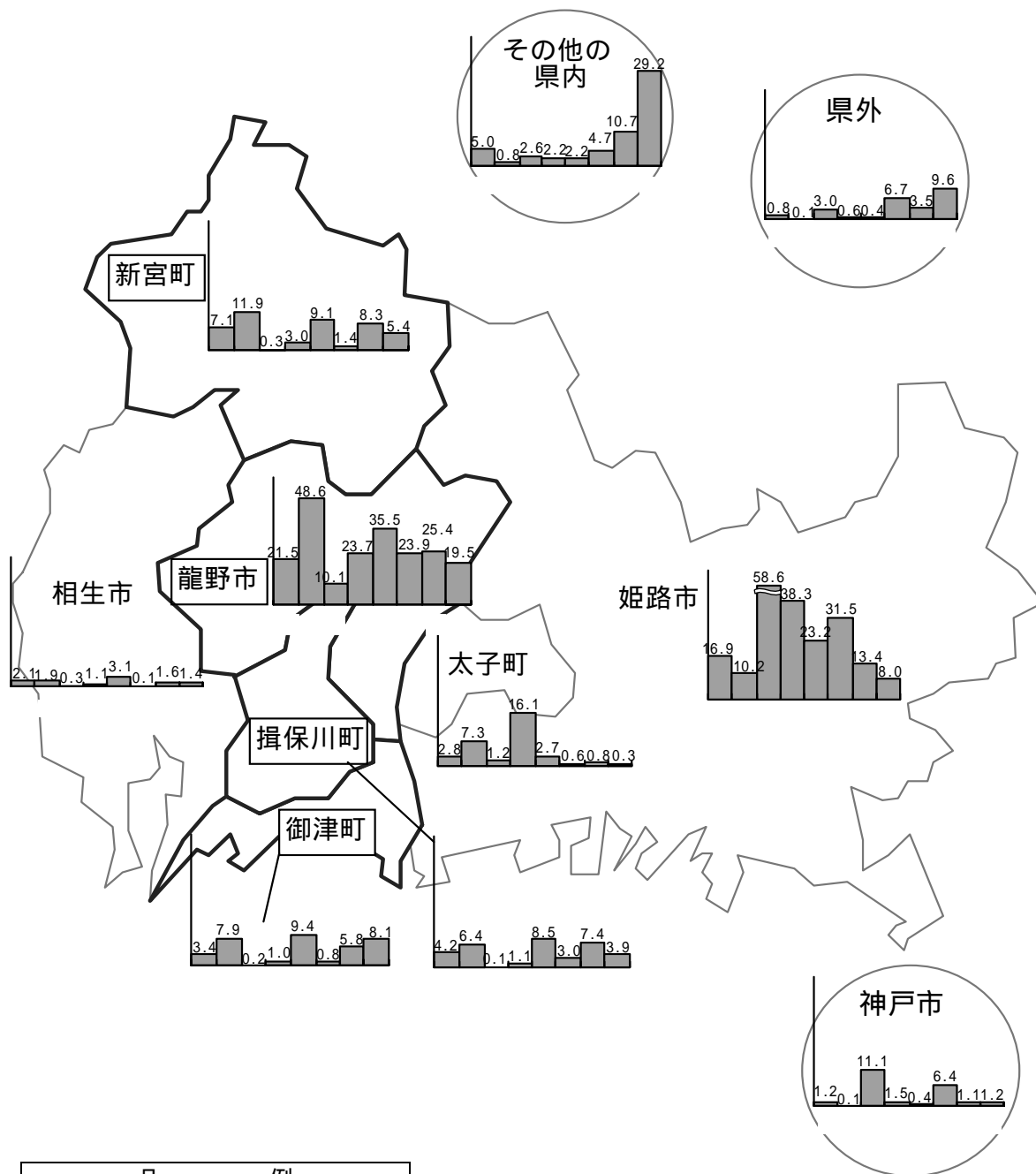
「病院・診療所の利用」では、龍野市が35.5%、姫路市が23.2%となっており、御津町9.4%、新宮町9.1%と続いている。

「音楽会、観劇、美術鑑賞」では、姫路市が31.5%と最も多く、次いで龍野市の23.9%、神戸市、県外がそれぞれ6%代で続いている。

「スポーツ・レクリエーション」では、龍野市が25.4%と最も多く、次いで姫路市の13.4%、その他の県内の10.7%と続いている。

「自然に親しむ近距離の行楽」では、その他の県内が29.2%と最も多く、次いで龍野市の19.5%、県外の9.6%、御津町の8.1%となっている。

日常生活の主な活動範囲



凡 例	
通勤・通学地	自然に親しむ近距離の行楽
食料品・日用品の買い物	スポーツ・レクリエーション
しゃれた物や高価な物の買い物	音楽会、観劇、美術鑑賞
レストランなどの飲食	病院・診療所の利用

地域別

<身近な活動を中心に自市町内での活動が多い。1市3町内では龍野市、それ以外の地域では姫路市で活動する人が多い。>

「通勤・通学地」では、龍野市（37.9%）と新宮町（31.2%）で、居住地域に通勤・通学している回答者の割合が比較的多い。一方、御津町（32.9%）、揖保川町（16.8%）をはじめ、各市町で10%を超える回答者が、姫路市に通勤・通学している。

「食料品・日用品の買い物」では、龍野市で80%を超え、新宮町も居住地域で買い物をする人が60%を超えている。また、揖保川町、新宮町から龍野市へ買い物に行く人が多くなっていることと、御津町から姫路市へ買い物に行く人が多くなっていることがうかがえる。

「しゃれた物や高価な物の買い物」では、各市町とも半数を超える回答者が姫路市、次いで、10%前後の人が神戸市と回答している。

「レストランなどでの飲食」では、龍野市（33.2%）で居住地域で飲食している割合が比較的高い。一方、姫路市で飲食する人の割合も高くなっており、特に御津町では75.0%の人が姫路市へ出かけている。

「病院・診療所の利用」では、龍野市（64.2%）をはじめ、各市町で50%前後の人が居住地域の病院・診療所を利用している。また、姫路市の病院・診療所を利用する人も多くなっており、御津町では40%を超えている。

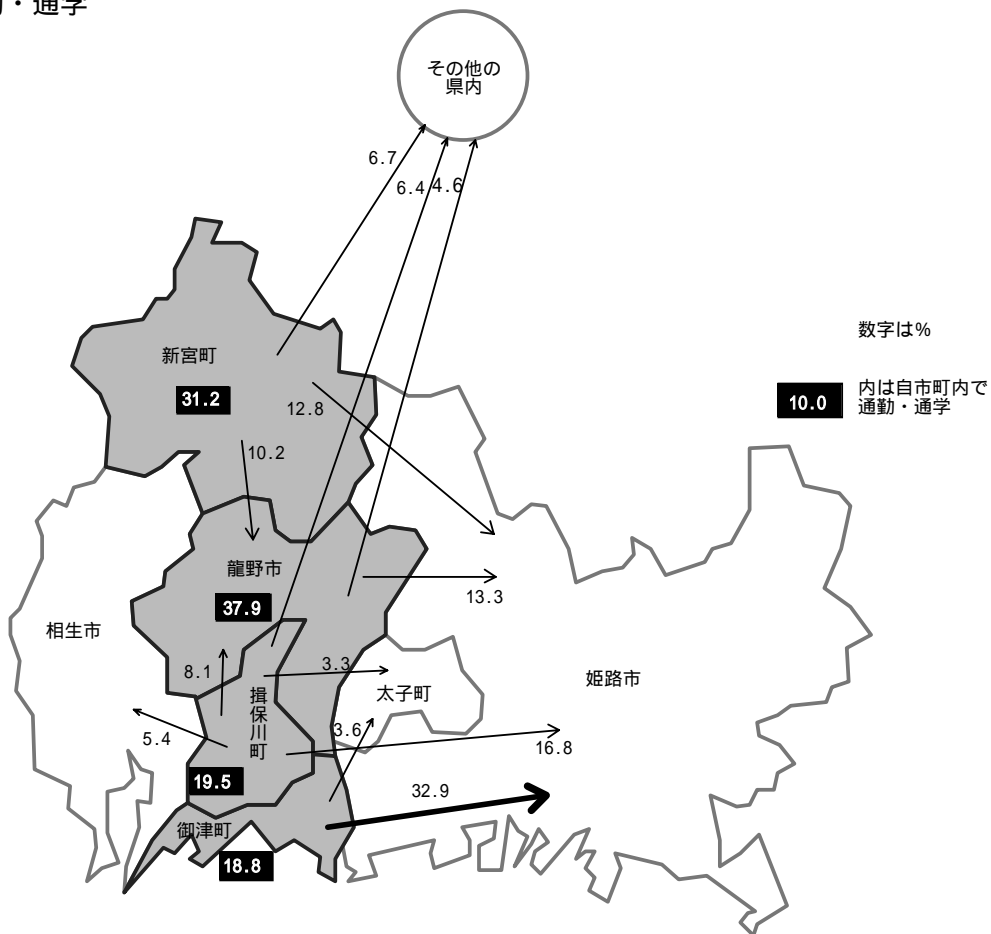
「音楽会、観劇、美術鑑賞」では、龍野市で37.6%と比較的多くの人が居住地域で音楽などを鑑賞している。また、姫路市で音楽などを鑑賞している人も多く、特に、御津町では53.5%の人が姫路市へ出かけている。その他、県外、神戸市等へ出かける人も比較的多く、目的に応じて行き先が多様化していることがうかがえる。

「スポーツ・レクリエーション」では、各市町とも30%~40%台の回答者が居住地域で活動している。一方、姫路市へ出かける人も比較的多く、特に、御津町では32.1%の人が姫路市へ出かけると回答している。その他の県内へ出かける人も、各市町とも10%前後の回答となっている。

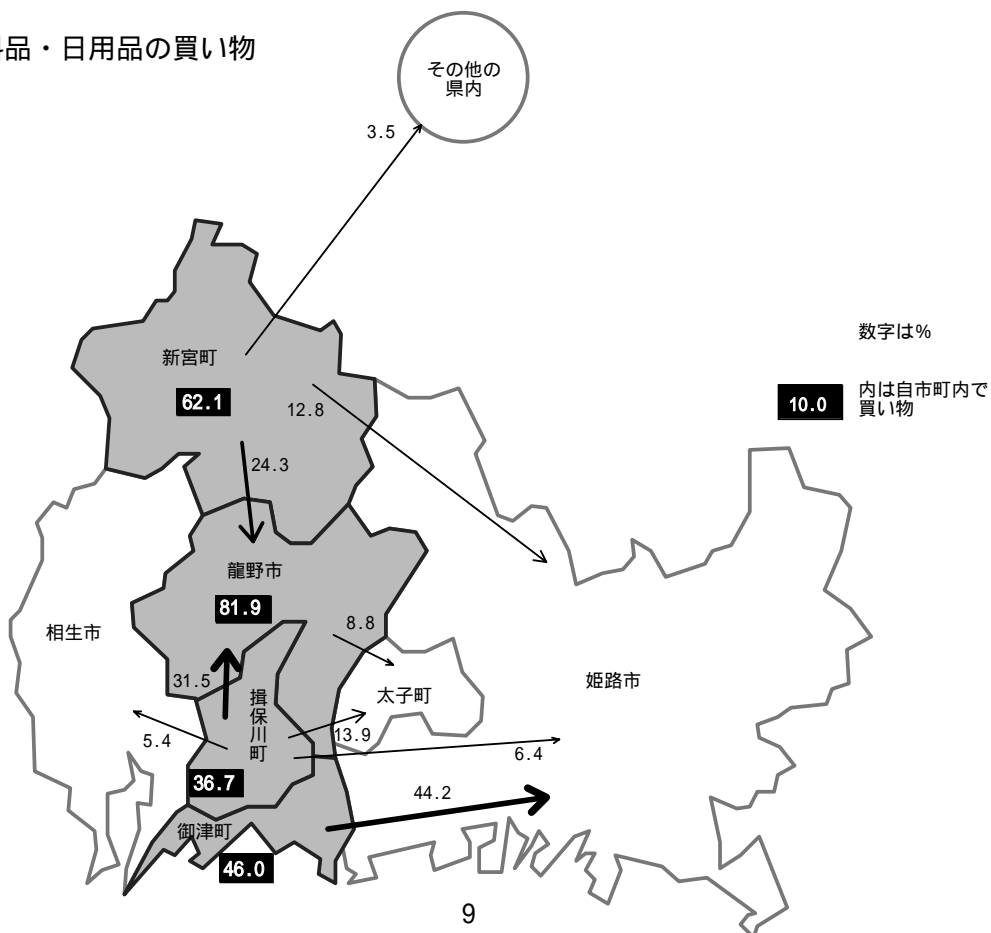
「自然に親しむ近距離の行楽」では、各市町ともその他の県内を選択している回答者が多い。龍野市、御津町で30%前後の人が居住地域で行楽していると回答している。

日常生活の主な活動範囲×地域別クロス

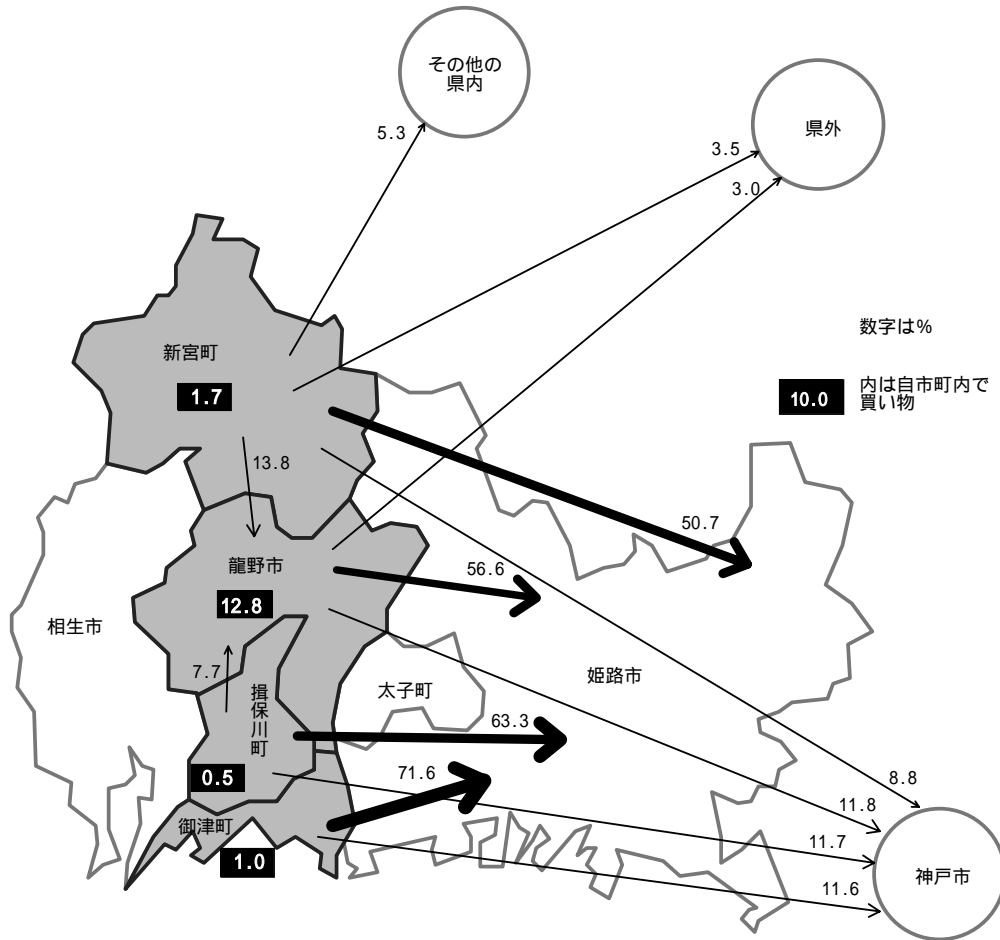
通勤・通学



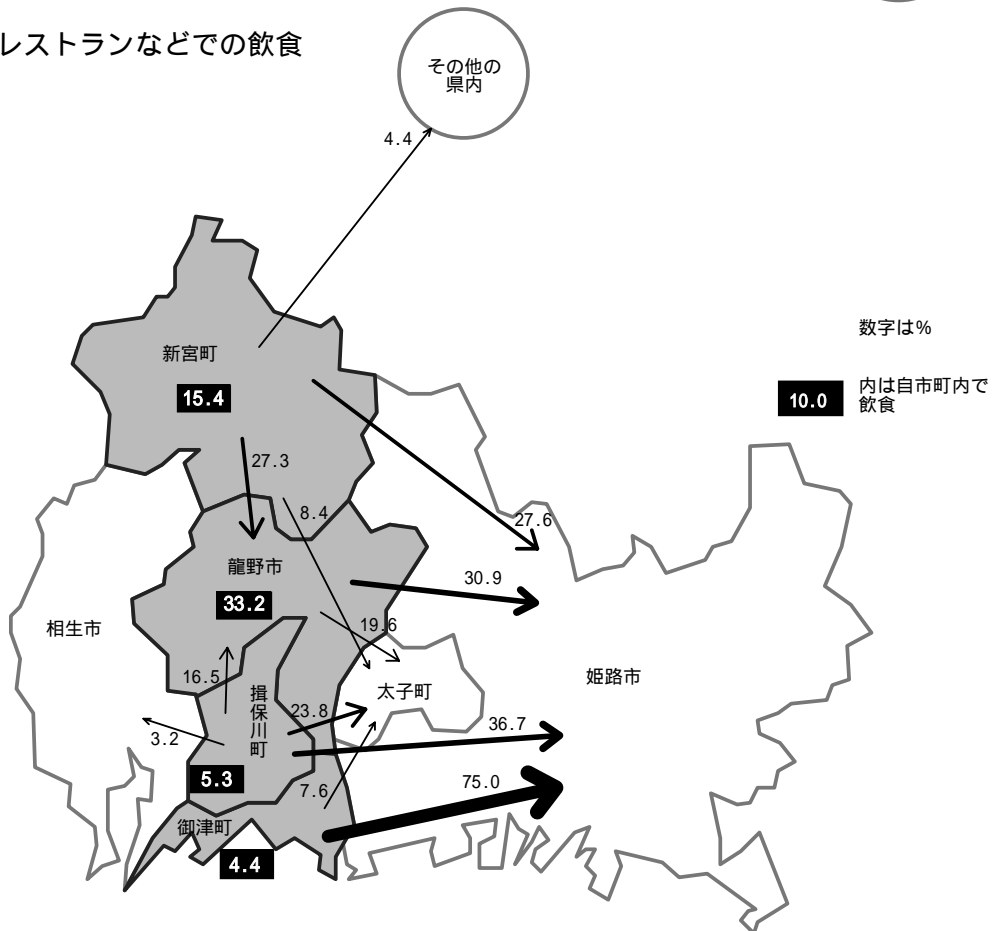
食料品・日用品の買い物



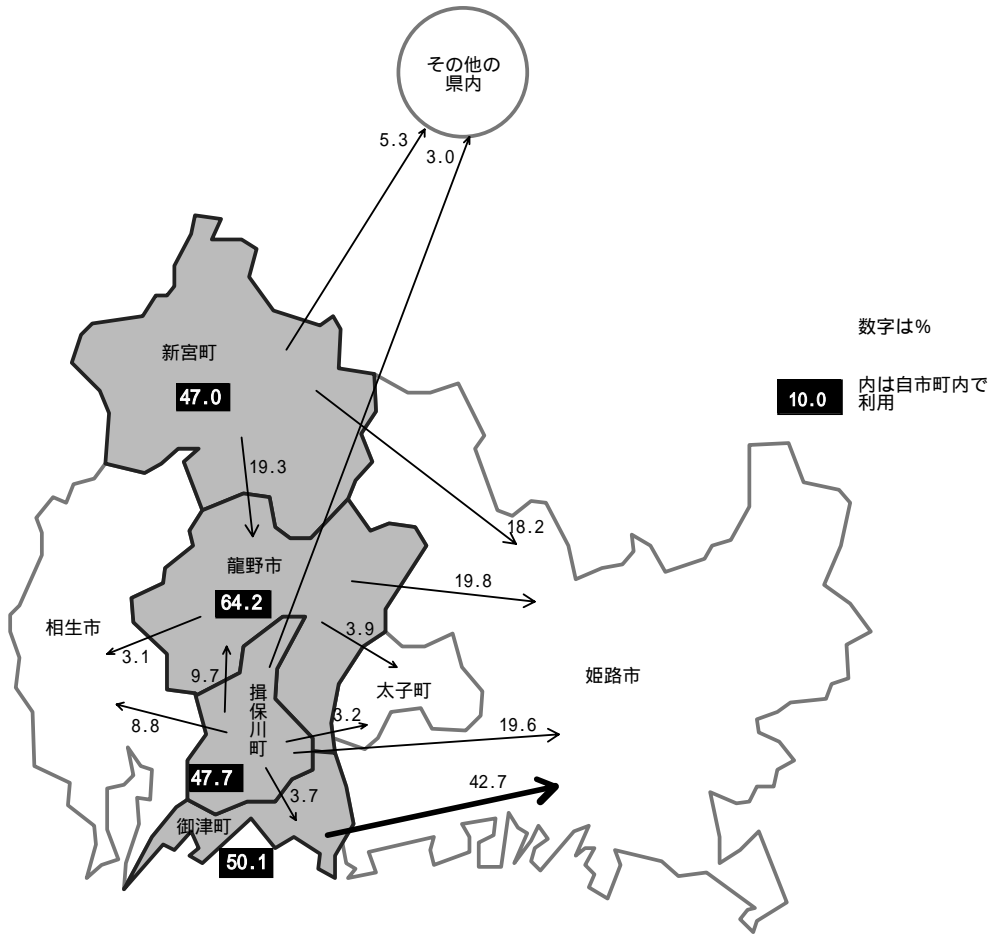
しゃれた物や高価な物の買い物



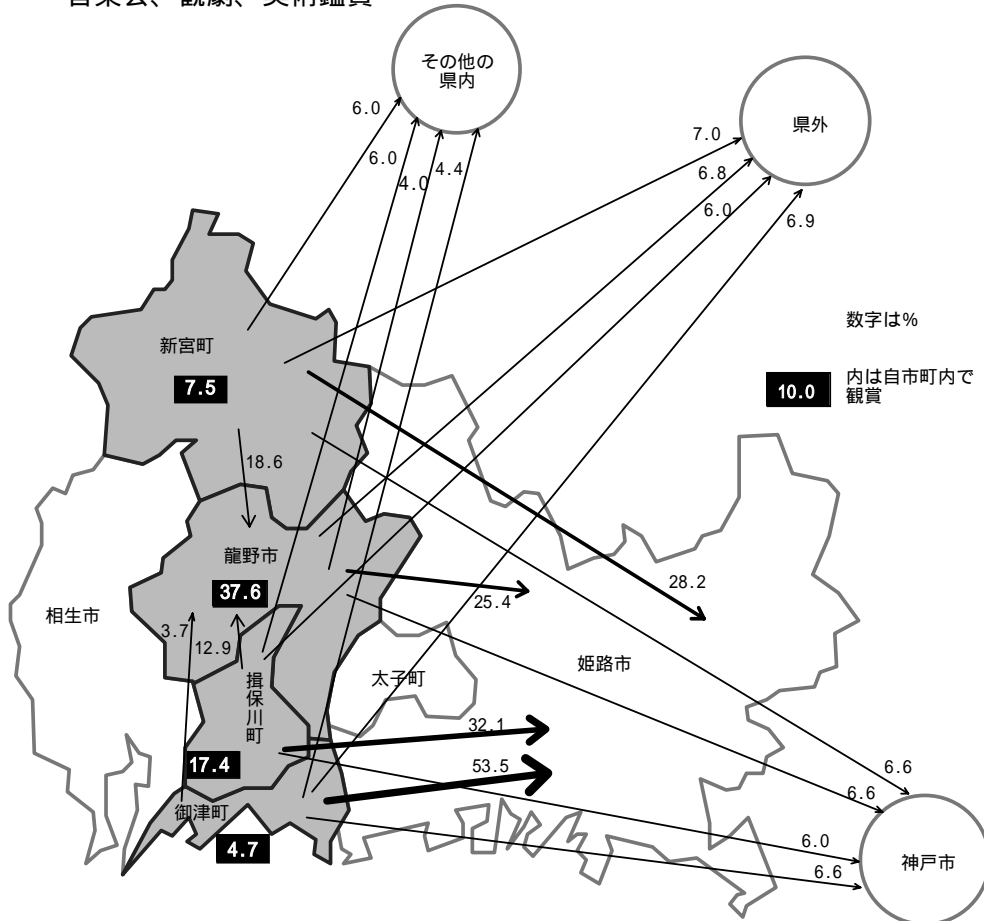
レストランなどでの飲食



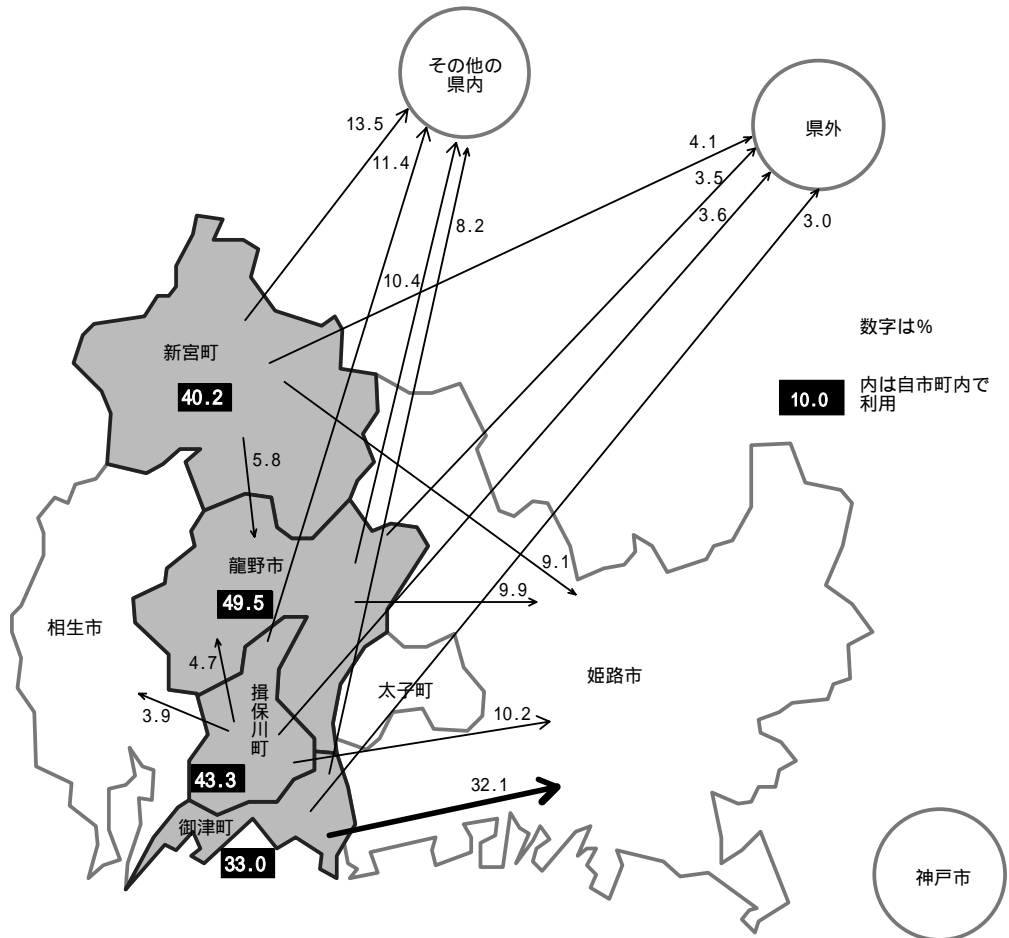
病院・診療所の利用



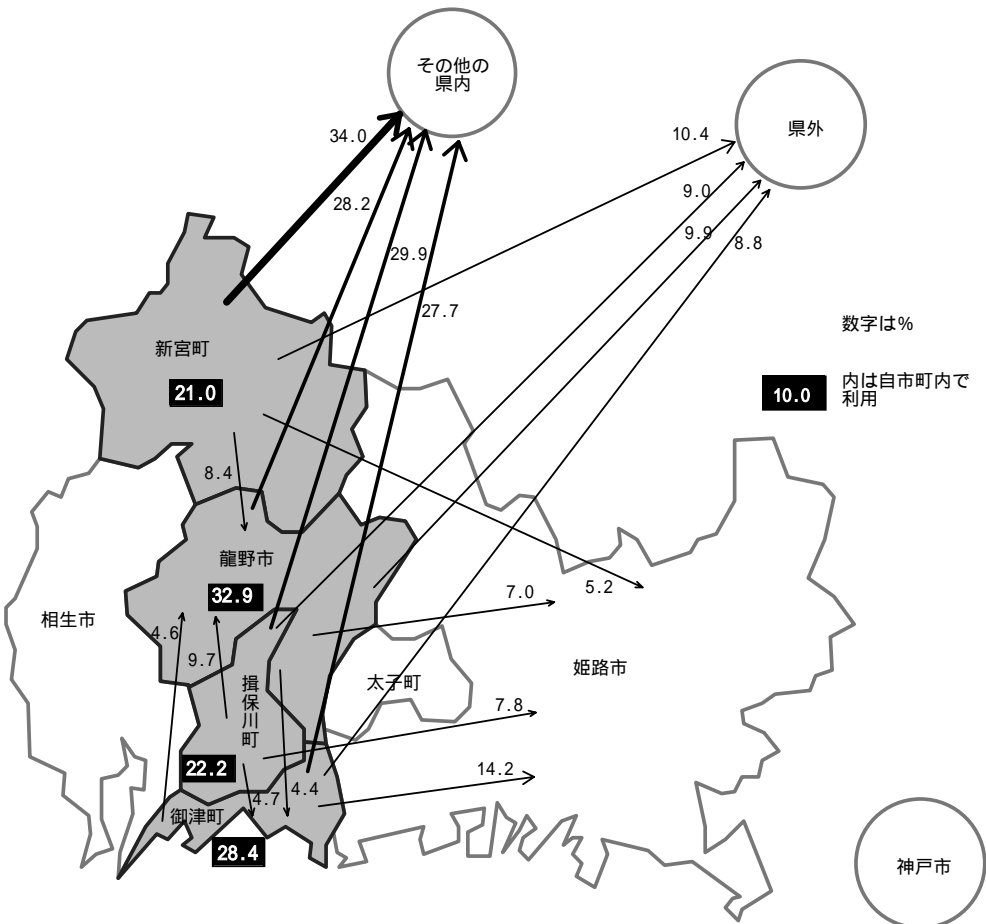
音楽会、観劇、美術鑑賞



スポーツ・レクリエーション



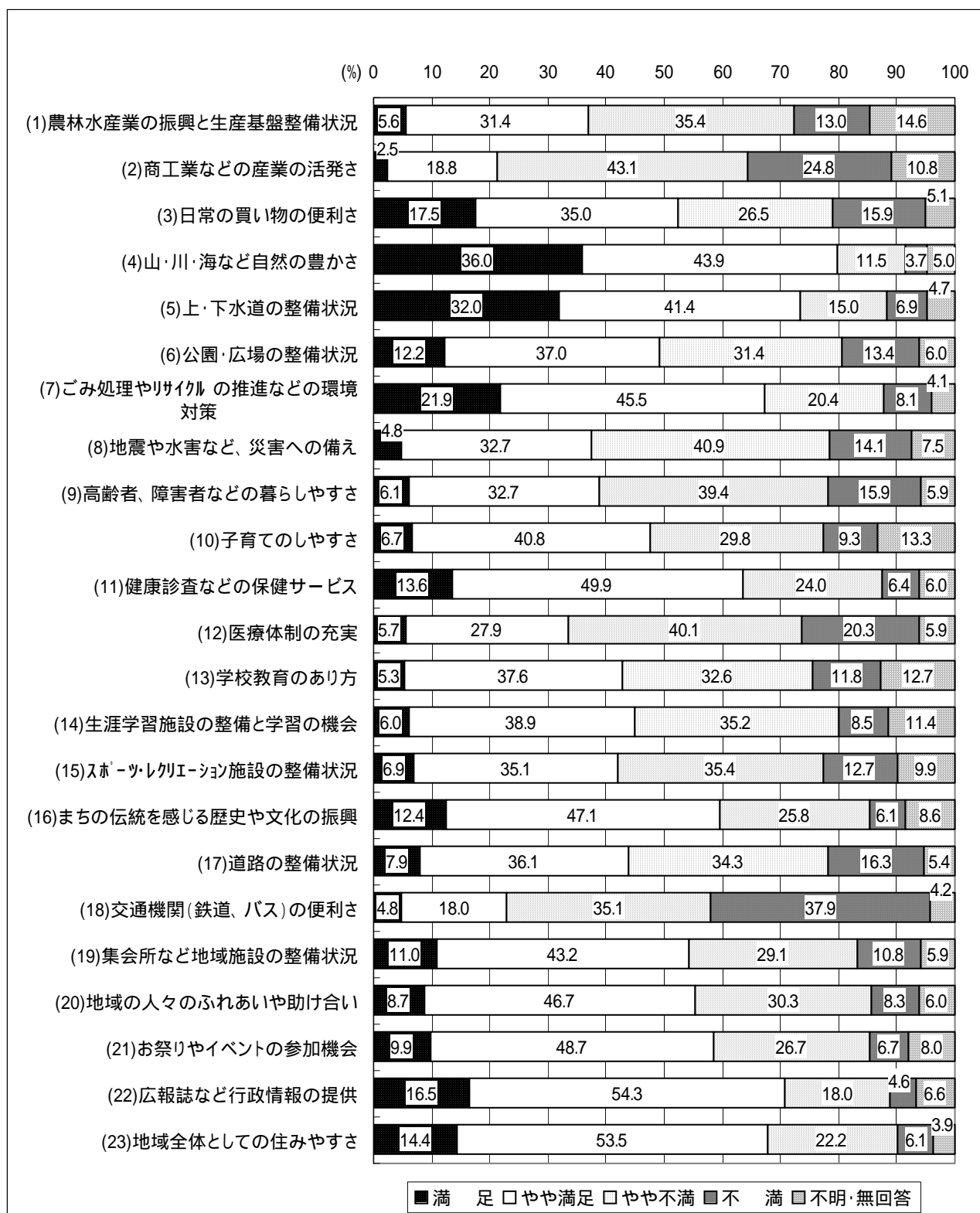
自然に親しむ近距離の行楽



現在お住まいのまちについて感じておられることについておたずねします。

問3 あなたがお住まいのまちについて、次の(1)～(23)の各項目ごとの番号に「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」の中から1つ選んで印をつけてください。

	満足	やや満足	やや不満	不満
(1) 農林水産業の振興と生産基盤整備状況.....	4	3	2	1
(2) 商工業などの産業の活発さ.....	4	3	2	1
(3) 日常の買い物の便利さ.....	4	3	2	1
(4) 山・川・海など、自然の豊かさ.....	4	3	2	1
(5) 上・下水道の整備状況.....	4	3	2	1
(6) 公園・広場の整備状況.....	4	3	2	1
(7) ごみ処理やリサイクルの推進などの環境対策.....	4	3	2	1
(8) 地震や水害など、災害への備え.....	4	3	2	1
(9) 高齢者、障害者などの暮らしやすさ.....	4	3	2	1
(10) 子育てのしやすさ.....	4	3	2	1
(11) 健康診査などの保健サービス.....	4	3	2	1
(12) 医療体制の充実.....	4	3	2	1
(13) 学校教育のあり方.....	4	3	2	1
(14) 生涯学習施設の整備と学習の機会.....	4	3	2	1
(15) スポーツ・レクリエーション施設の整備状況.....	4	3	2	1
(16) まちの伝統を感じる歴史や文化の振興.....	4	3	2	1
(17) 道路の整備状況.....	4	3	2	1
(18) 交通機関(鉄道、バス)の便利さ.....	4	3	2	1
(19) 集会所など地域施設の整備状況.....	4	3	2	1
(20) 地域の人々のふれあいや助け合い.....	4	3	2	1
(21) お祭りやイベントへの参加機会.....	4	3	2	1
(22) 広報誌など行政情報の提供.....	4	3	2	1
(23) 地域全体としての住みやすさ.....	4	3	2	1



< 70%近くの回答者が地域全体としての住みやすさに満足感を抱く >

「地域全体としての住みやすさ」について、「満足」「やや満足」と答えた方が70%近くになっている。

また、「山・川・海など自然の豊かさ」「上・下水道の整備状況」「広報誌など行政情報の提供」「ごみ処理やリサイクルの推進などの環境対策」について、「満足」「やや満足」と答えた方が70%前後となっており、特に、「山・川・海など自然の豊かさ」「上・下水道の整備状況」については、30%を超える人が「満足」と回答している。

「交通機関（鉄道、バス）の便利さ」「商工業などの産業の活発さ」「医療体制の充実」「高齢者、障害者などの暮らしやすさ」「地震や水害など、災害への備え」については、「不満」「やや不満」と答えた方が 50%を超えており、特に、「交通機関（鉄道、バス）の便利さ」には 37.9%、「商工業などの産業の活発さ」に 24.8%の人が「不満」と回答している。

地域別

< 各地域とも自然の豊かさや上・下水道の整備については概ね評価が高い。

一方、産業や交通の利便性に対する評価が低い>

「山・川・海など自然の豊かさ」については、御津町をはじめ、揖保川町、新宮町、龍野市で「やや満足」以上の点数となっている。「上・下水道の整備状況」についても、御津町、龍野市で「やや満足」を超える点数となっており、他 3 町についても「やや満足」に近い点数となっている。また、「ごみ処理やリサイクルの推進などの環境対策」については、龍野町をはじめ、揖保川町、御津町でほぼ「やや満足」に近い点数となっている。

「交通機関（鉄道、バス）の便利さ」については、御津町をはじめ、新宮町、龍野市で「やや不満」以下となっている。

「商工業などの産業の活発さ」については、新宮町、揖保川町、御津町において、「やや不満」以下の点数にとどまっている。

年齢別

< 年代があがるほど評価が高まっていく傾向がある >

多くの項目で、若い世代ほど評価が低く、年齢が高い世代の方が比較的评价が高い傾向がみられる。

特に、「スポーツ・レクリエーション施設の整備状況」や「医療体制の充実」、「子育てのしやすさ」といった教育・文化、保健・医療、福祉の分野では、その傾向が顕著になっている。

その他、「交通機関の便利さ」では 10 歳代から 50 歳代までがやや不満以下の点数となっている。

居住地域への満足度の平均点×地域別クロス

「点数」は「満足」：4点、「やや満足」：3点、「やや不満」：2点、「不満」：1点でカウント
 薄い網掛けは3点以上、濃い網掛けは2点未満 単位は(点)

	全 体	龍 野 市	新 宮 町	揖 保 川	御 津 町
(1) 農林水産業の振興と生産基盤整備状況	2.35	2.40	2.13	2.29	2.49
(2) 商工業などの産業の活発さ	1.99	2.12	1.82	1.83	1.96
(3) 日常の買い物の便利さ	2.57	2.86	2.51	2.10	2.26
(4) 山・川・海など、自然の豊かさ	3.18	3.13	3.14	3.18	3.37
(5) 上・下水道の整備状況	3.03	3.05	2.92	2.95	3.21
(6) 公園・広場の整備状況	2.51	2.55	2.18	2.64	2.63
(7) ごみ処理やリサイクルの推進などの環境対策	2.85	3.01	2.26	2.97	2.91
(8) 地震や水害など、災害への備え	2.30	2.43	2.05	2.24	2.30
(9) 高齢者、障害者などの暮らしやすさ	2.31	2.34	2.17	2.29	2.38
(10) 子育てのしやすさ	2.52	2.57	2.34	2.50	2.58
(11) 健康診査などの保健サービス	2.75	2.75	2.68	2.78	2.80
(12) 医療体制の充実	2.20	2.20	2.15	2.07	2.40
(13) 学校教育のあり方	2.42	2.42	2.30	2.51	2.45
(14) 生涯学習施設の整備と学習の機会	2.48	2.54	2.41	2.50	2.35
(15) ｽﾎｰﾙ-ｱｸﾚｲｼｮﾝ施設の整備状況	2.40	2.42	2.35	2.50	2.30
(16) まちの伝統を感じる歴史や文化の振興	2.72	2.90	2.48	2.49	2.71
(17) 道路の整備状況	2.38	2.42	2.27	2.37	2.39
(18) 交通機関（鉄道、バス）の便利さ	1.89	1.88	1.81	2.24	1.65
(19) 集会所など地域施設の整備状況	2.58	2.60	2.42	2.66	2.60
(20) 地域の人々のふれあいや助け合い	2.59	2.58	2.55	2.58	2.70
(21) お祭りやイベントへの参加機会	2.67	2.67	2.62	2.61	2.79
(22) 広報誌など行政情報の提供	2.89	2.93	2.77	2.89	2.89
(23) 地域全体としての住みやすさ	2.79	2.85	2.66	2.76	2.81

居住地域への満足度の平均点×年齢別クロス

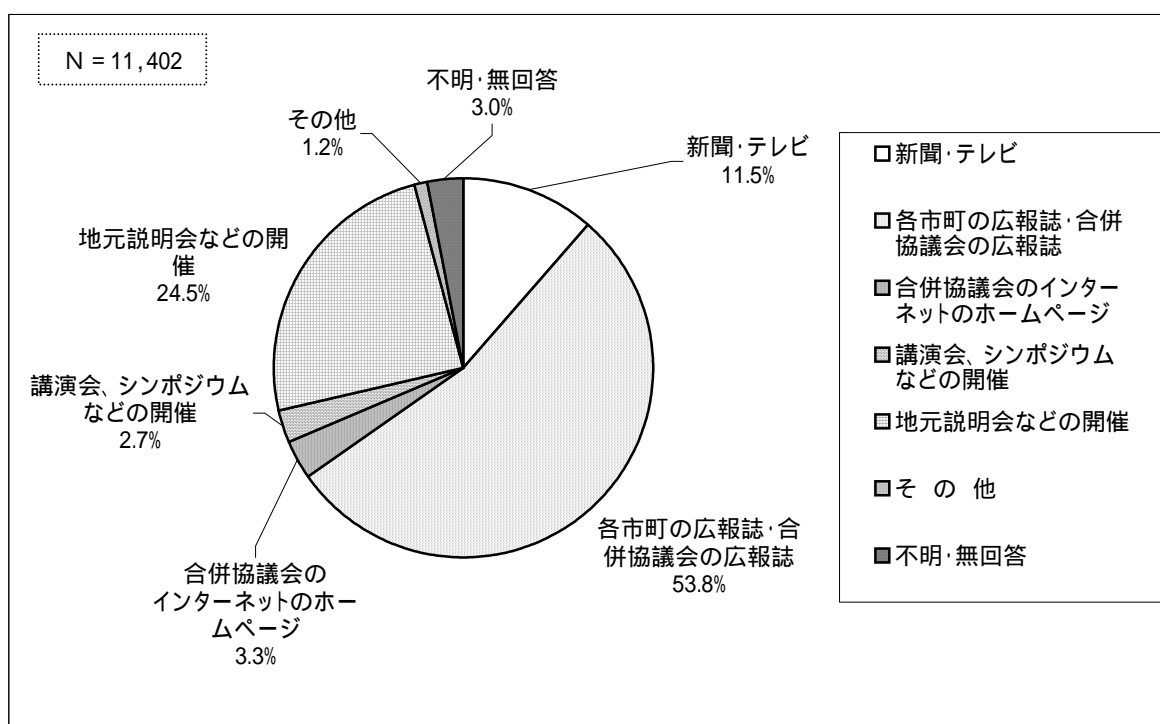
「点数」は「満足」：4点、「やや満足」：3点、「やや不満」：2点、「不満」：1点でカウント
薄い網掛けは3点以上、濃い網掛けは2点未満 単位は(点)

	全 体	10 歳 代	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 代	80 歳 代
(1) 農林水産業の振興と生産基盤整備状況	2.35	2.43	2.50	2.43	2.30	2.27	2.33	2.49	2.63
(2) 商工業などの産業の活発さ	1.99	1.71	2.03	1.94	1.89	1.92	2.05	2.17	2.31
(3) 日常の買い物の便利さ	2.57	2.07	2.39	2.26	2.36	2.57	2.73	2.77	2.74
(4) 山・川・海など、自然の豊かさ	3.18	3.36	3.21	3.23	3.18	3.17	3.13	3.23	3.39
(5) 上・下水道の整備状況	3.03	2.57	2.89	2.87	2.90	3.02	3.09	3.22	3.34
(6) 公園・広場の整備状況	2.51	2.21	2.42	2.29	2.42	2.50	2.57	2.67	2.84
(7) ごみ処理やリサイクルの推進などの環境政策	2.85	2.86	2.81	2.76	2.74	2.79	2.89	3.03	3.19
(8) 地震や水害など、災害への備え	2.30	2.14	2.31	2.28	2.28	2.29	2.31	2.37	2.43
(9) 高齢者、障害者などの暮らしやすさ	2.31	2.07	2.32	2.23	2.21	2.27	2.30	2.49	2.71
(10) 子育てのしやすさ	2.52	2.36	2.39	2.32	2.42	2.54	2.57	2.68	2.86
(11) 健康診査などの保健サービス	2.75	2.71	2.65	2.63	2.65	2.70	2.79	2.98	3.06
(12) 医療体制の充実	2.20	2.07	2.11	1.99	2.00	2.13	2.30	2.51	2.68
(13) 学校教育のあり方	2.42	2.29	2.33	2.34	2.27	2.40	2.47	2.63	2.76
(14) 生涯学習施設の整備と学習の機会	2.48	2.36	2.36	2.40	2.34	2.45	2.51	2.70	2.88
(15) スポーツレクリエーション施設の整備状況	2.40	2.43	2.14	2.20	2.20	2.39	2.53	2.64	2.79
(16) まちの伝統を感じる歴史や文化の振興	2.72	2.71	2.82	2.75	2.66	2.69	2.71	2.79	2.99
(17) 道路の整備状況	2.38	1.71	2.33	2.36	2.33	2.34	2.39	2.48	2.60
(18) 交通機関（鉄道、バス）の便利さ	1.89	1.50	1.74	1.68	1.70	1.85	2.03	2.09	2.22
(19) 集会所など地域施設の整備状況	2.58	2.43	2.56	2.54	2.47	2.52	2.63	2.73	2.91
(20) 地域の人々のふれあいや助け合い	2.59	2.43	2.61	2.65	2.55	2.55	2.57	2.69	2.87
(21) お祭りやイベントへの参加機会	2.67	2.57	2.61	2.70	2.63	2.64	2.69	2.74	2.82
(22) 広報誌など行政情報の提供	2.89	2.71	2.84	2.88	2.78	2.85	2.91	3.02	3.21
(23) 地域全体としての住みやすさ	2.79	2.36	2.75	2.69	2.69	2.78	2.82	2.94	3.06

次に、1市4町（龍野市、新宮町、揖保川町、御津町、太子町）の合併に関しておたずねします。

問4 1市4町の合併については、住民の皆様には様々な形で情報を提供することが大切と考えていますが、今後、どのような方法が充実されるとよいでしょうか。（1つに ）

1. 新聞・テレビ
2. 各市町の広報誌・合併協議会の広報誌
3. 合併協議会のインターネットのホームページ
4. 講演会、シンポジウムなどの開催
5. 地元説明会などの開催
6. その他（具体的に： ）



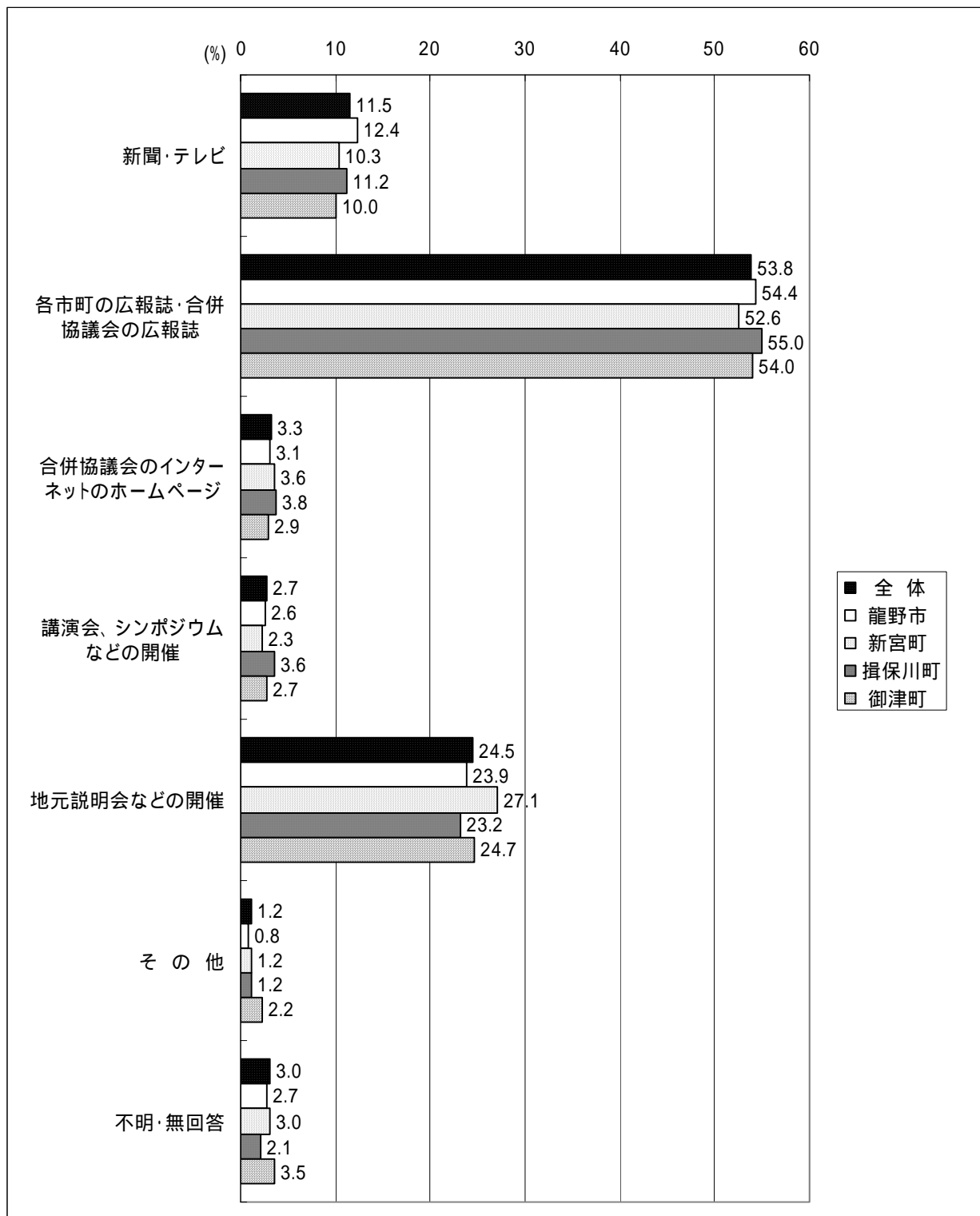
< 広報誌による情報提供に期待する人が多い >

「各市町の広報誌・合併協議会の広報誌」が53.8%と、半数を超えており、今後の広報活動において広報誌に大きな役割が期待されている。

以下、「地元説明会などの開催」が24.5%、「新聞・テレビ」が11.5%で続いている。

【主なその他意見】・自治会単位などきめ細かい説明会の開催。・アンケートの充実。・テレビ、HPなどの活用。・複数の情報伝達方法を組み合わせる。・費用がかからない方法で。・一般的にもっと情報提供が必要。・合併のメリット・デメリットの情報提供を。等

情報提供の方法×地域別クロス



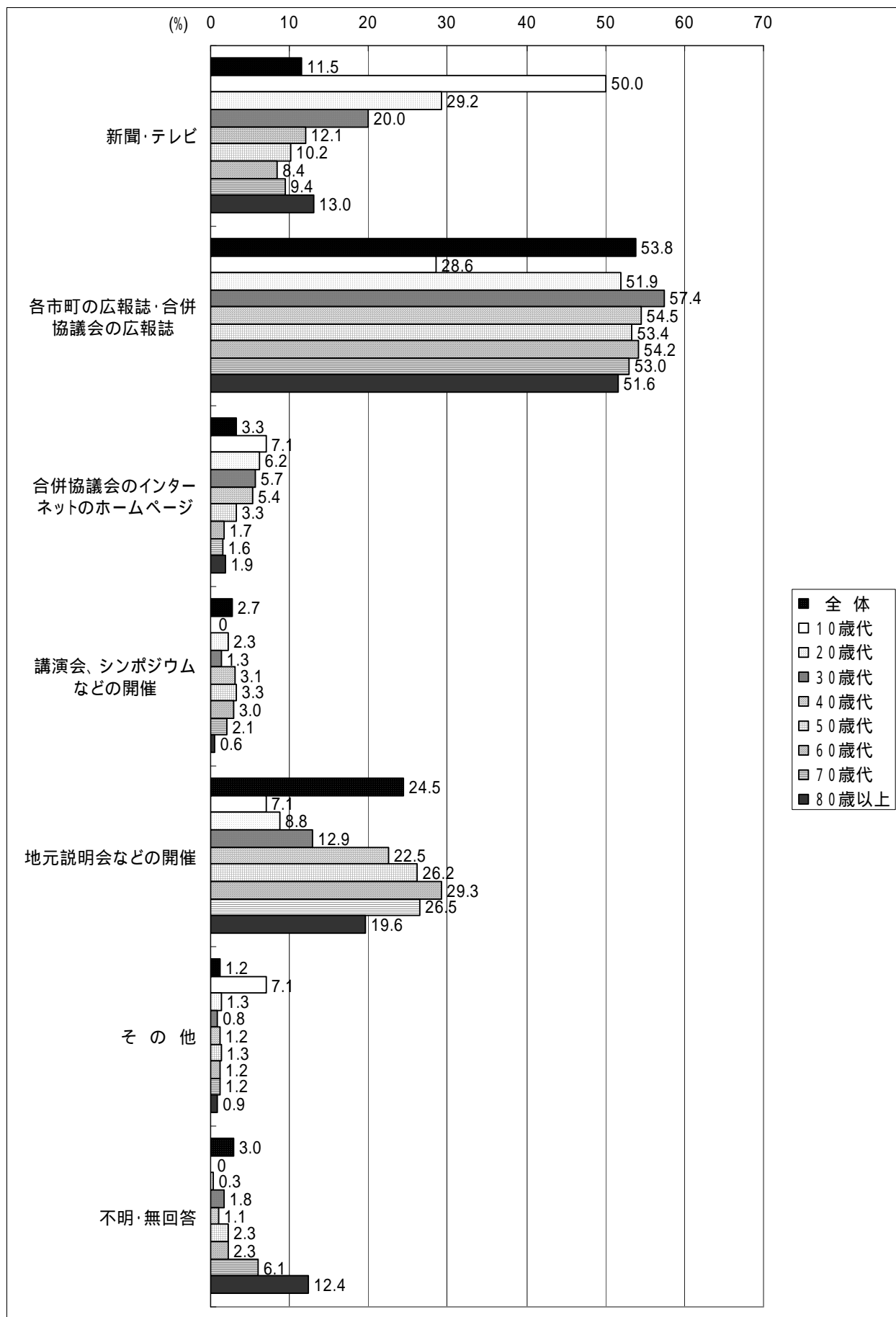
地域別

<各市町とも広報誌による情報提供に期待する人が多い>

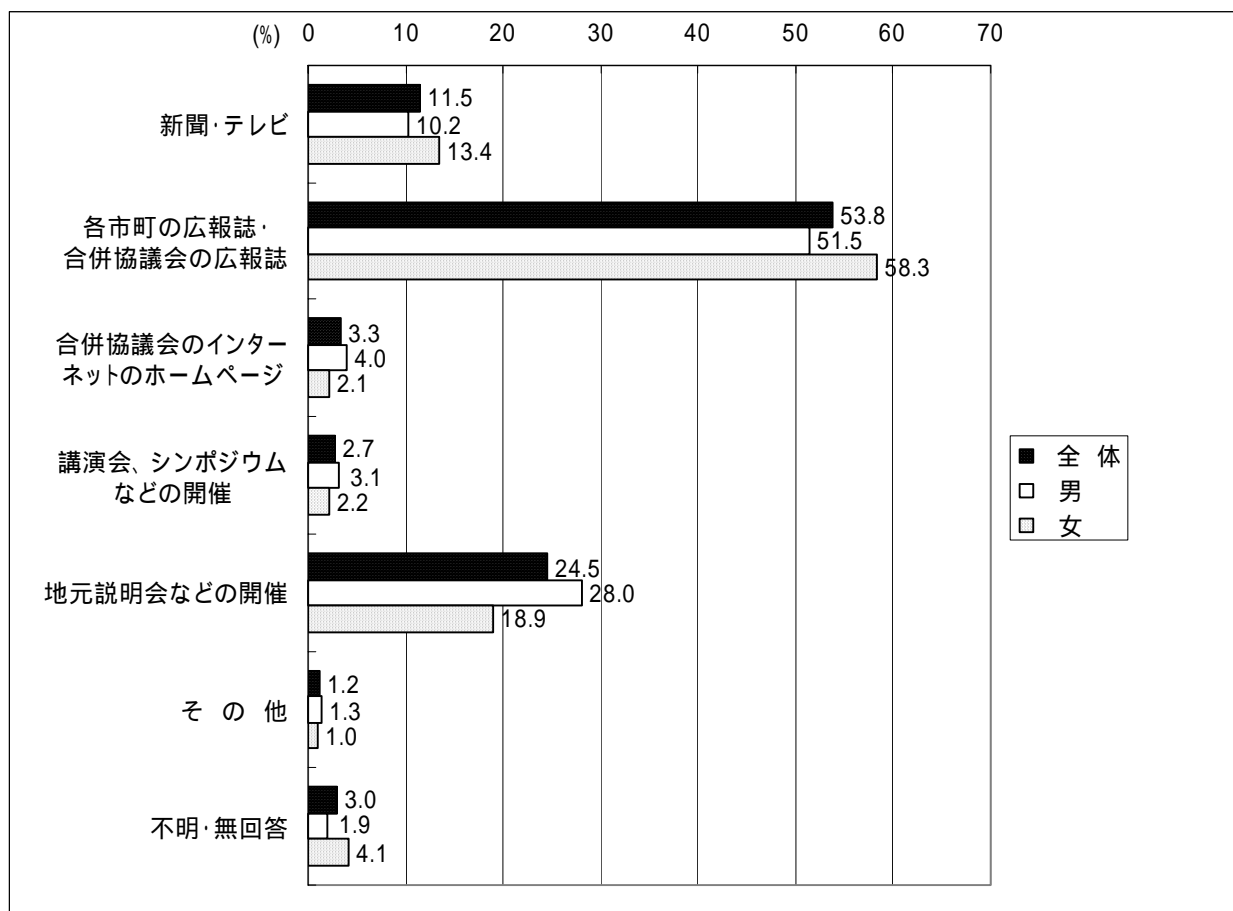
市町別では、各市町とも広報誌に期待する回答が50%を超えている。

新宮町、御津町で、「地元説明会などの開催」と回答した人が比較的多くなっている。

情報提供の方法×年齢別クロス



情報提供の方法×性別クロス



年齢別

<若い世代では新聞・テレビ・インターネットに、年齢の高い世代で地元説明に期待>
10歳代、20歳代で「新聞・テレビ」「合併協議会のインターネットのホームページ」での情報提供の比率が高くなっており、特に10歳代では「新聞・テレビ」と回答した人が半数となっている。

「地元説明会などの開催」に期待する回答は、60歳代を頂点として、40歳代以上で20%を超えており、年齢の高い世代で「地元説明会などの開催」に期待していることがうかがえる。

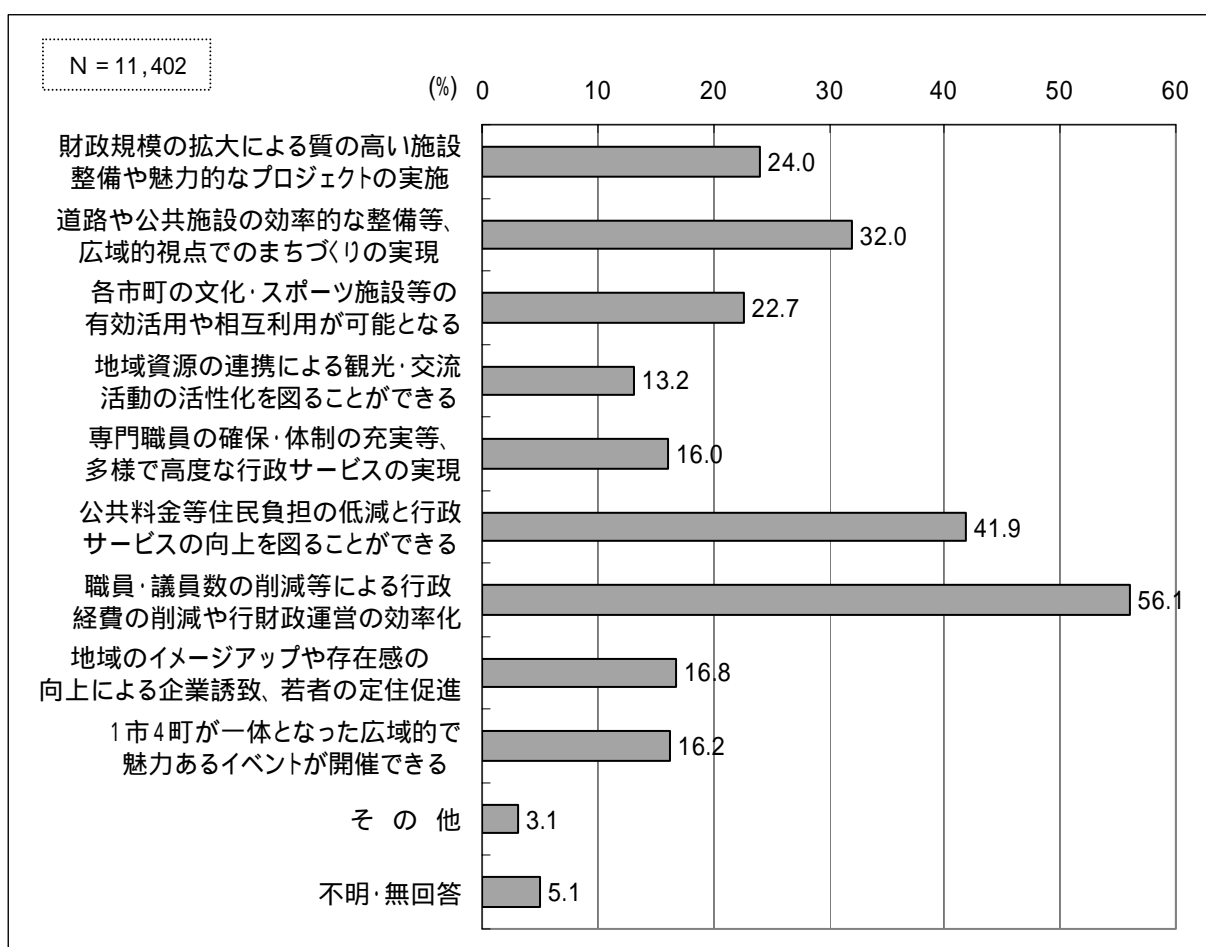
性別

<女性は広報誌、男性は地元説明会などに期待>

広報誌での情報提供を求める回答の比率が女性でやや高く、地元説明会などを求める回答の比率が男性でやや高くなっている。

問5 1市4町が合併するとすれば、どのような効果を期待されますか。(3つ以内に)

1. 財政規模の拡大により質の高い施設の整備や魅力的なプロジェクトが実施できる
2. 道路や公共施設の効率的な整備など、広域的視点でのまちづくりが実現する
3. 各市町の文化・スポーツ施設等の有効活用や相互利用が可能となる
4. 地域資源の連携による観光・交流活動の活性化を図ることができる
5. 専門職員の確保・体制の充実など、多様で高度な行政サービスが実現する
6. 公共料金など住民負担の低減と行政サービスの向上を図ることができる
7. 職員数や議員数の削減などによる行政経費の削減や行財政運営の効率化が進む
8. 地域のイメージアップや存在感の向上による企業誘致、若者の定住促進につながる
9. 1市4町が一体となった広域的で魅力あるイベントが開催できる
10. その他(具体的に:)



< 行政経費の削減や行財政運営の効率化が過半数を占める >

「職員・議員数の削減等による行政経費の削減や行財政運営の効率化」が56.1%と半数以上の回答を集め、次いで「公共料金等住民負担の低減と行政サービスの向上を図ることができる」が41.9%と高い比率で続いている。

【主なその他意見】・期待は努力次第。・期待できない。・効果はない。・職員や議員数の削減。・職員や議員の質の向上。・税金の減額。等

地域別

< 各市町とも行政経費削減や行財政運営の効率化を期待している >

各市町とも、「職員・議員数の削減等による行政経費の削減や行財政運営の効率化」「公共料金等住民負担の低減と行政サービスの向上を図ることができる」と回答する人が多くなっている。

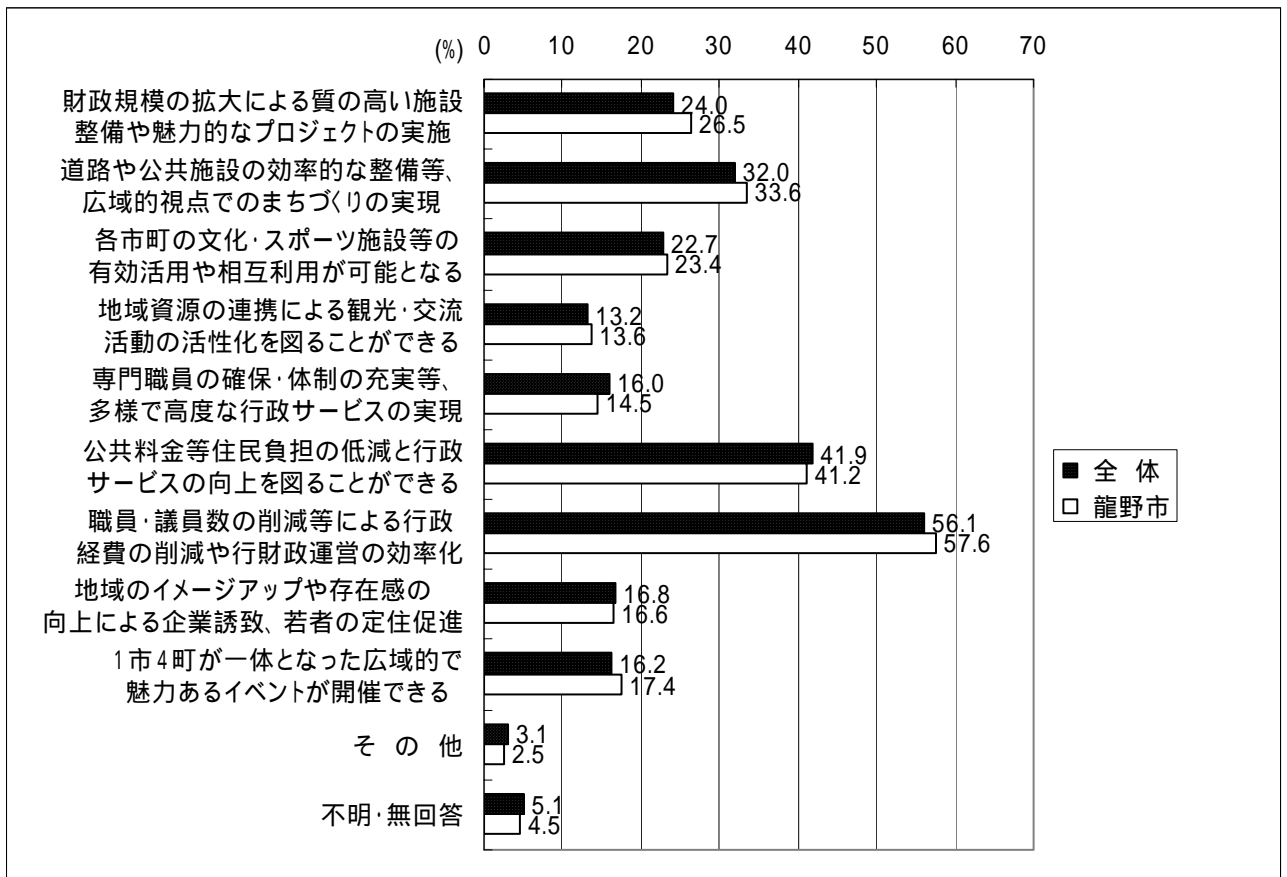
龍野市では、全体の比率に比べ、「財政規模の拡大による質の高い施設整備や魅力的なプロジェクトの実施」「職員・議員数の削減等による行政経費の削減や行財政運営の効率化」に対する期待が高くなっている。

新宮町では、全体の比率に比べ、「地域のイメージアップや存在感の向上による企業誘致、若者の定住促進」「公共料金等住民負担の低減と行政サービスの向上を図ることができる」ことへの期待が高くなっている。

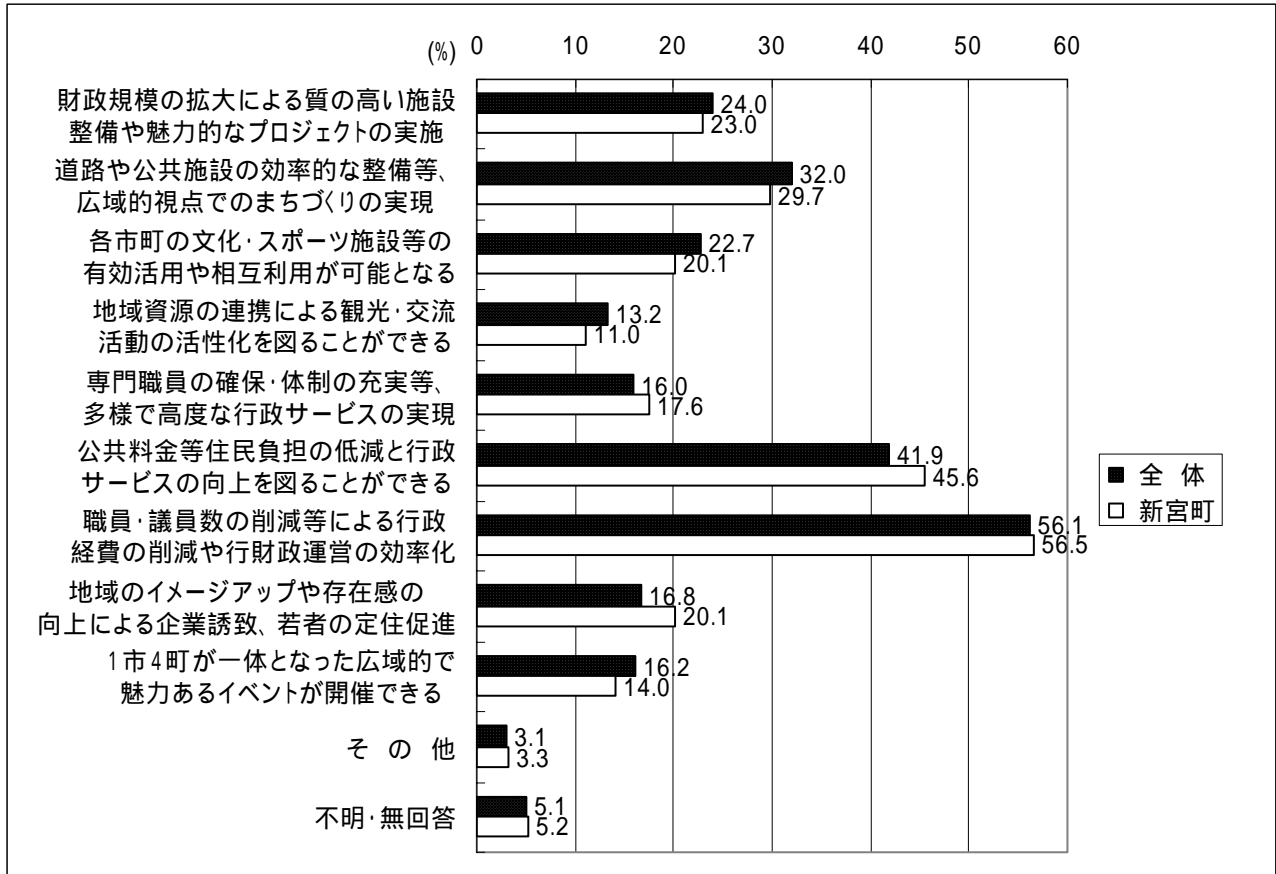
揖保川町では、全体と比較すると、「各市町の文化・スポーツ施設等の有効活用や相互利用が可能となる」「職員・議員数の削減等による行政経費の削減や行財政運営の効率化」に期待する比率が高くなっている。

御津町では、全体の比率に比べ、「地域資源の連携による観光・交流活動の活性化を図ることができる」「道路や公共施設の効率的な整備等、広域的視点でのまちづくりの実現」に対する期待が高くなっている。

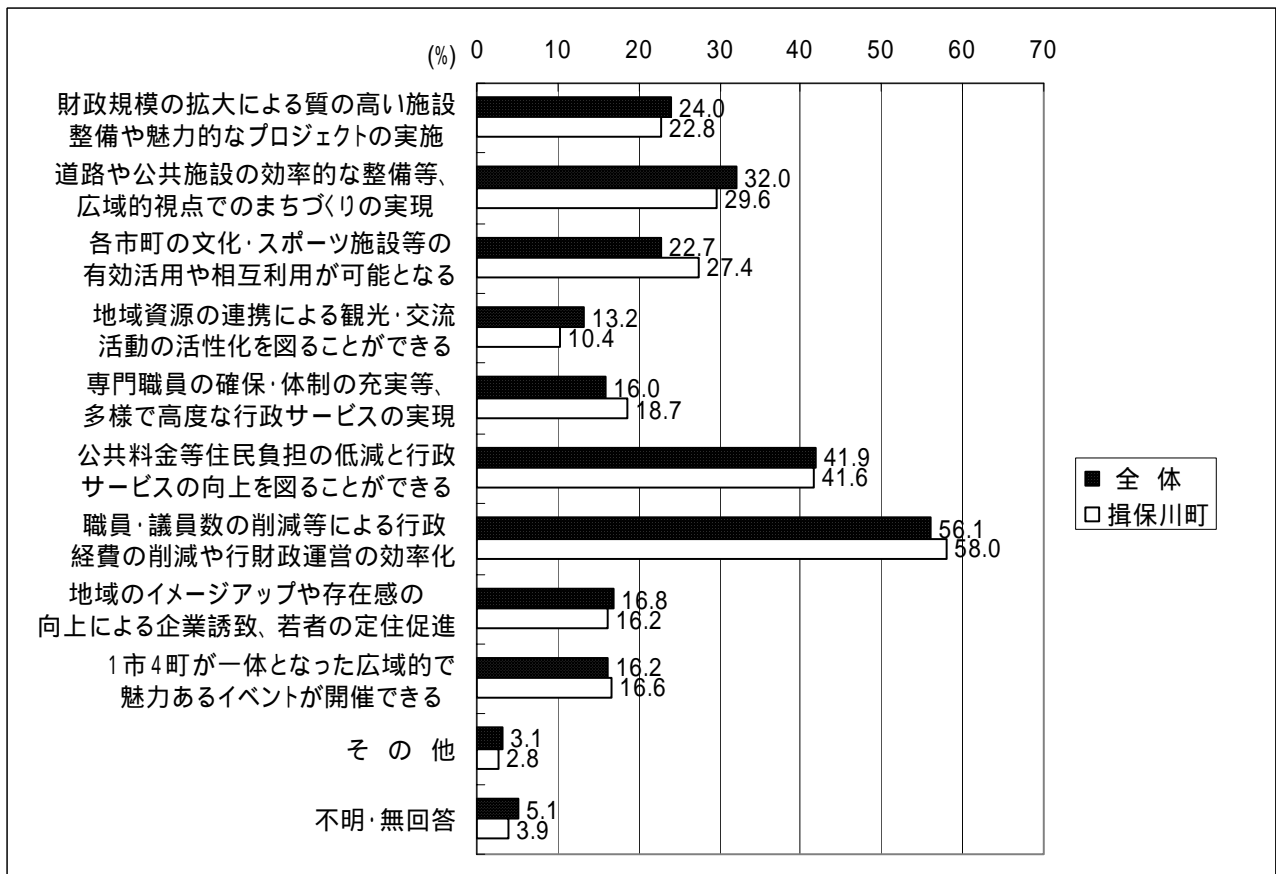
合併への期待×地域別クロス（龍野市）



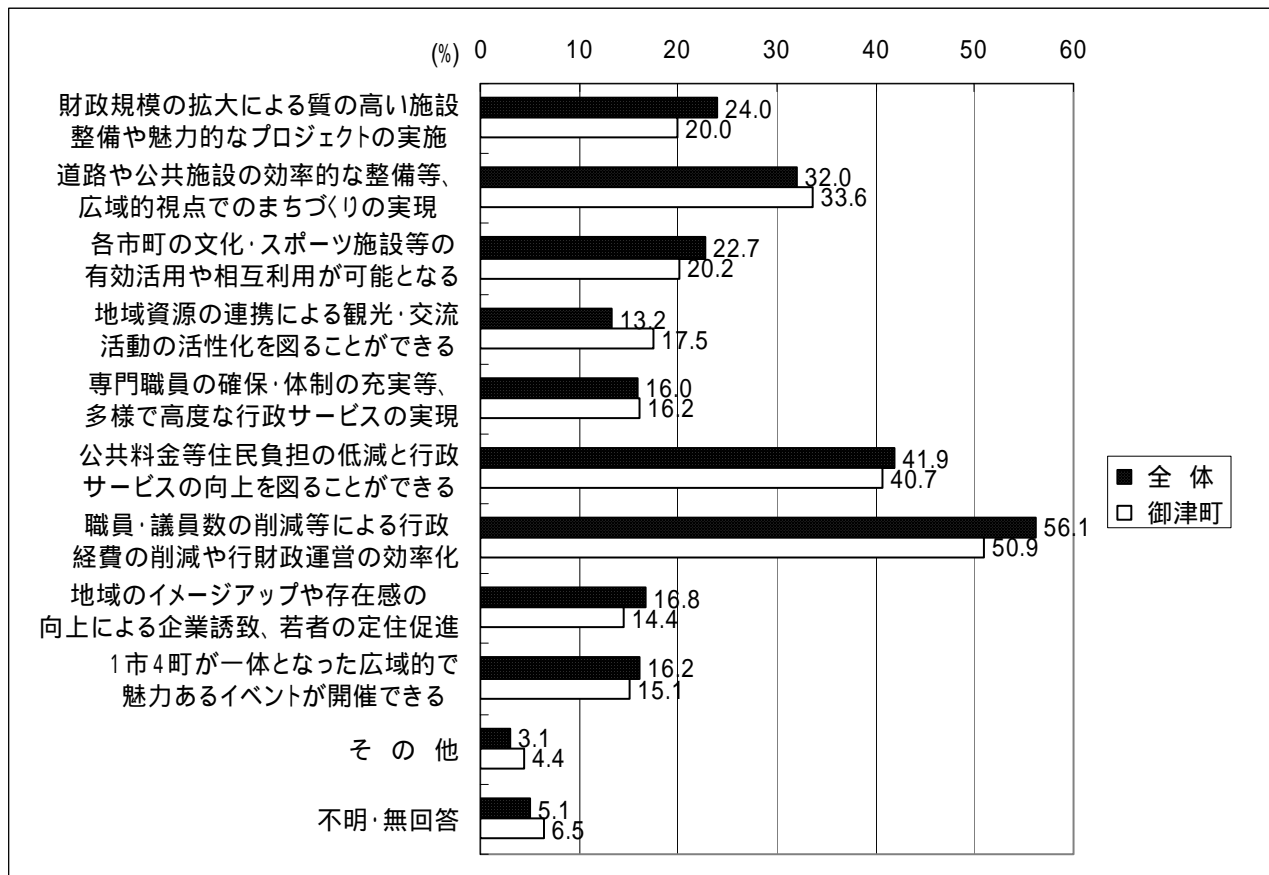
合併への期待×地域別クロス（新宮町）



合併への期待×地域別クロス（揖保川町）



合併への期待×地域別クロス（御津町）



年齢別

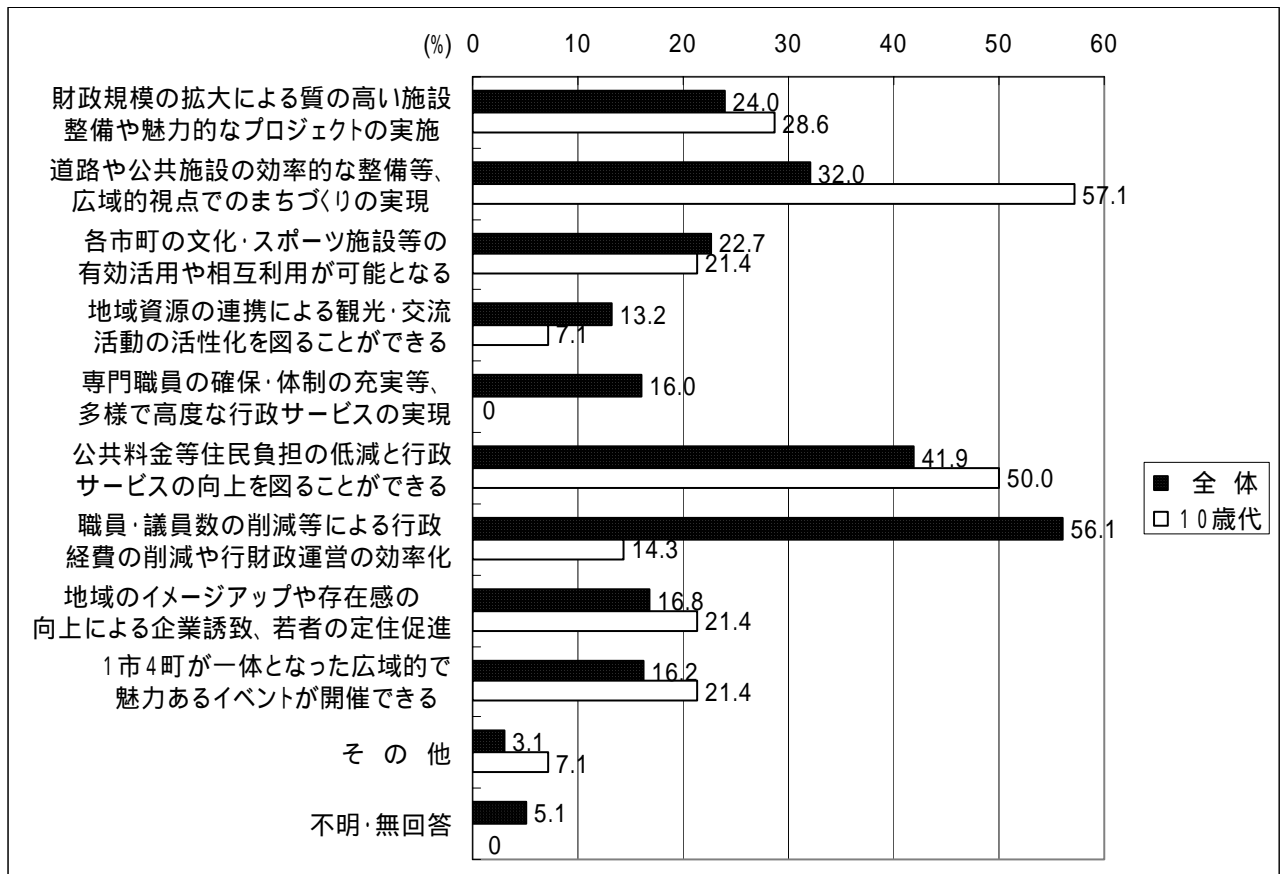
<若い世代は負担の低減と行政サービスの向上を望み、年代が高い層は行財政運営の効率化や行政サービスの質の向上と規模の拡大を望んでいる>

10歳代から40歳代までは、「公共料金等住民負担の低減と行政サービスの向上を図ることができる」との期待が50%前後集まっている。また、同世代で「各市町の文化・スポーツ施設等の有効活用や相互利用が可能となる」と回答する人の割合が高くなっている。

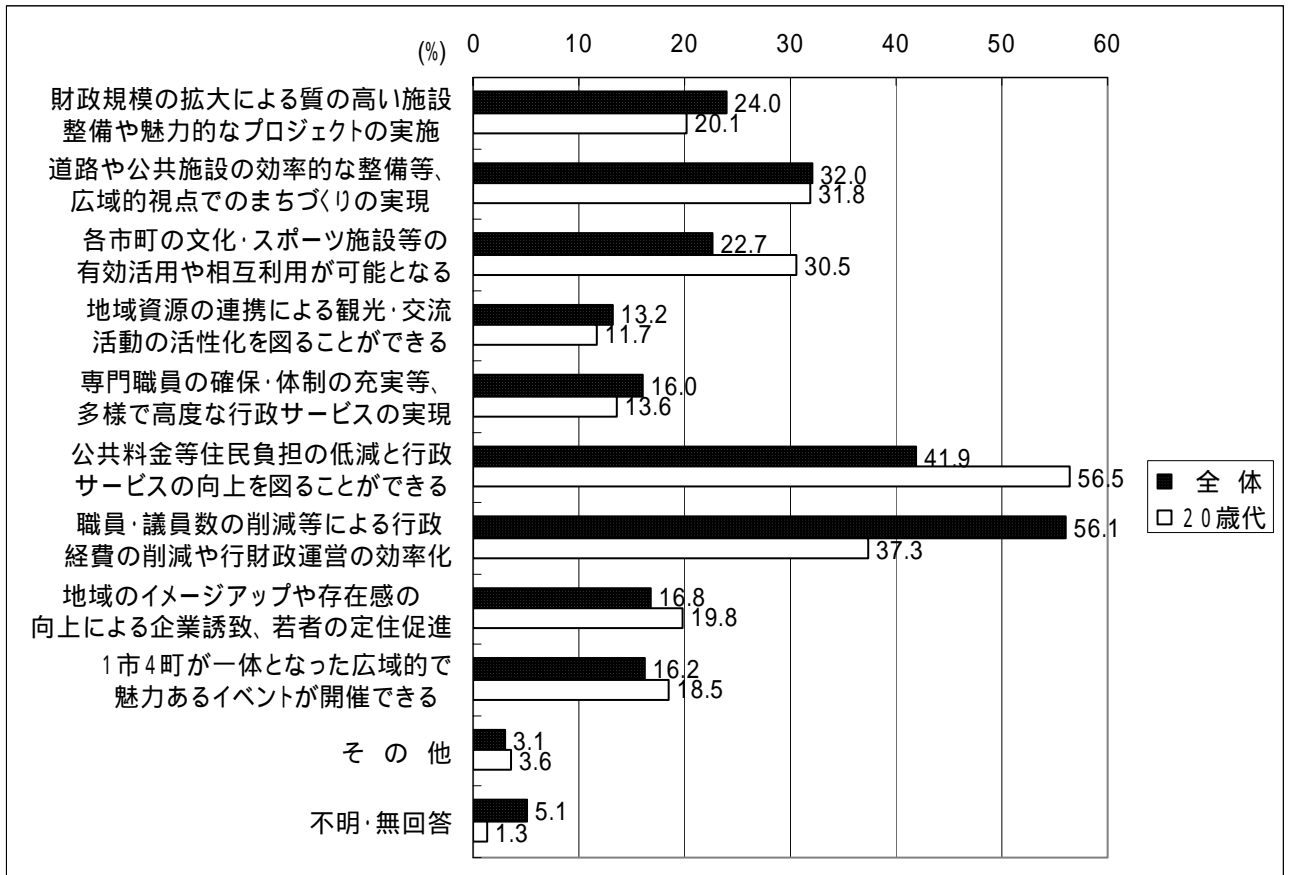
50歳代、60歳代では、「職員・議員数の削減等による行政経費の削減や行財政運営の効率化」への回答率が60%を超えている。

70歳代、80歳代では、「財政規模の拡大による質の高い施設整備や魅力的なプロジェクトの実施」「専門職員の確保・体制の充実等、多様で高度な行政サービスの実現」への回答率が全体の平均よりも高くなっている。

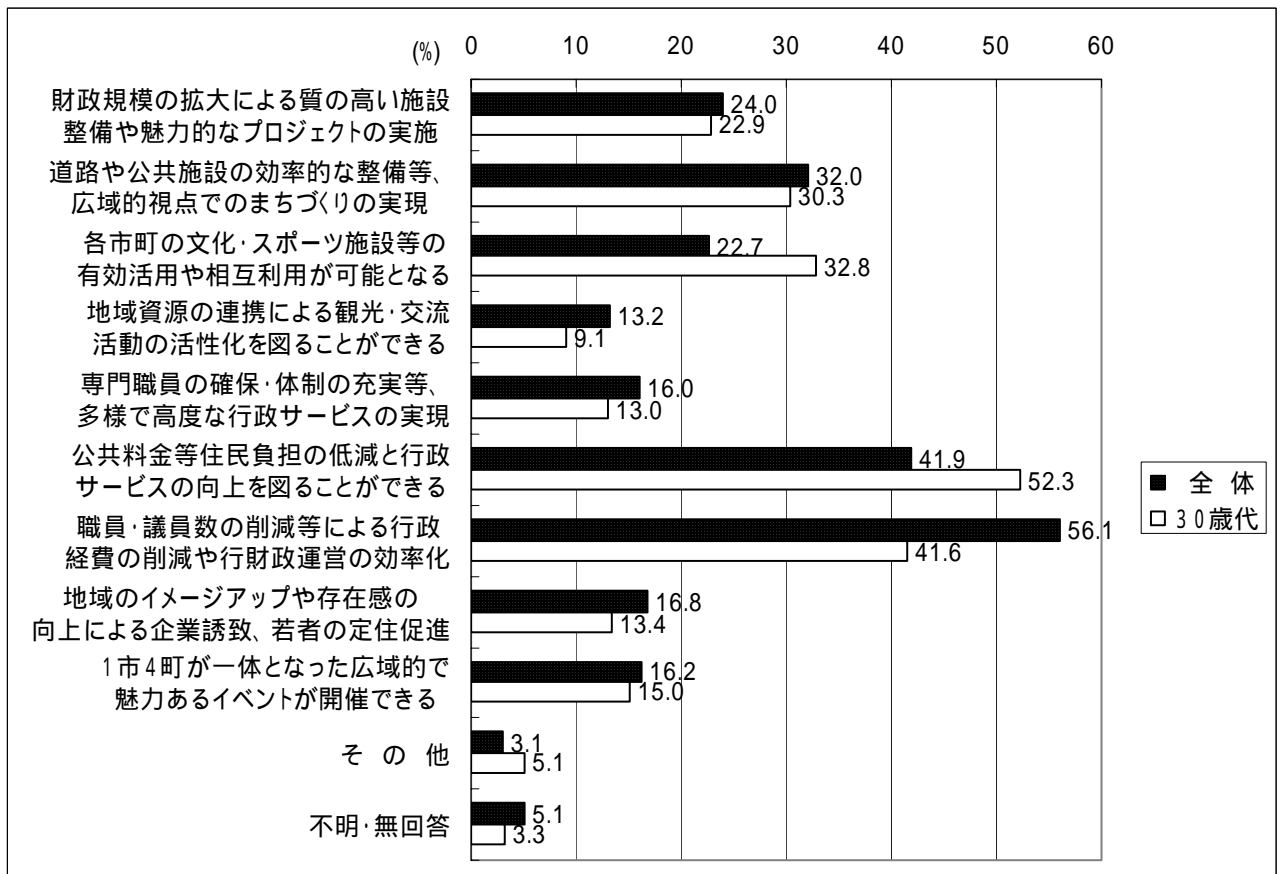
合併への期待×年齢別クロス（10歳代）



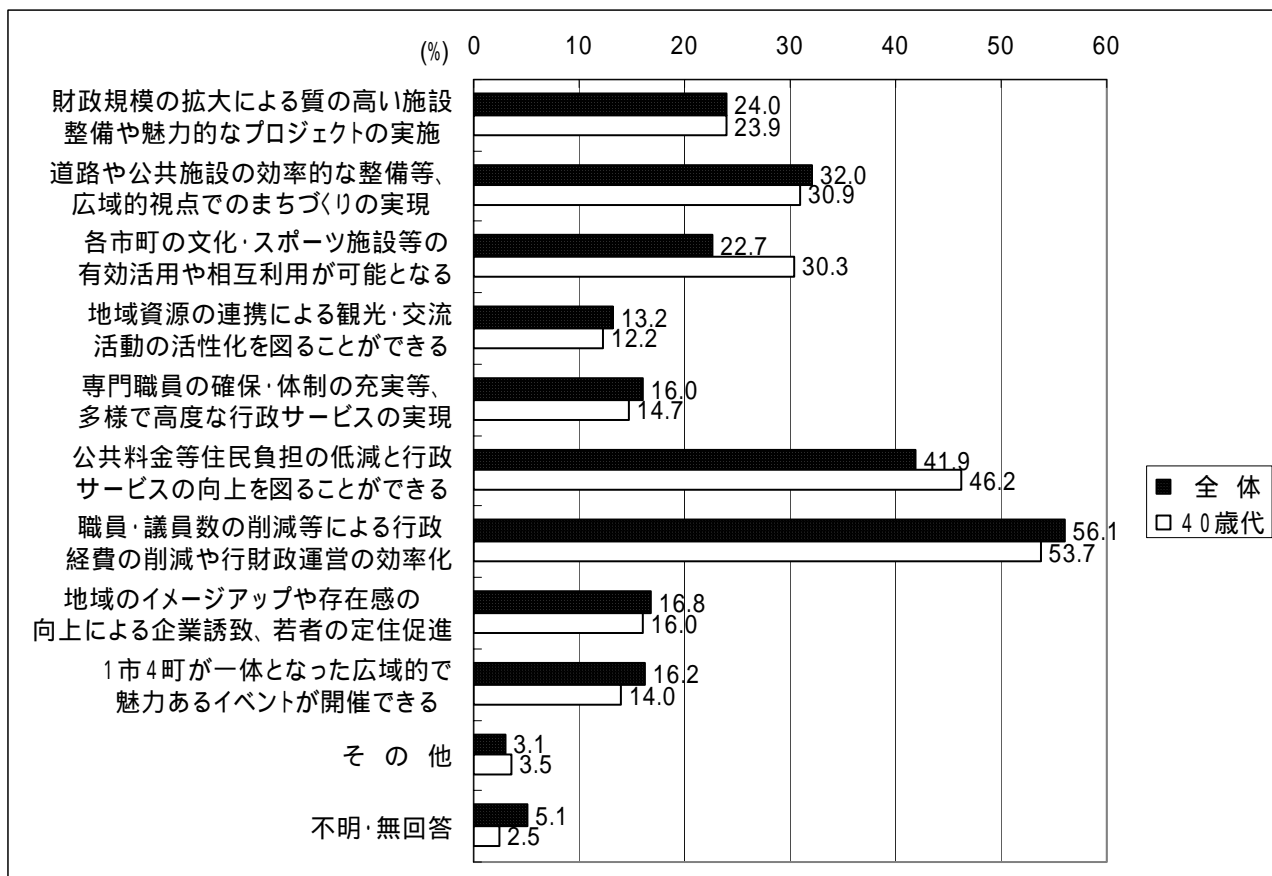
合併への期待×年齢別クロス（20歳代）



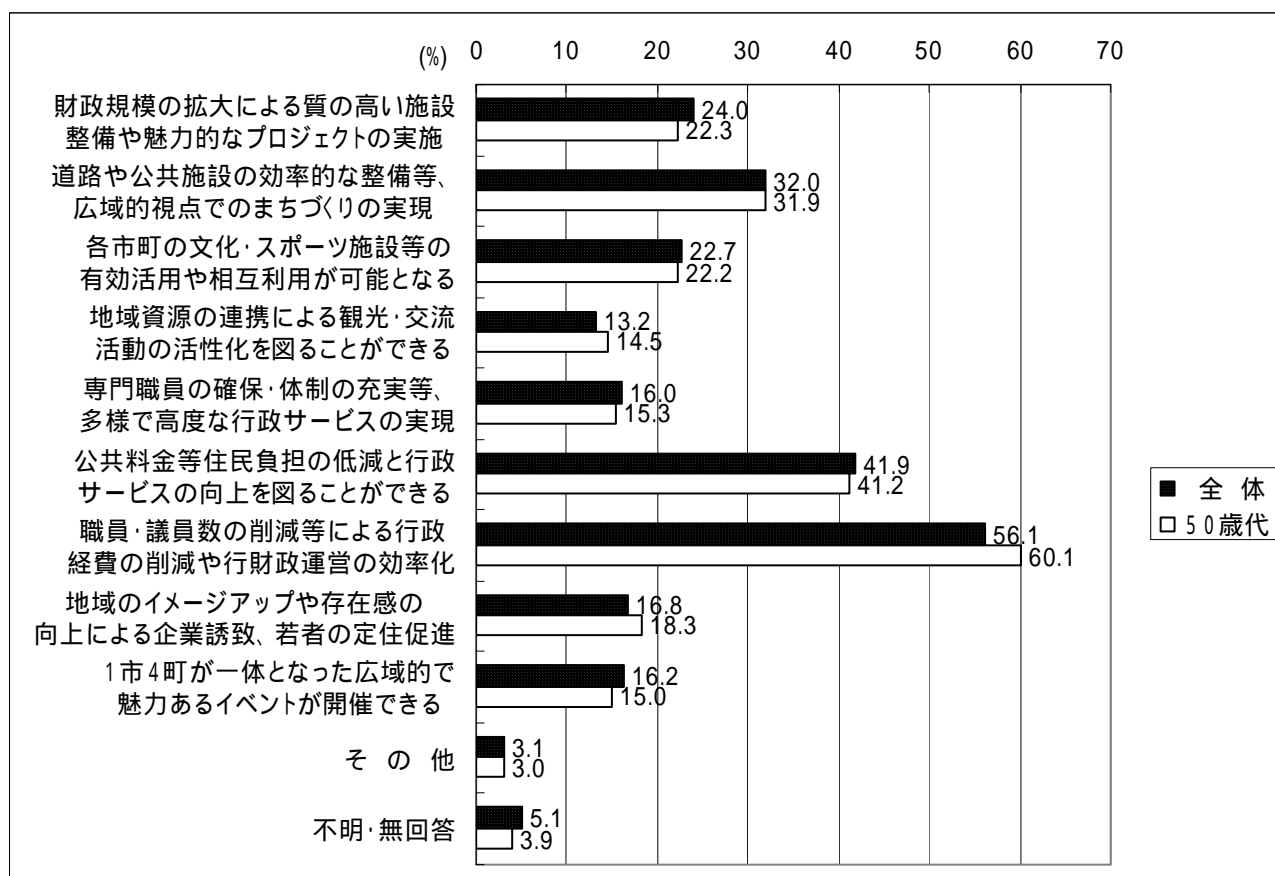
合併への期待×年齢別クロス（30歳代）



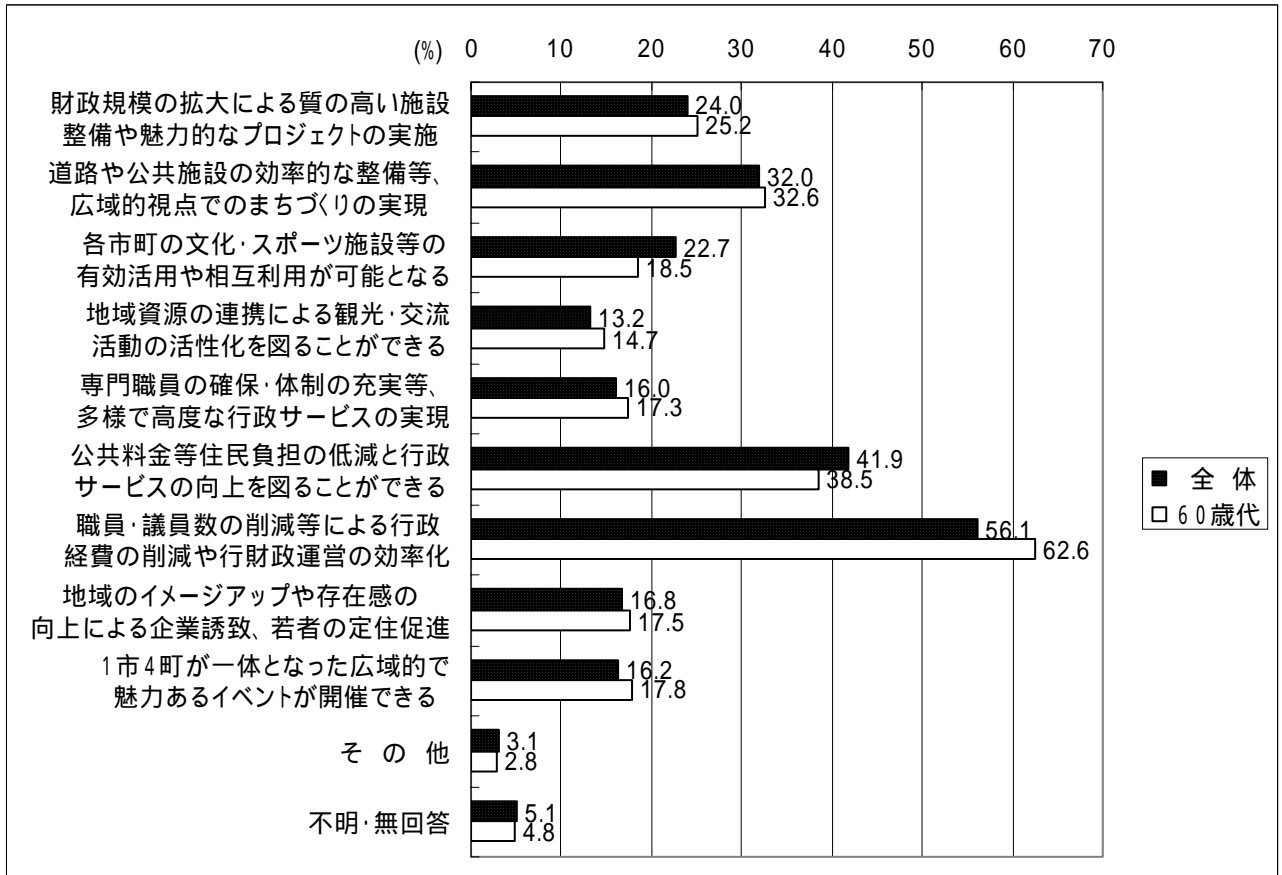
合併への期待×年齢別クロス（40歳代）



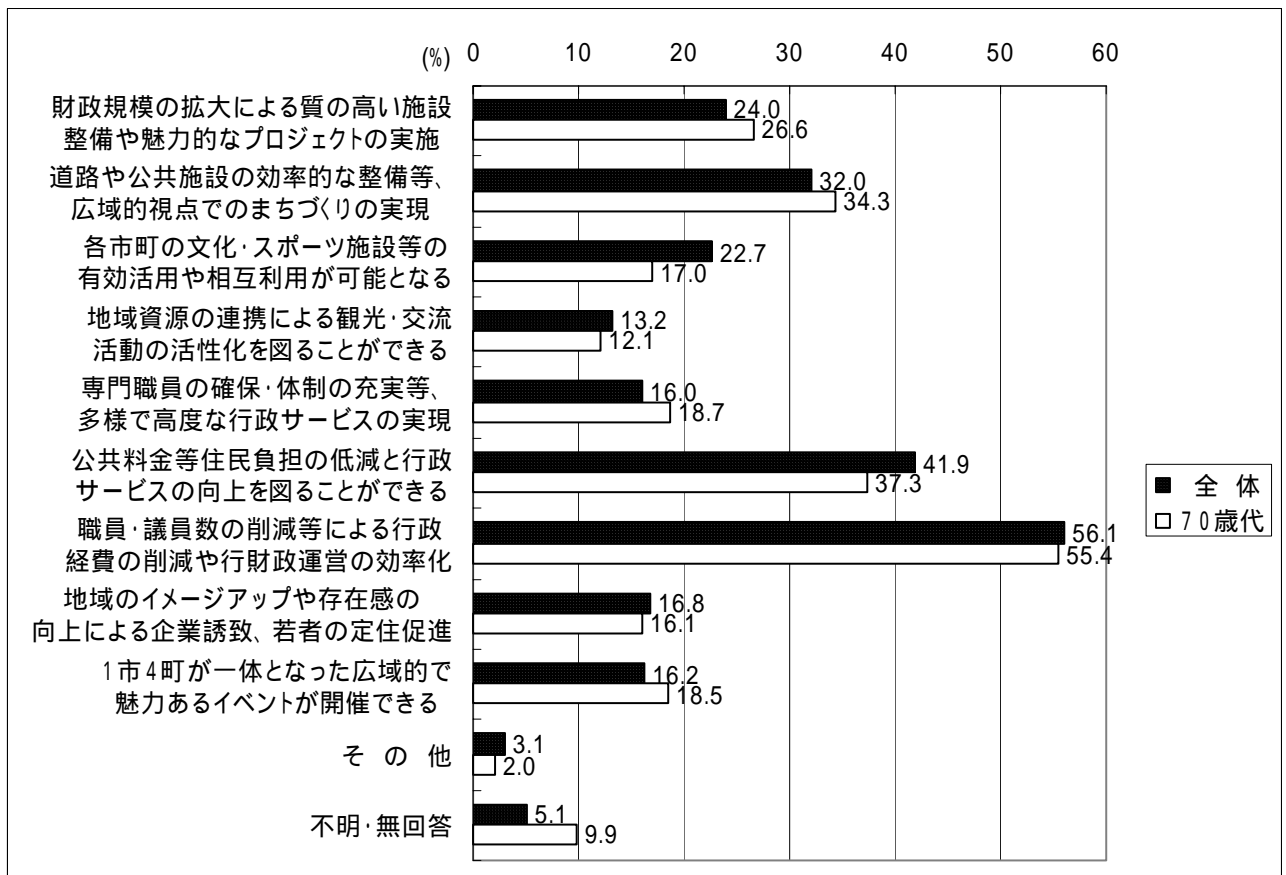
合併への期待×年齢別クロス（50歳代）



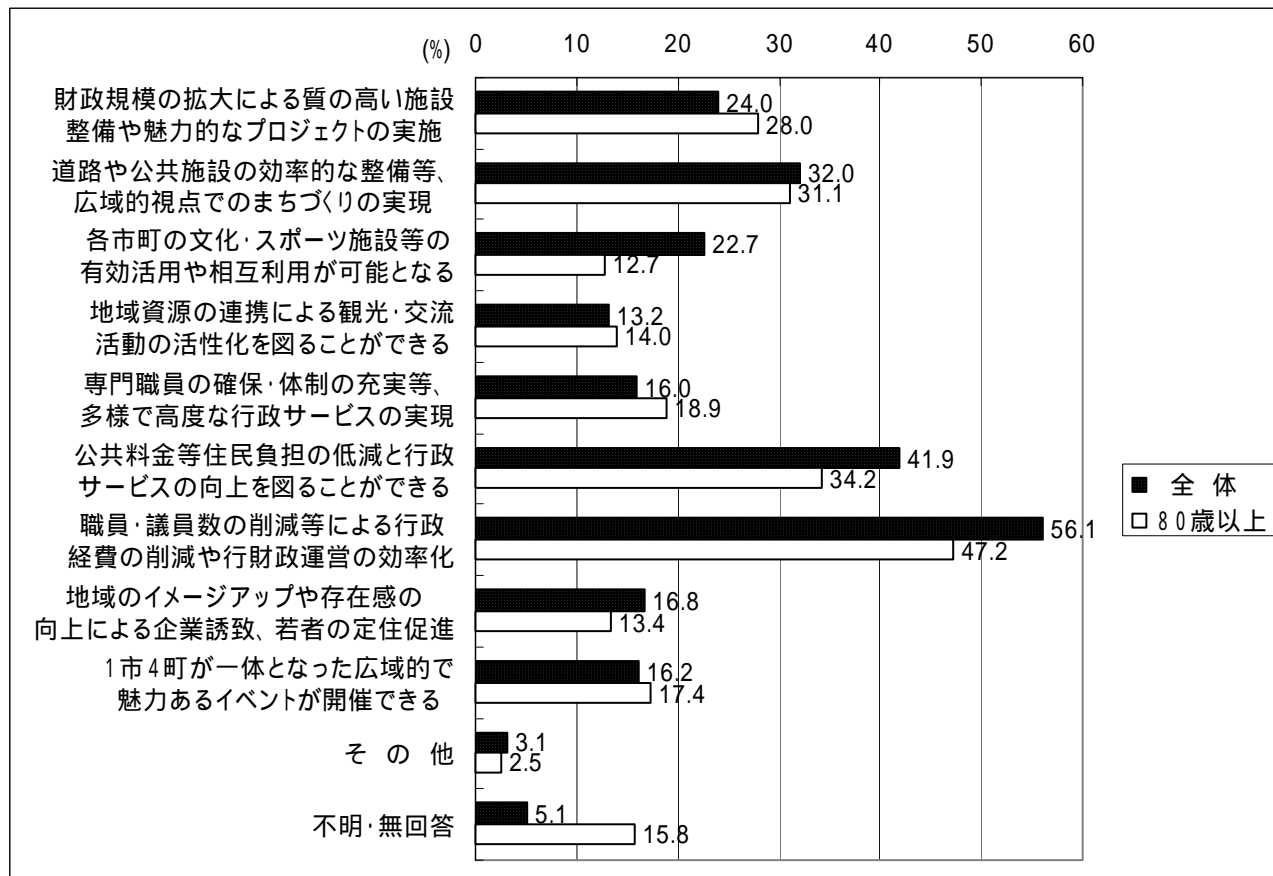
合併への期待×年齢別クロス（60歳代）



合併への期待×年齢別クロス（70歳代）

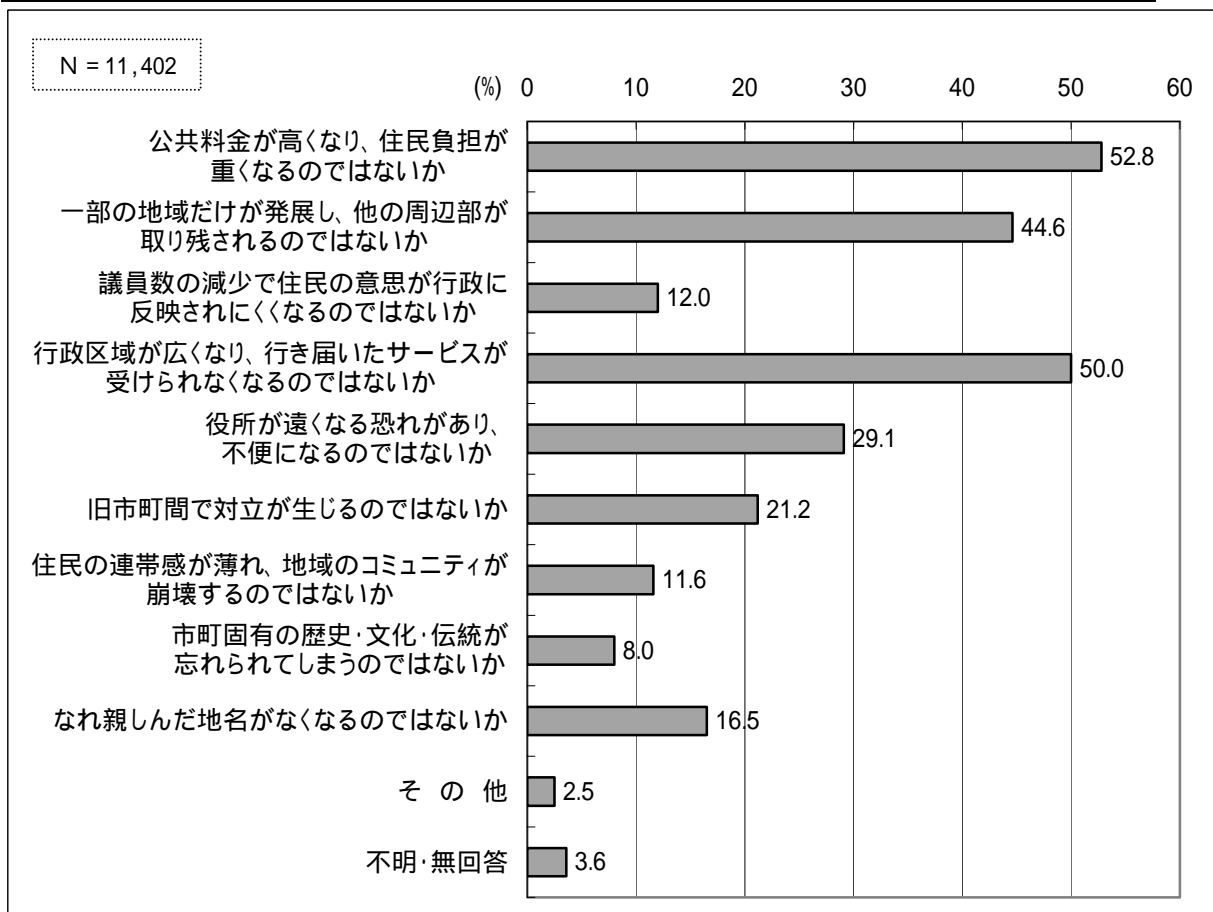


合併への期待×年齢別クロス（80歳以上）



問6 1市4町が合併した場合、どのようなことが心配ですか。(3つ以内に)

1. 公共料金が高くなり、住民負担が重くなるのではないか
2. 一部の地域だけが発展し、その他周辺部がとり残されるのではないか
3. 議員数が減少することにより、住民の意思が行政に反映されにくくなるのではないか
4. 行政区域が広くなり、行き届いたサービスが受けられなくなるのではないか
5. 役所が遠くなる恐れがあり、不便になるのではないか
6. 旧市町間で対立が生じるのではないか
7. 住民の連帯感が薄れ、地域のコミュニティ（地域社会意識）が崩壊するのではないか
8. 市町固有の歴史・文化・伝統が忘れられてしまうのではないか
9. なれ親しんだ地名がなくなるのではないか
10. その他（具体的に：)



< 住民負担の増大が最大の不安。行政区域の広域化による弊害についても懸念が多い >
 「公共料金が高くなり、住民負担が重くなるのではないか」と半数以上の 52.8%の人が回答している。

次いで、「行政区域が広くなり、行き届いたサービスが受けられなくなるのでは」が 50.0%、「一部の地域だけが発展し、他の周辺部が取り残されるのではないか」44.6%といずれも半数前後の回答率で続いている。

【主なその他意見】・心配はない。・全部の項目が心配。・合併しても変わらない。・すべてのまちの公平性が保てるのか。・財政の悪化が心配。・税金が高くなるのでは。・本当に職員・議員の数が減るのか。・職員や議員の質の低下。・学校の給食がなくなるのでは。・高校の学区がどうなるのか。等

地域別

< 龍野市では地名や旧市町間の対立を心配し、

3町では一部の地域だけの発展や役所が遠くなる恐れを心配している >

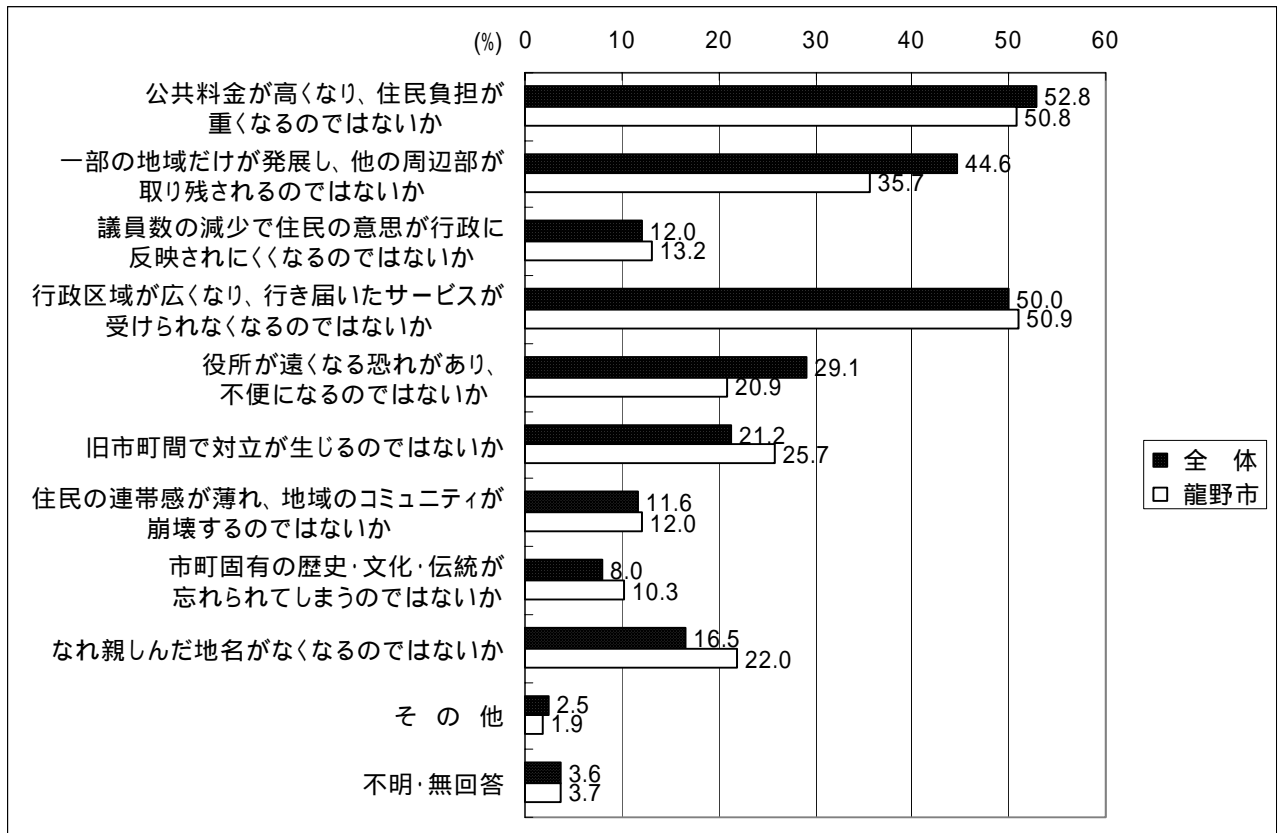
龍野市では、全体の比率に比べ、「なれ親しんだ地名がなくなるのではないか」「旧市町間で対立が生じるのではないか」と回答する割合が高くなっている。

新宮町では、全体の比率に比べ、「一部の地域だけが発展し、他の周辺部が取り残されるのではないか」「役所が遠くなる恐れがあり、不便になるのではないか」を回答する割合が高くなっている。

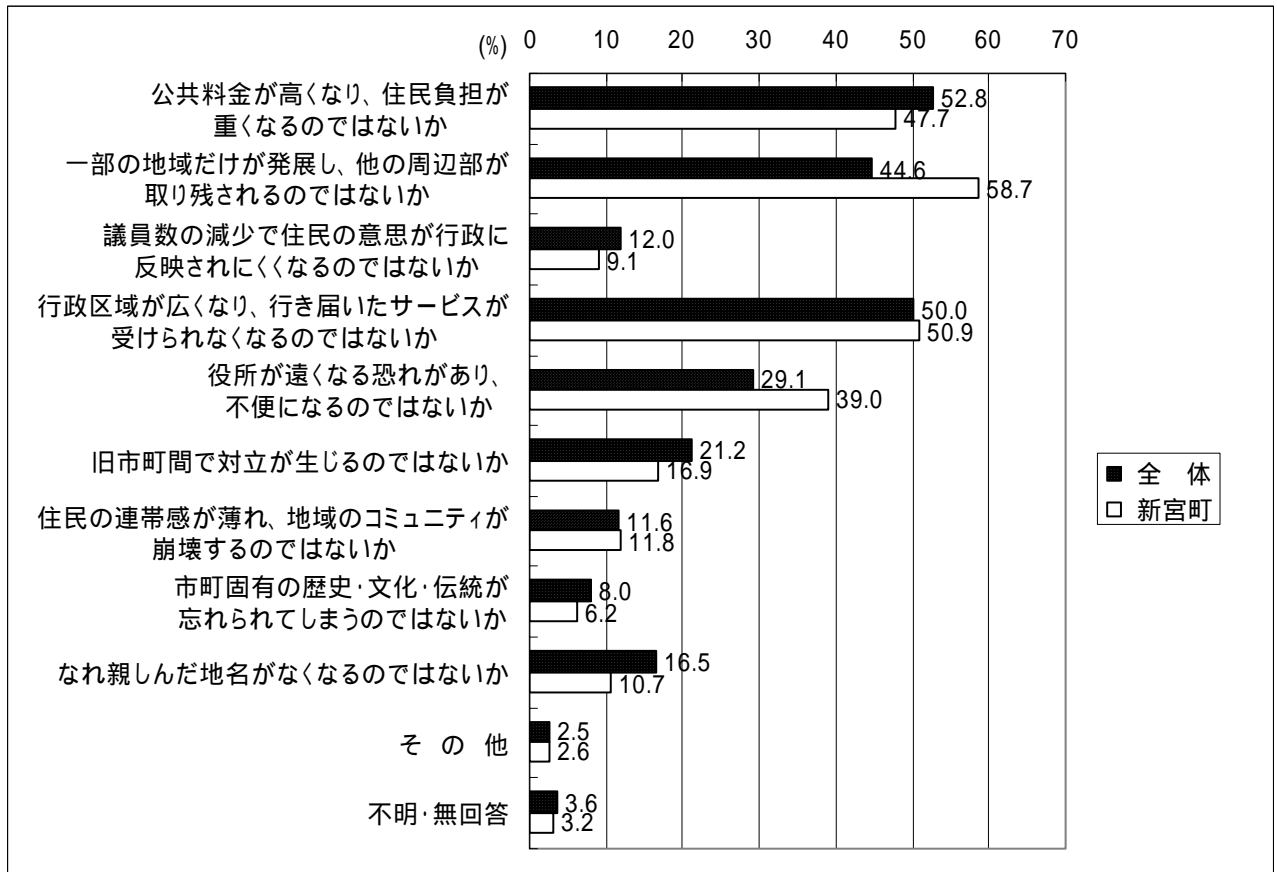
揖保川町では、全体の比率に比べ、「一部の地域だけが発展し、他の周辺部が取り残されるのではないか」「公共料金が高くなり、住民負担が重くなるのではないか」を回答する割合が高くなっている。

御津町では、全体の比率に比べ、「一部の地域だけが発展し、他の周辺部が取り残されるのではないか」「役所が遠くなる恐れがあり、不便になるのではないか」を回答する割合が高くなっている。

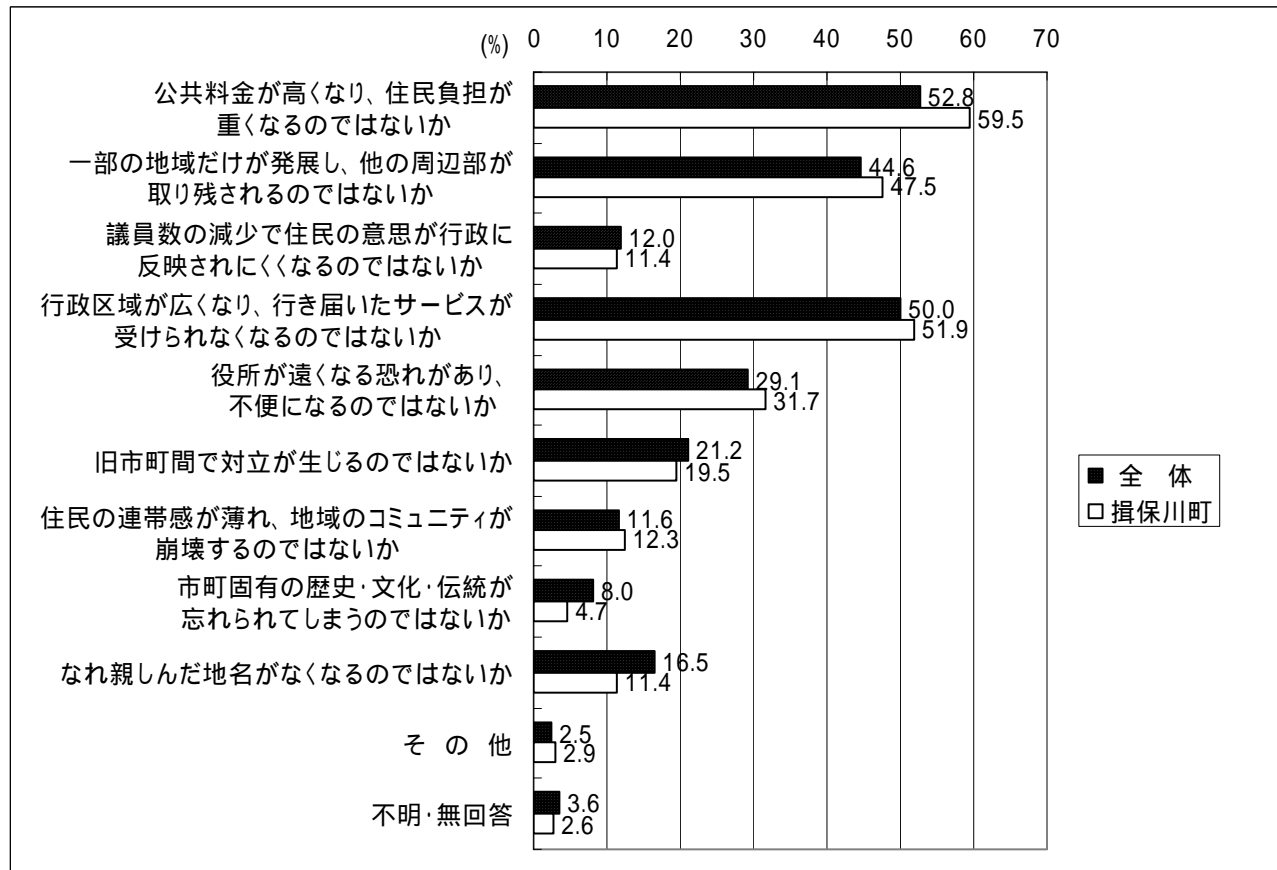
合併への不安×地域別クロス（龍野市）



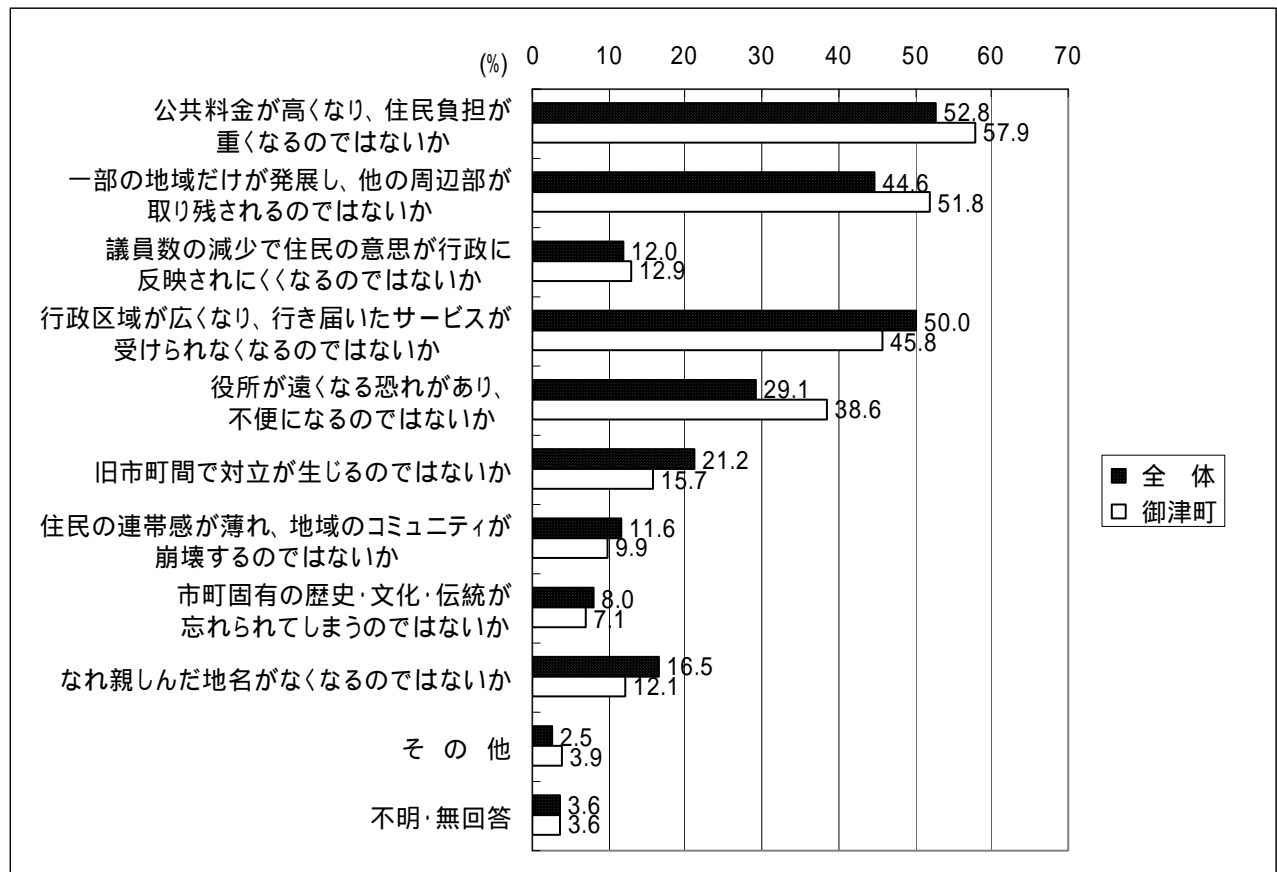
合併への不安×地域別クロス（新宮町）



合併への不安×地域別クロス（揖保川町）



合併への不安×地域別クロス（御津町）



年齢別

<若い世代は役所の距離が離れることや公共料金による負担を心配し、年代の高い層は広域化の弊害を心配している人が多い>

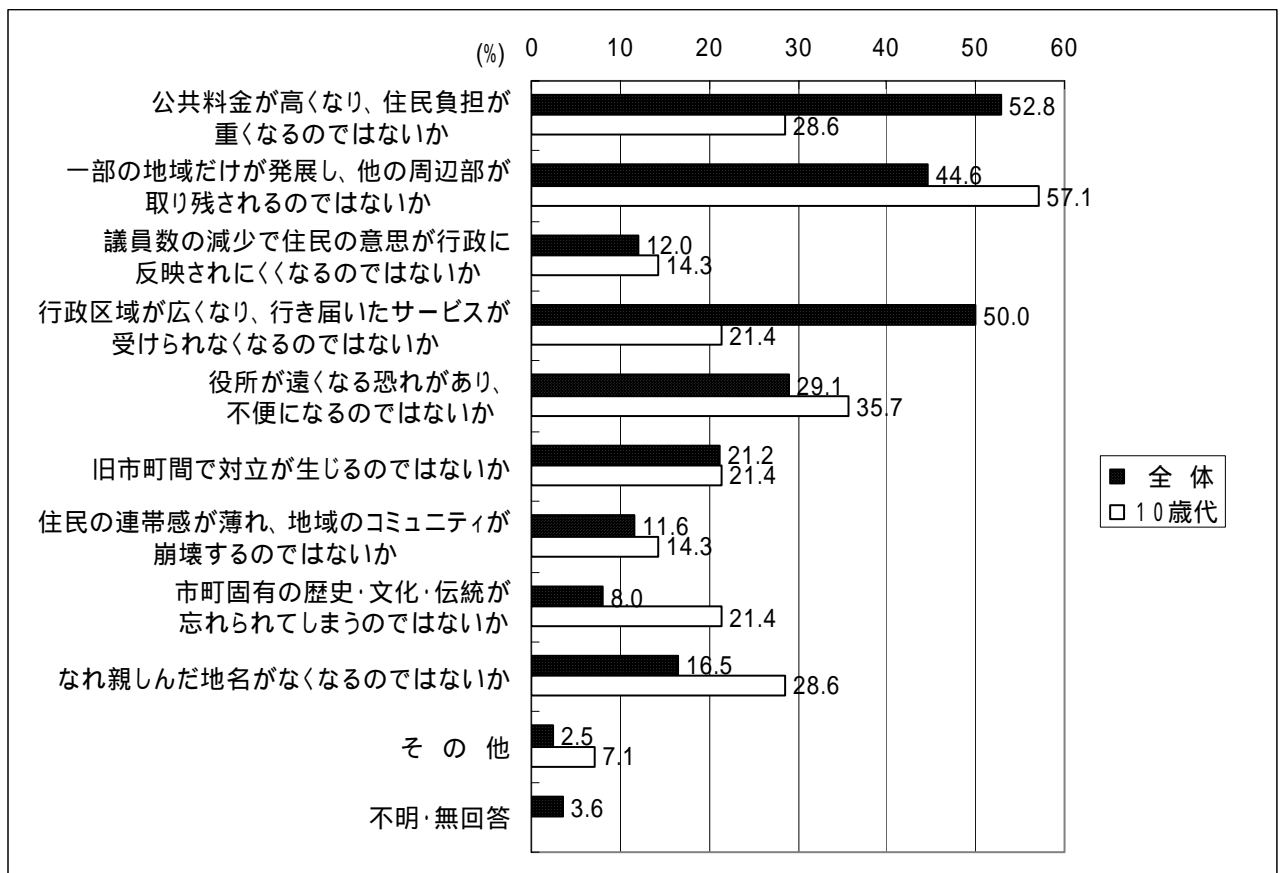
10歳代は「一部の地域だけが発展し、他の周辺部が取り残されるのではないか」が半数を超え、「役所が遠くなる恐れがあり、不便になるのではないか」も回答の割合が高い。

20歳代、30歳代では「公共料金が高くなり、住民負担が重くなるのではないか」「役所が遠くなる恐れがあり、不便になるのではないか」と回答する割合が高くなっている。

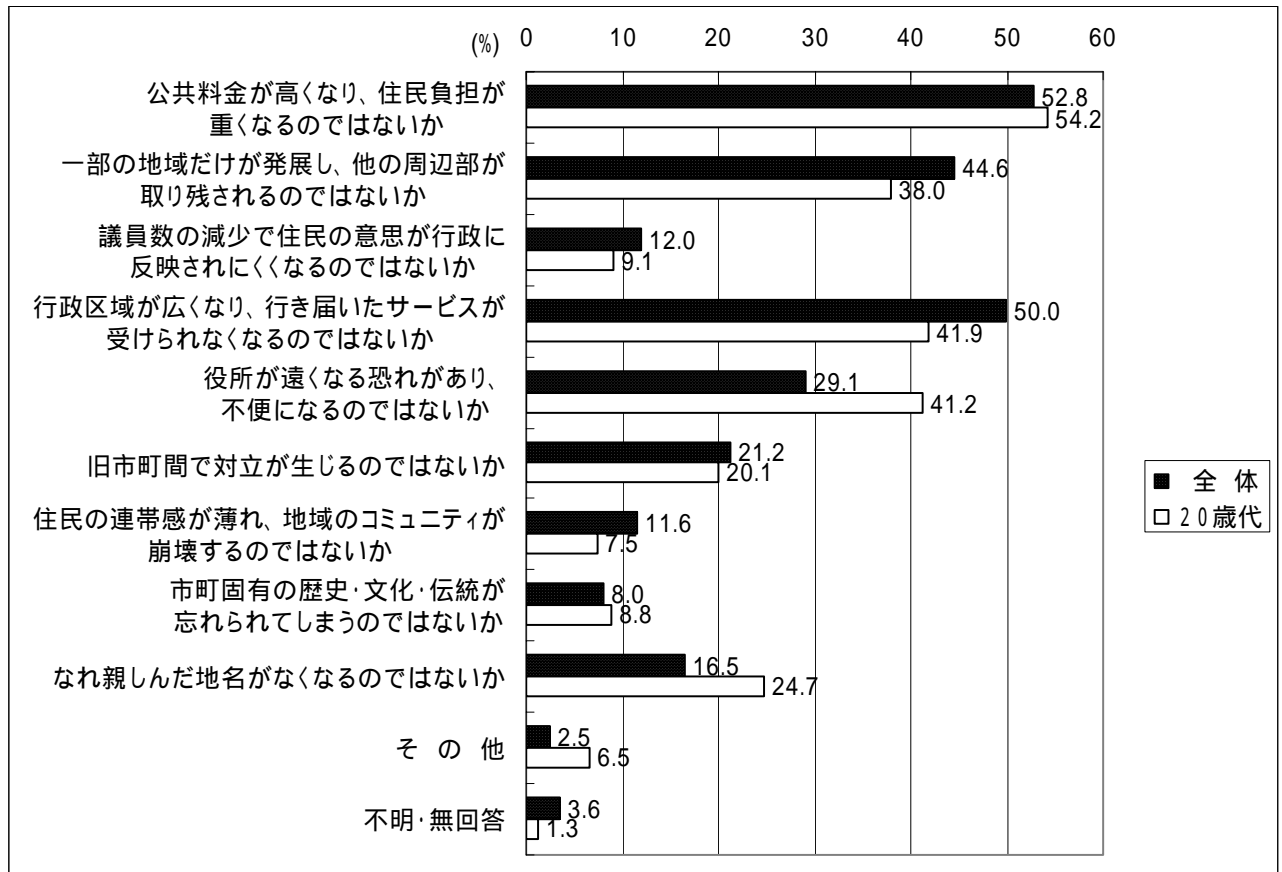
40歳代から70歳代では全体の傾向とほぼ類似しており、「行政区域が広くなり、行き届いたサービスが受けられなくなるのではないか」「一部の地域だけが発展し、他の周辺部が取り残されるのではないか」がいずれも50%前後と、回答する割合が若い世代に比べて高くなっている。

80歳以上は全体の比率に比べ、それぞれの項目に分散して回答している。特に、「市町固有の歴史・文化・伝統が忘れられてしまうのではないか」と回答する割合が全体に比べやや高くなっている。

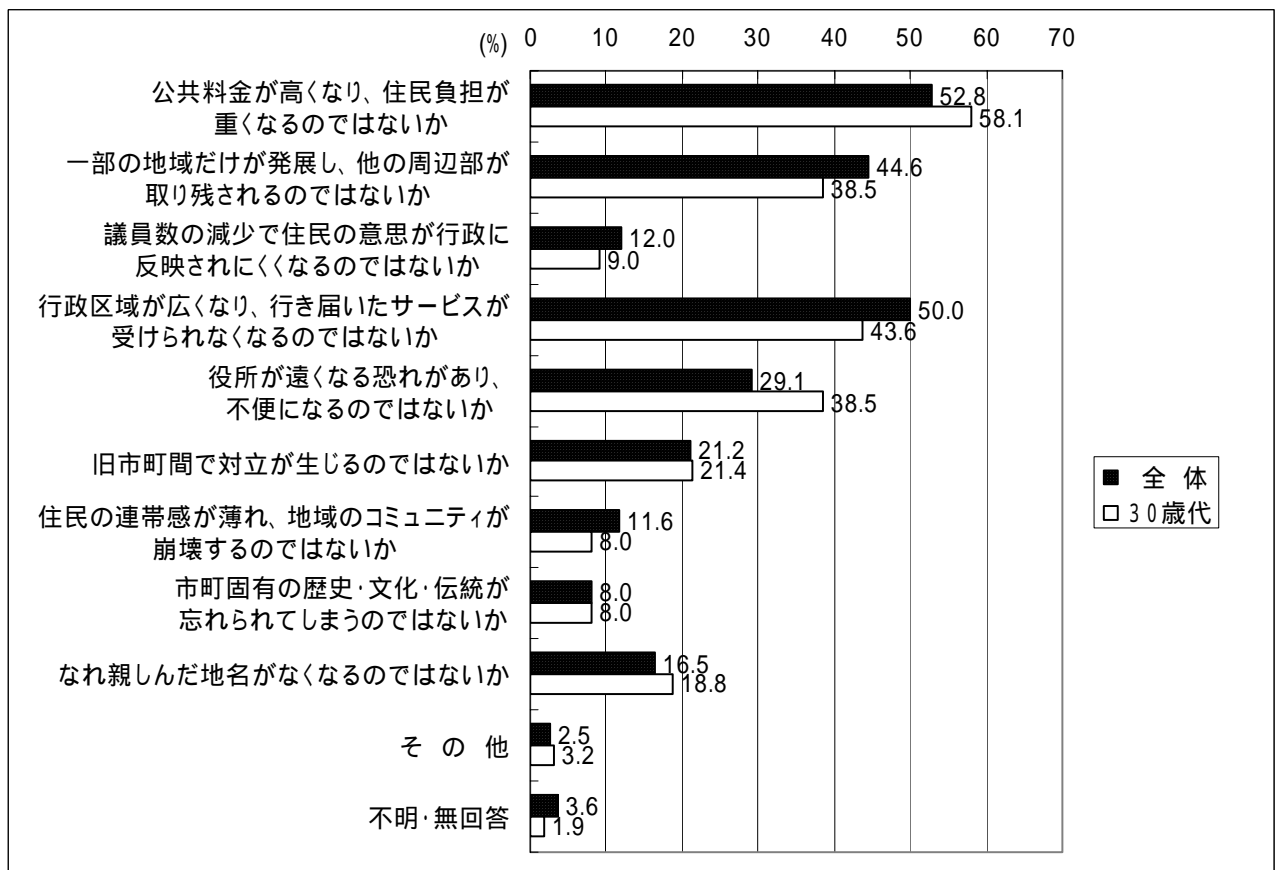
合併への不安×年齢別クロス（10歳代）



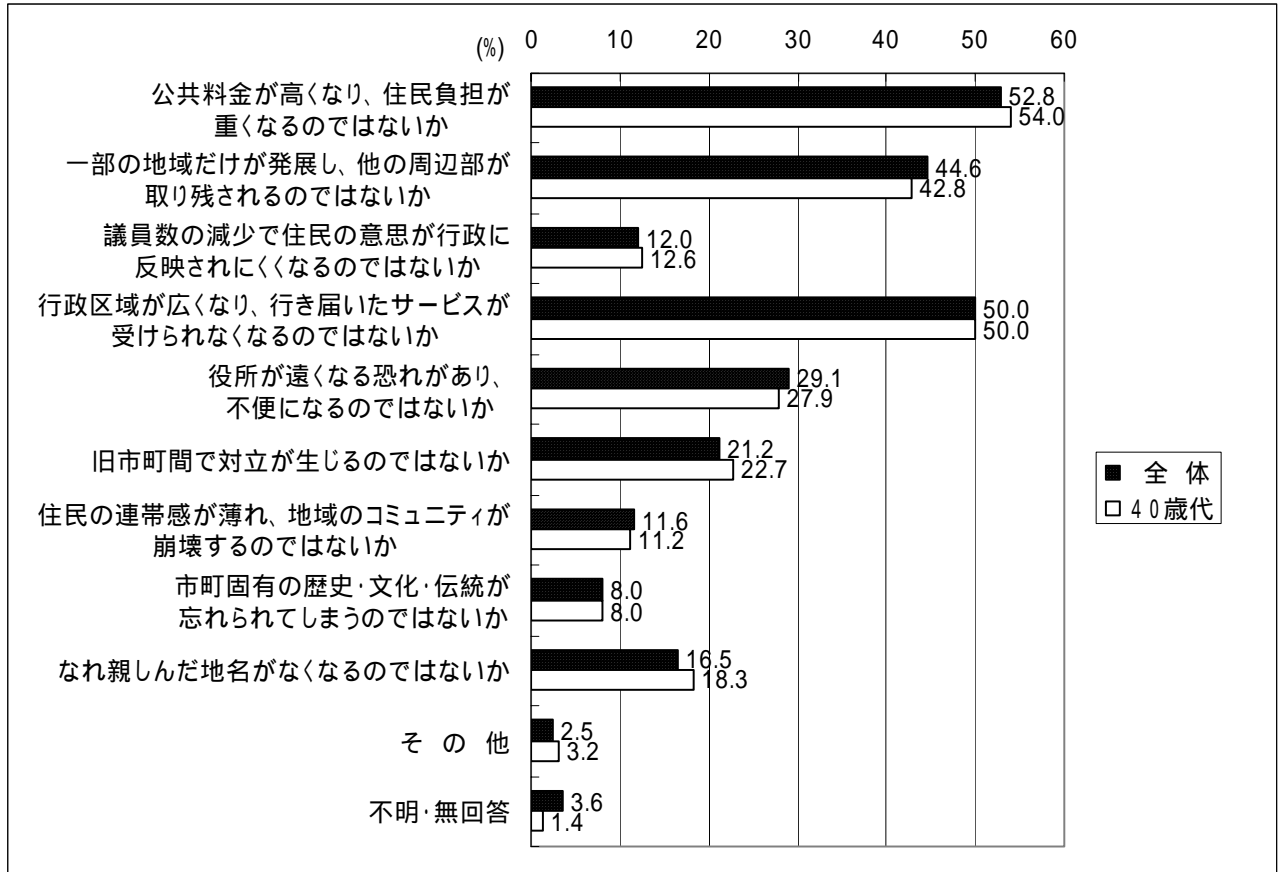
合併への不安×年齢別クロス（20歳代）



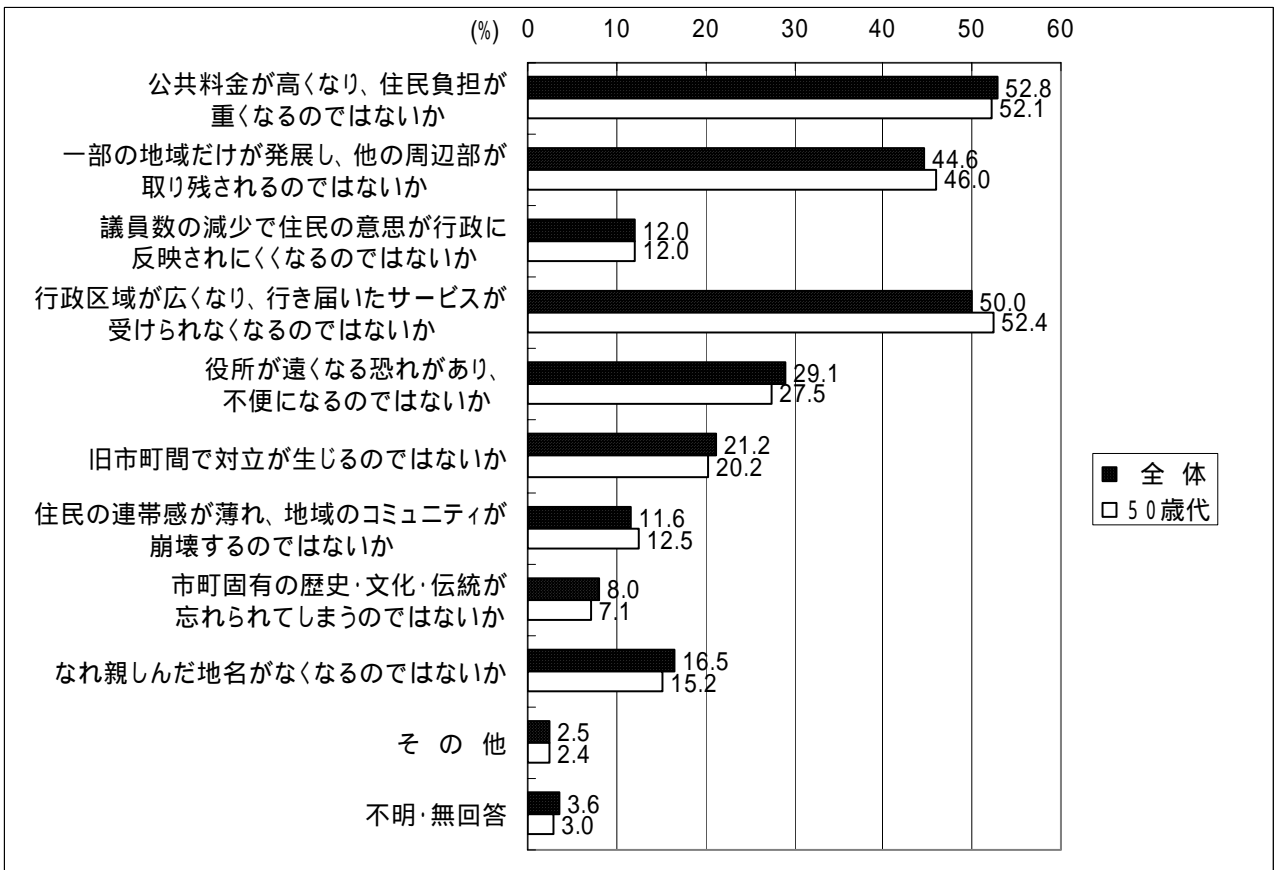
合併への不安×年齢別クロス（30歳代）



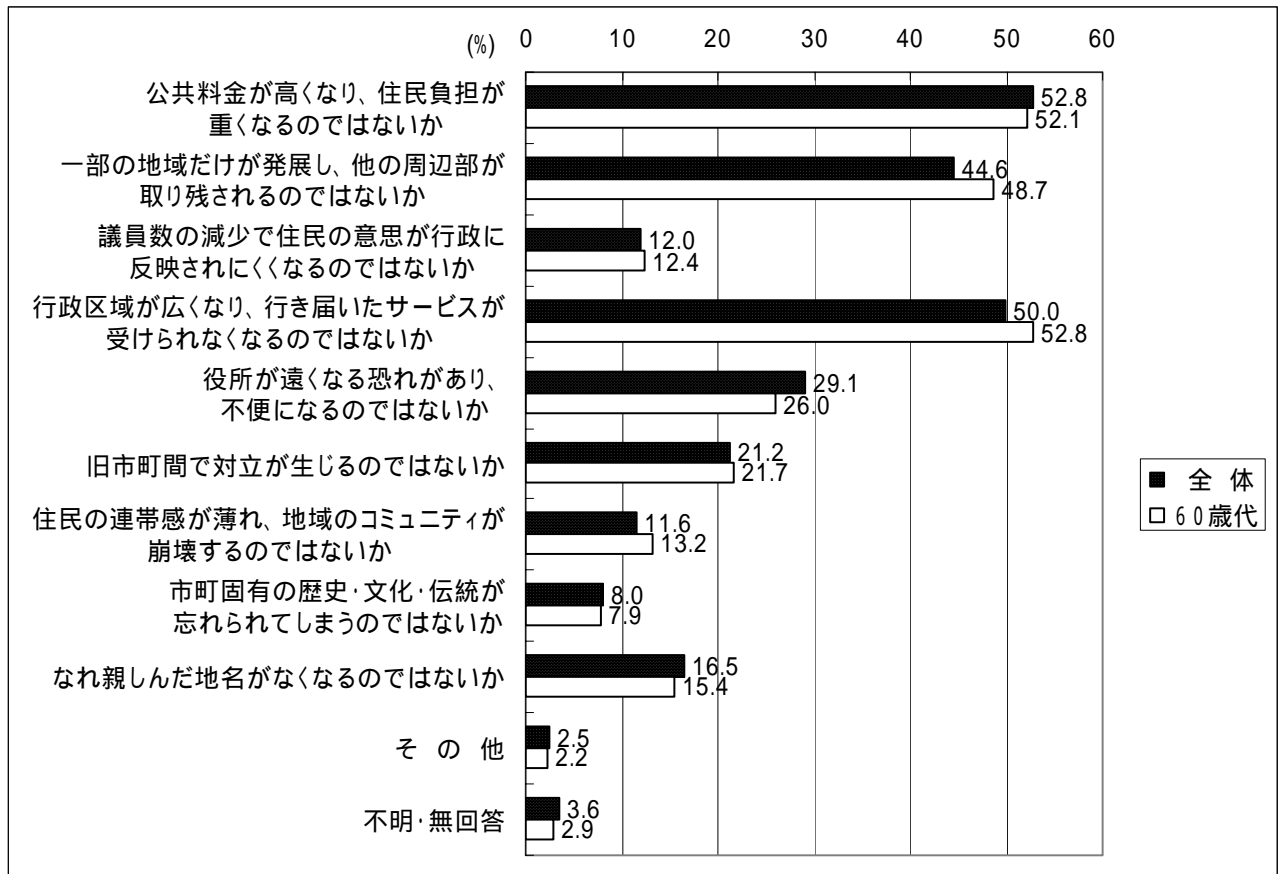
合併への不安×年齢別クロス（40歳代）



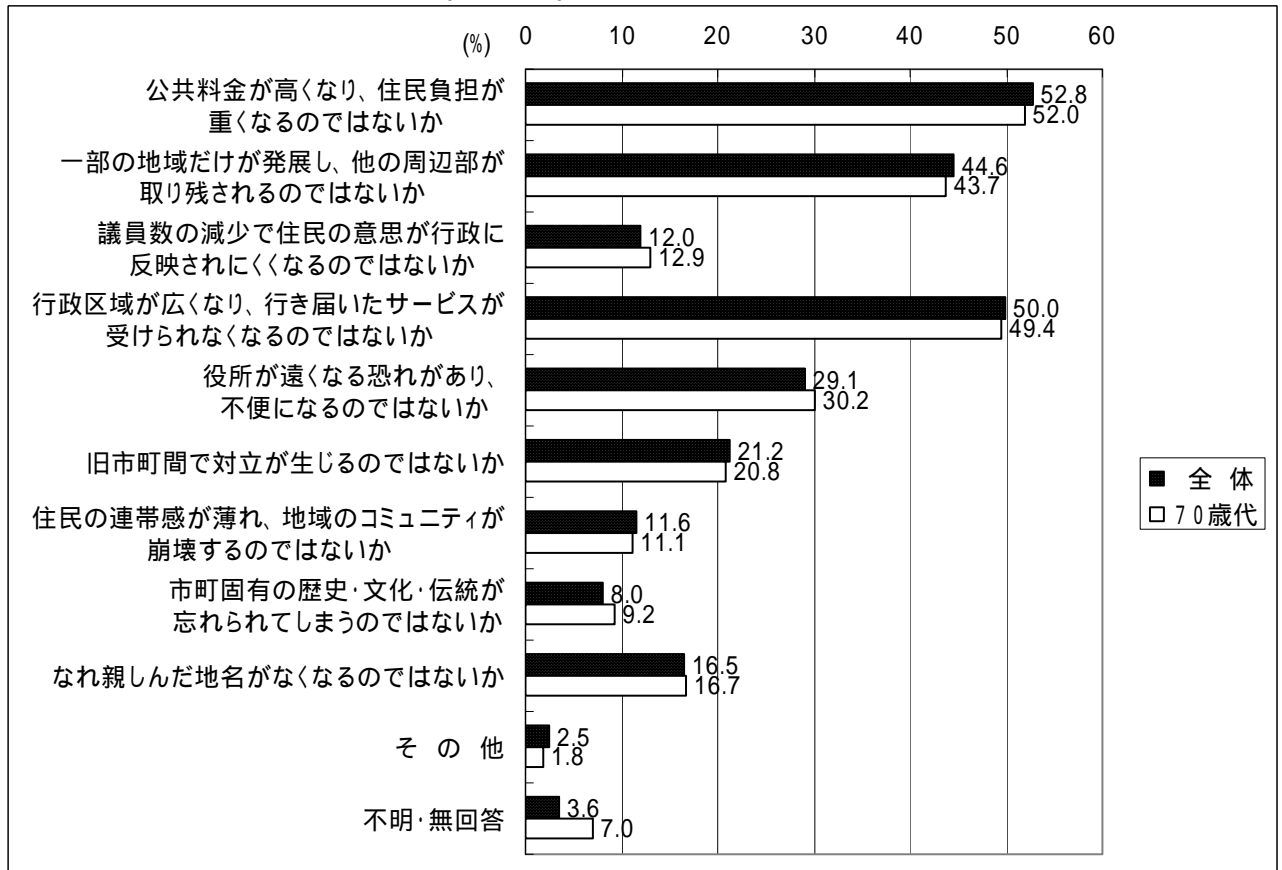
合併への不安×年齢別クロス（50歳代）



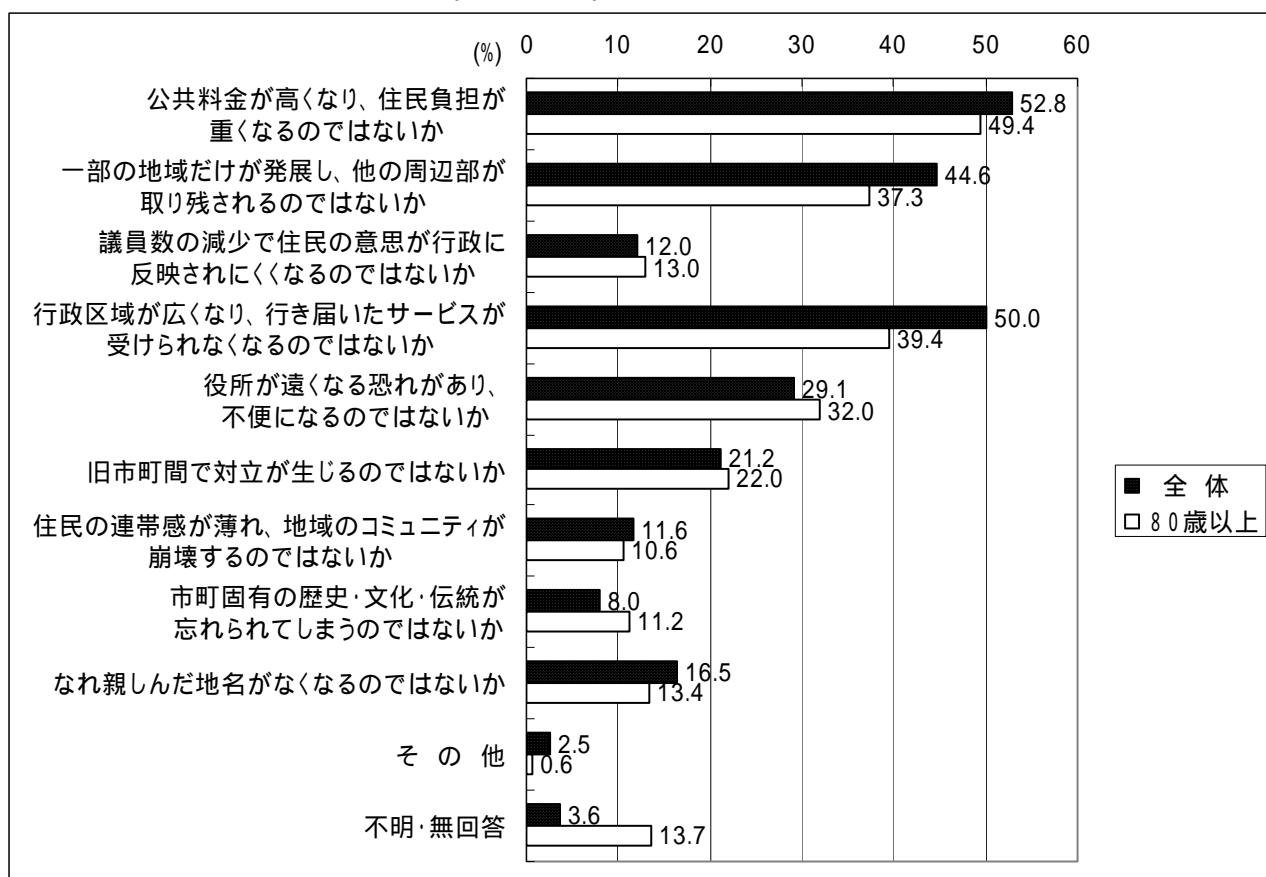
合併への不安×年齢別クロス（60歳代）



合併への不安×年齢別クロス（70歳代）



合併への不安×年齢別クロス（80歳以上）



問7 合併後の将来のまちづくりは、総合的に進める必要がありますが、特に重点を置くとすれば、どのような点が大切とお考えでしょうか。(3つ以内に)

1. 水や緑など自然を大切に守り、環境にやさしいまちづくり
2. 歴史や伝統文化にあふれた風格あるまちづくり
3. 農林水産業が活発なまちづくり
4. 商業や工業が元気な活力あるまちづくり
5. 観光客がたくさん訪れる観光のまちづくり
6. 教育や文化・スポーツなど、人づくりを基本においたまちづくり
7. 子どもを健やかに育てることができる子育てのまちづくり
8. 高齢者、障害者福祉や医療などが充実した、健康で思いやりのあるまちづくり
9. 生活環境や交通等が充実した、便利で住みやすいまちづくり
10. 地域でのまちづくり活動やボランティア活動が盛んなコミュニティ豊かなまちづくり
11. 美しい町並みや調和のとれた景色を大切にする景観のまちづくり
12. 外国人との交流が盛んな国際性豊かなまちづくり
13. 一人ひとりが尊重され、平和と人権が守られるまちづくり
14. 事故や災害のない安全で安心できるまちづくり
15. 情報や通信機能の発達した高度情報化のまちづくり
16. その他(具体的に:)

<福祉・医療の充実した健康で思いやりのあるまちづくりを求める回答が半数を超える>
「高齢者、障害者福祉や医療などが充実した、健康で思いやりのあるまちづくり」を半数以上の回答者が選択している。このほか、「水や緑など自然を大切に守り、環境にやさしいまちづくり」が36.5%、「生活環境や交通等が充実した、便利で住みやすいまちづくり」が32.5%となっている。

以下、「商業や工業が元気な活力あるまちづくり」「事故や災害のない安全で安心できるまちづくり」「子供を健やかに育てることができる子育てのまちづくり」「教育や文化・スポーツなど、人づくりを基本においたまちづくり」が20%前後で続いている。

【主なその他意見】・各市町バランスよく。・産業振興。・道路の充実。・交通利便性の向上。・人口が増えるまちづくり。・医療の充実。・治安のよいまちづくり。・行政改革。等

地域別

<各市町とも健康・環境・利便性を求める回答が多い。>

各市町とも、「高齢者、障害者福祉や医療などが充実した、健康で思いやりのあるまちづくり」が最も多くの回答を集めている。各市町で、第1位から第3位までは全体の順位と同じである。

龍野市では、「商業や工業が元気な活力あるまちづくり」「歴史や伝統文化にあふれた風格あるまちづくり」「観光客がたくさん訪れる観光のまちづくり」を大切とする回答が全体に比べやや高い比率を占めている。

新宮町では、「商業や工業が元気な活力あるまちづくり」「情報や通信機能の発達した高度情報化のまちづくり」を大切とする回答が全体に比べやや高い比率を占めている。

揖保川町では、第1位から第3位までの比率が全体よりやや高い割合を占める。中でも、「高齢者、障害者福祉や医療などが充実した、健康で思いやりのあるまちづくり」の回答が全体に比べやや高い比率を占めている。

御津町では、「生活環境や交通等が充実した、便利で住みやすいまちづくり」「水や緑など自然を大切に守り、環境にやさしいまちづくり」「観光客がたくさん訪れる観光のまちづくり」を大切とする回答が全体に比べやや高い比率を占めている。

産業振興の点からみると、龍野市では産業全般、新宮町では商工業と農林水産業、揖保川町では商工業、御津町では観光産業と農林水産業を重視するまちづくりを回答する人の割合が、全体に比べ高くなっている。

年齢別

<10歳代は多様な価値観、子育て層は子育て、教育・文化、年代の高い層では福祉・医療を望む傾向>

年齢別にみると、40歳代から70歳代で第1位から第3位が同じであり、ほぼ全体の傾向と類似している。

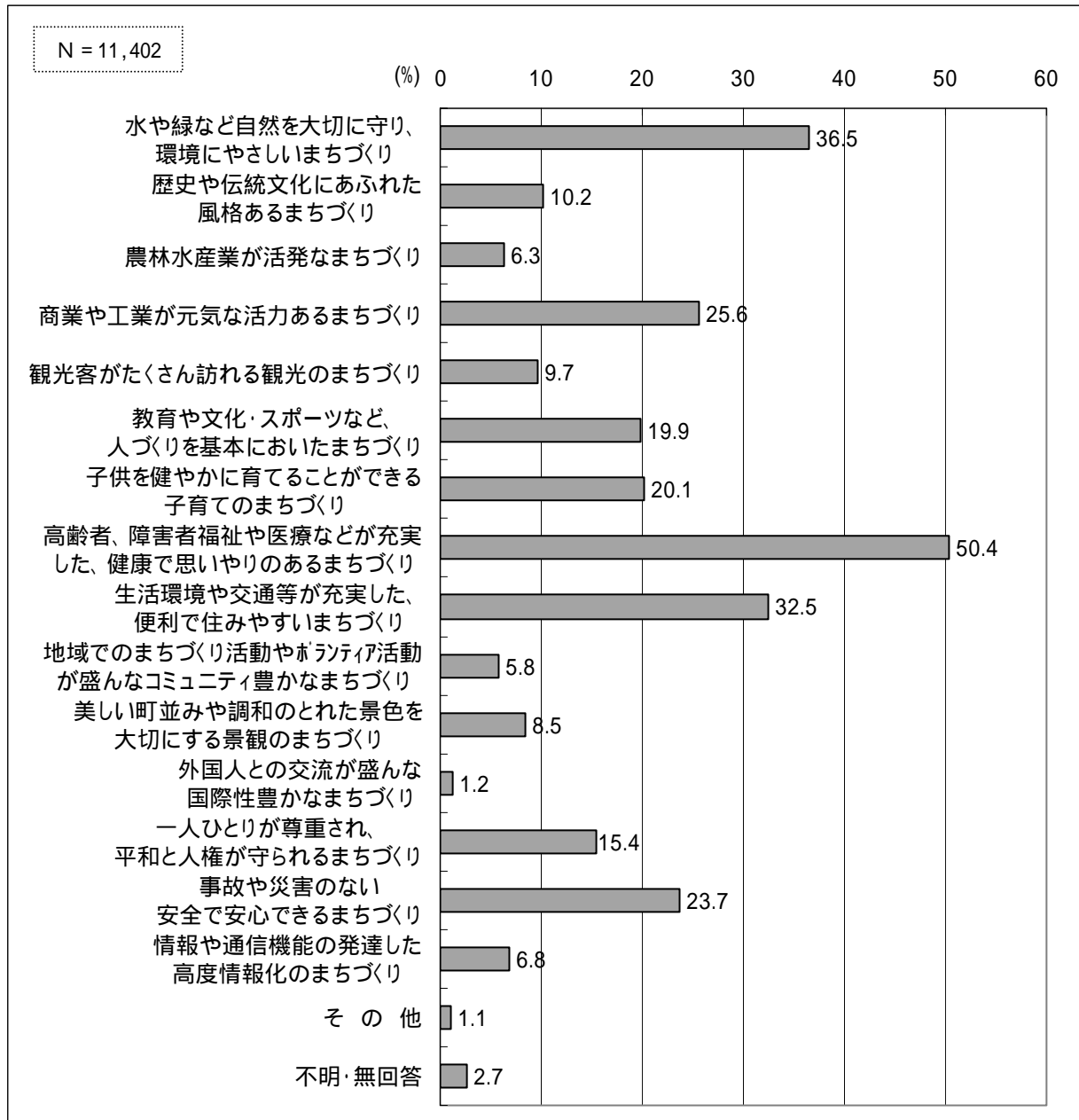
10歳代では、「商業や工業が元気な活力あるまちづくり」が50.0%と最も多く選択されている。また、「教育や文化・スポーツなど、人づくりを基本においたまちづくり」「歴史や伝統文化にあふれた風格あるまちづくり」といった項目の回答率が全体より高くなっている。

子育て中の世帯が多いと思われる20歳代、30歳代では、「子どもを健やかに育てることができる子育てのまちづくり」が半数前後の回答を得て第1位となっている。また、20歳代では、「生活環境や交通等が充実した、便利で住みやすいまちづくり」「美しい町並みや調和のとれた景色を大切に作る景観のまちづくり」が、30歳代では「生活環境や交通等が充実した、便利で住みやすいまちづくり」「教育や文化・スポーツなど、人づくりを基本においたまちづくり」といった項目の回答率が全体より高くなっている。

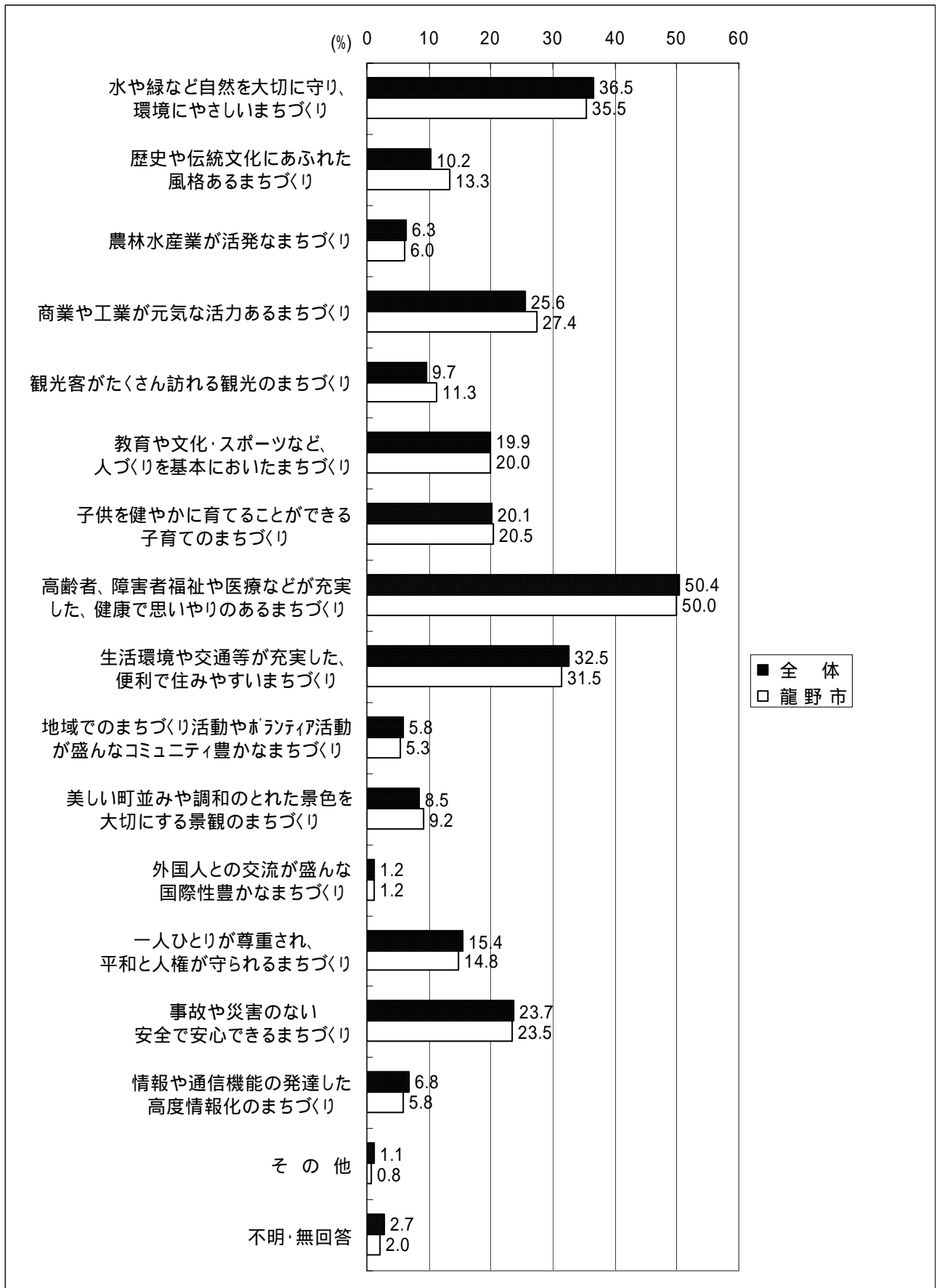
40歳代では、30歳代同様、「生活環境や交通等が充実した、便利で住みやすいまちづくり」「教育や文化・スポーツなど、人づくりを基本においたまちづくり」といった項目の回答率が全体より高くなっている。

50歳代、60歳代、70歳代、80歳以上では、「高齢者、障害者福祉や医療などが充実した、健康で思いやりのあるまちづくり」に対する回答率が全体より高くなっている。

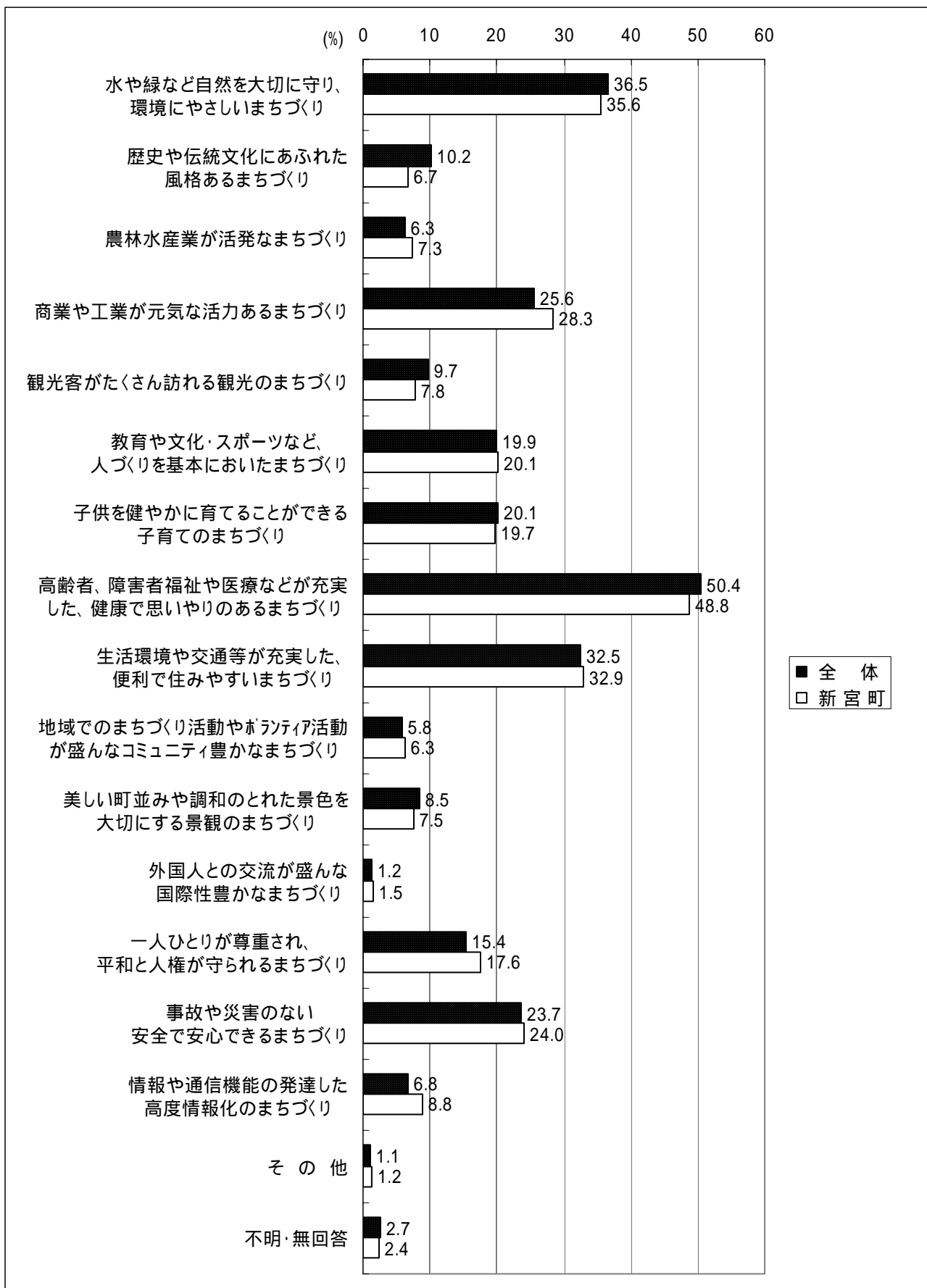
まちづくりの重点（全体）



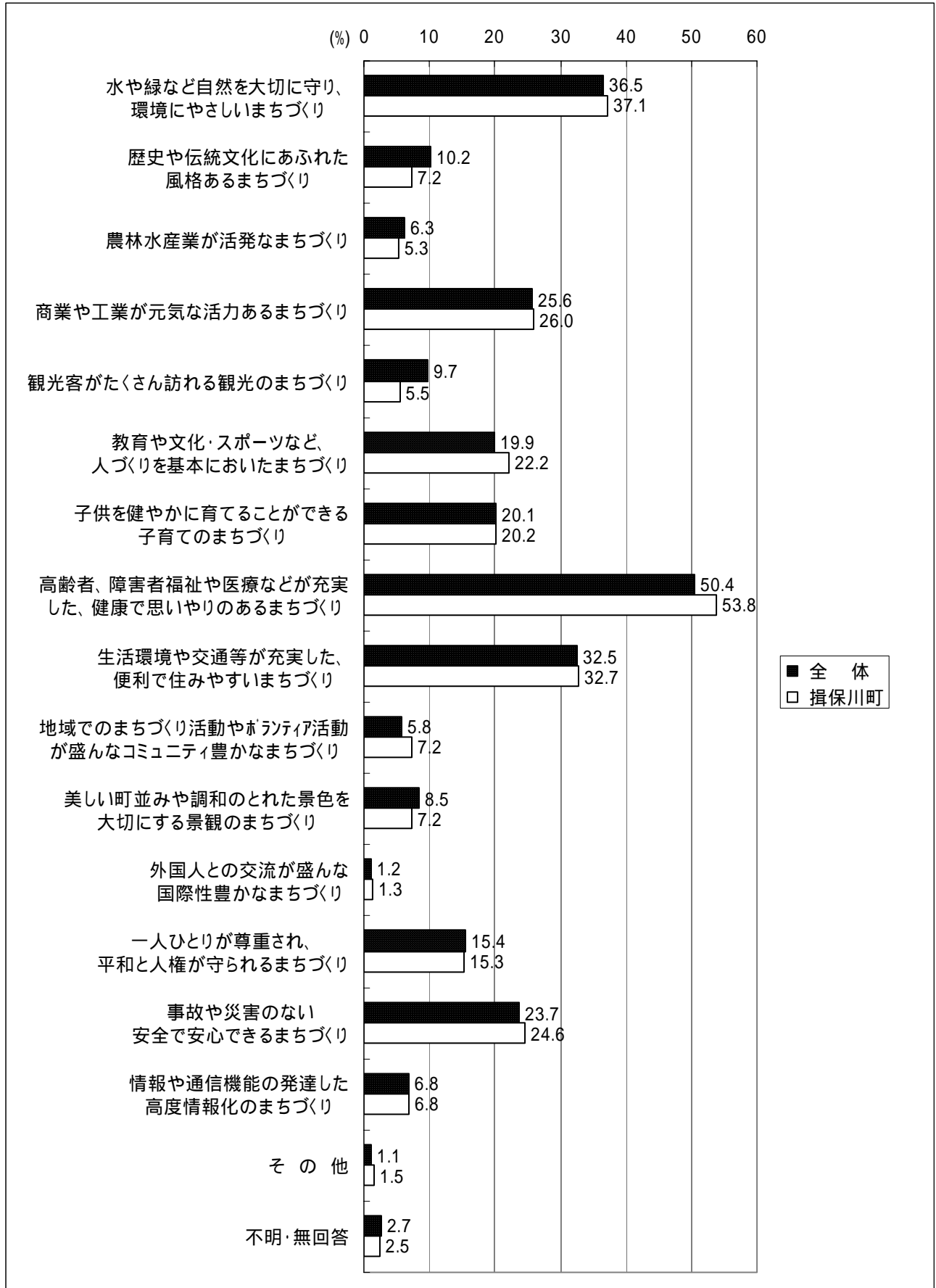
まちづくりの重点×地域別クロス（龍野市）



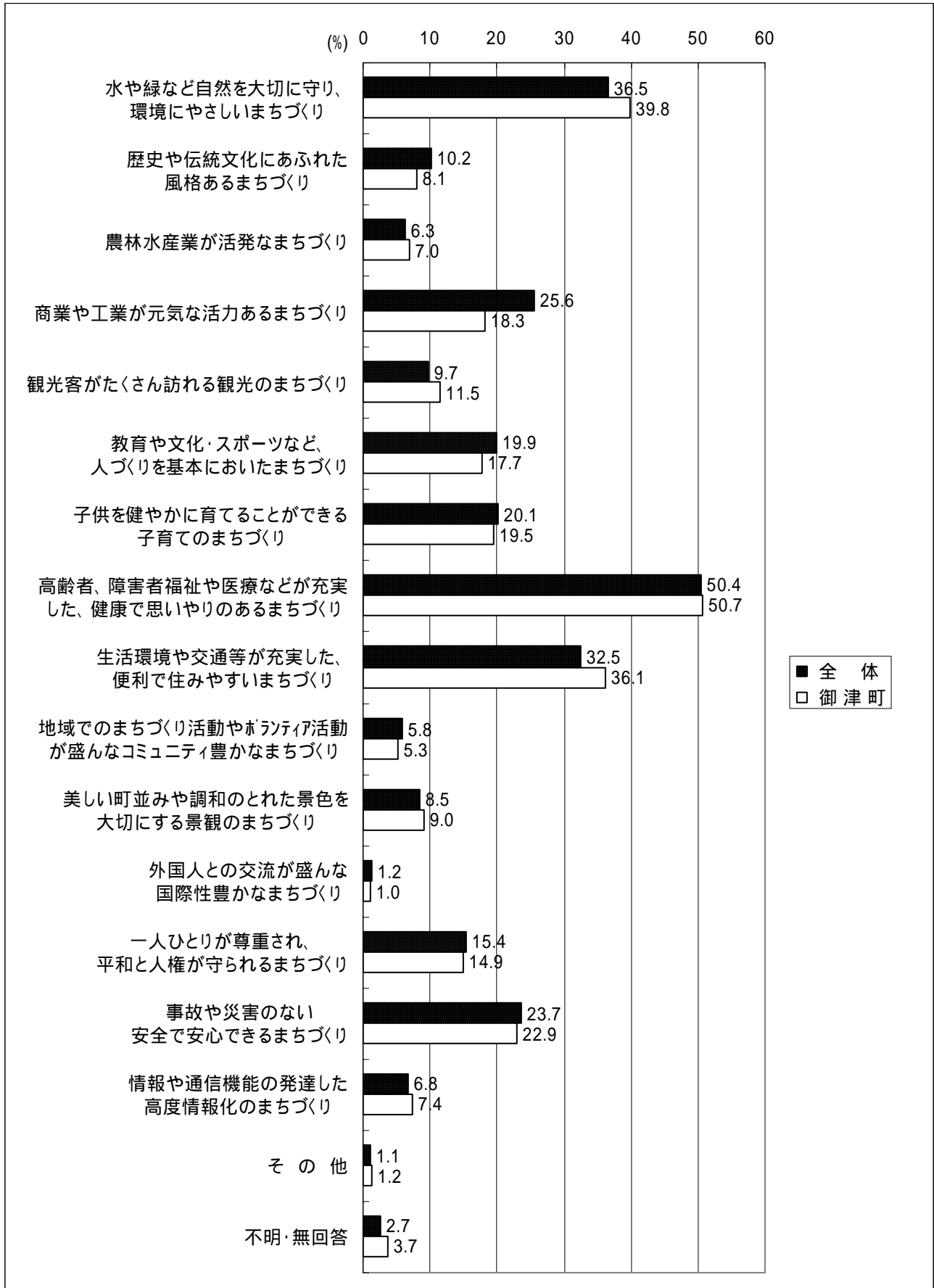
まちづくりの重点×地域別クロス（新宮町）



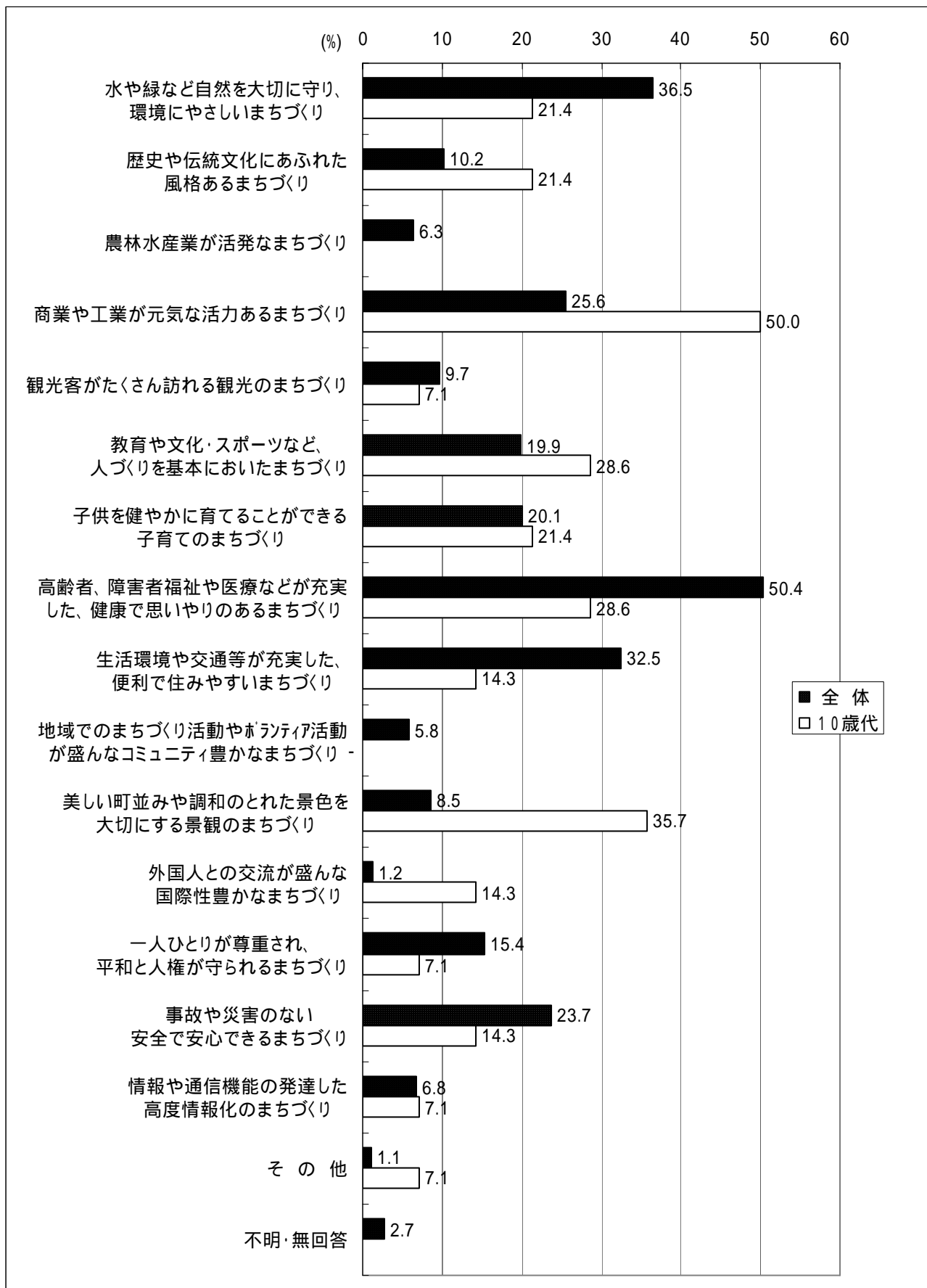
まちづくりの重点×地域別クロス（揖保川町）



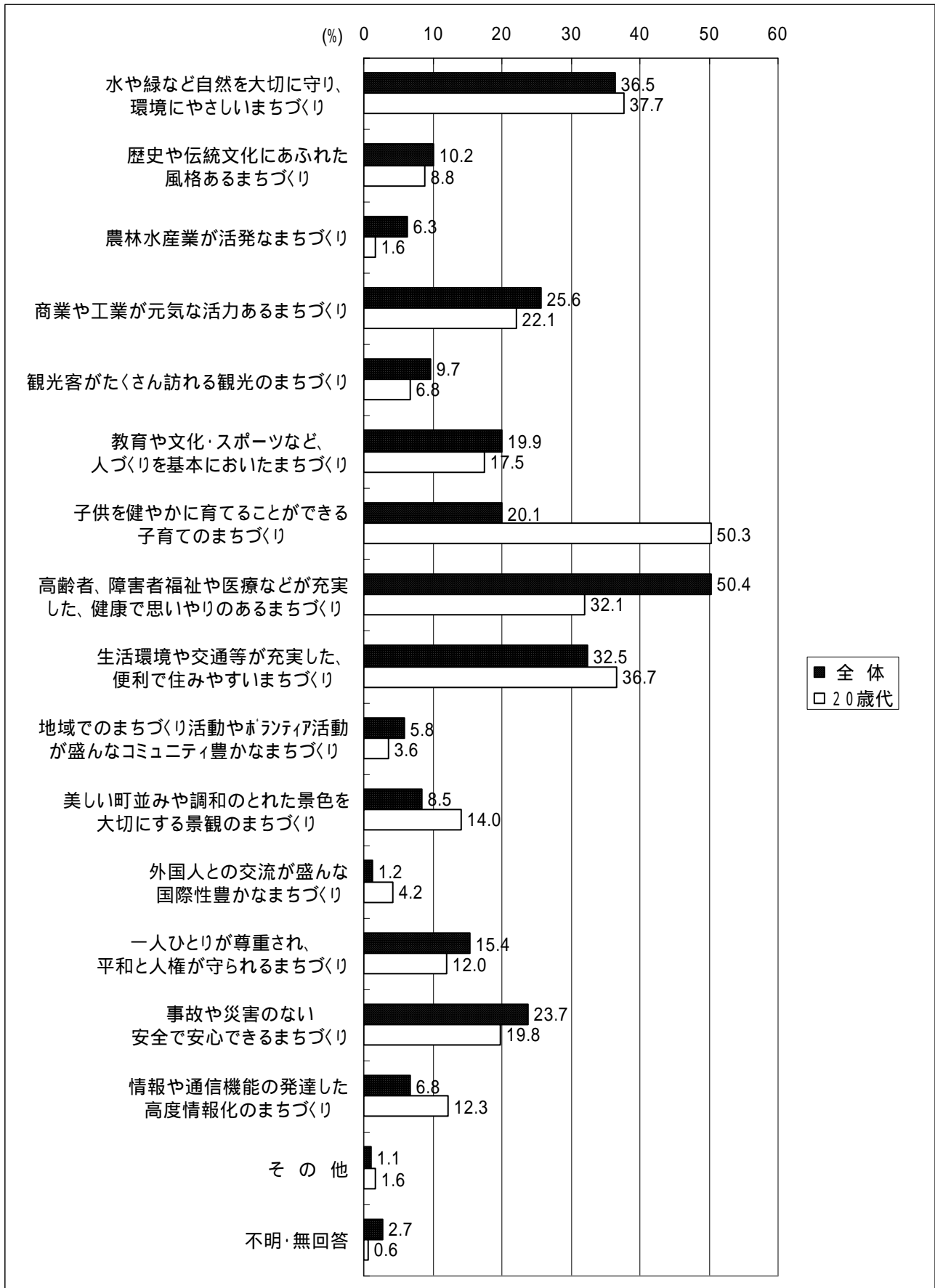
まちづくりの重点×地域別クロス（御津町）



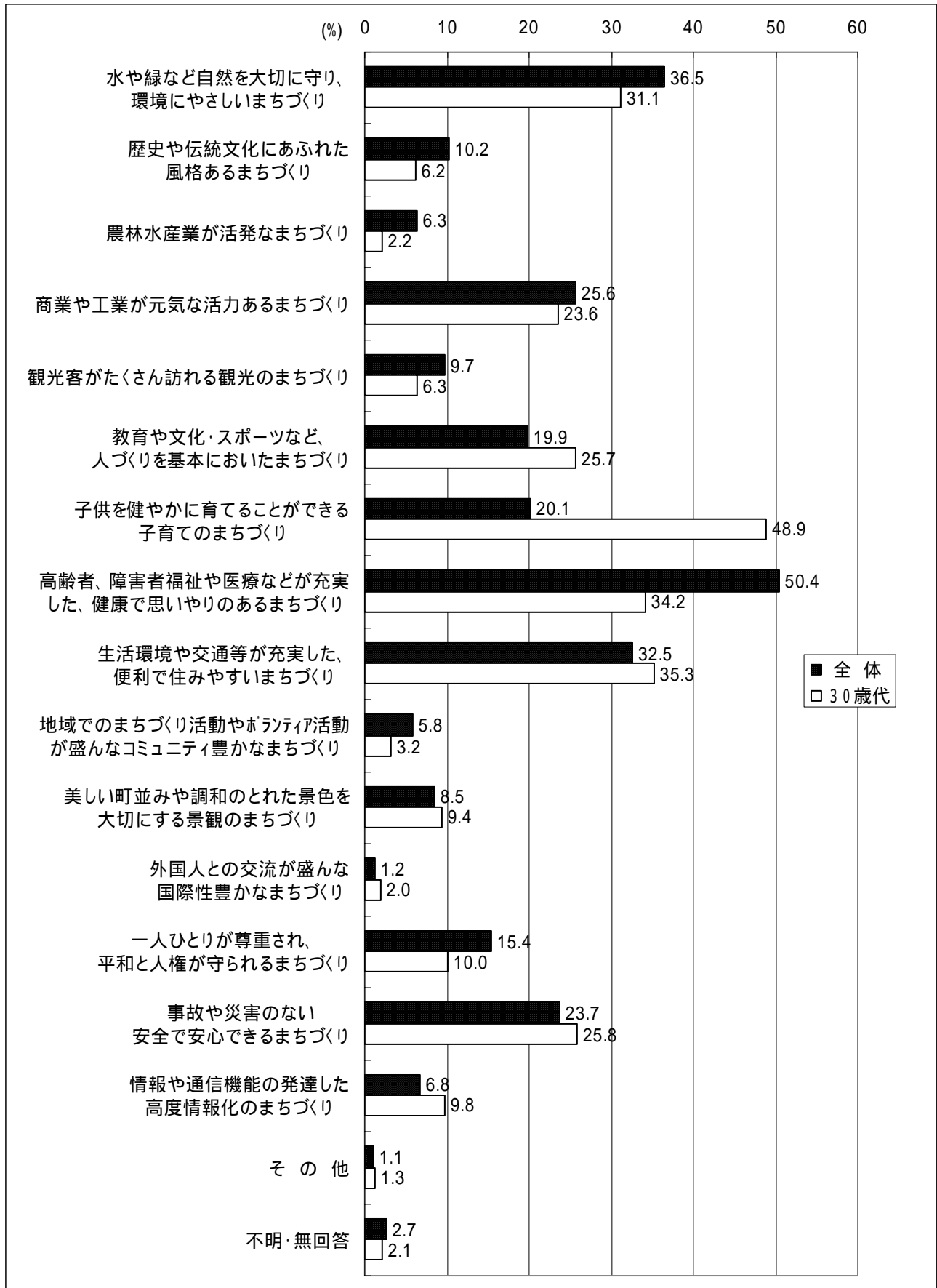
まちづくりの重点×年齢別クロス（10歳代）



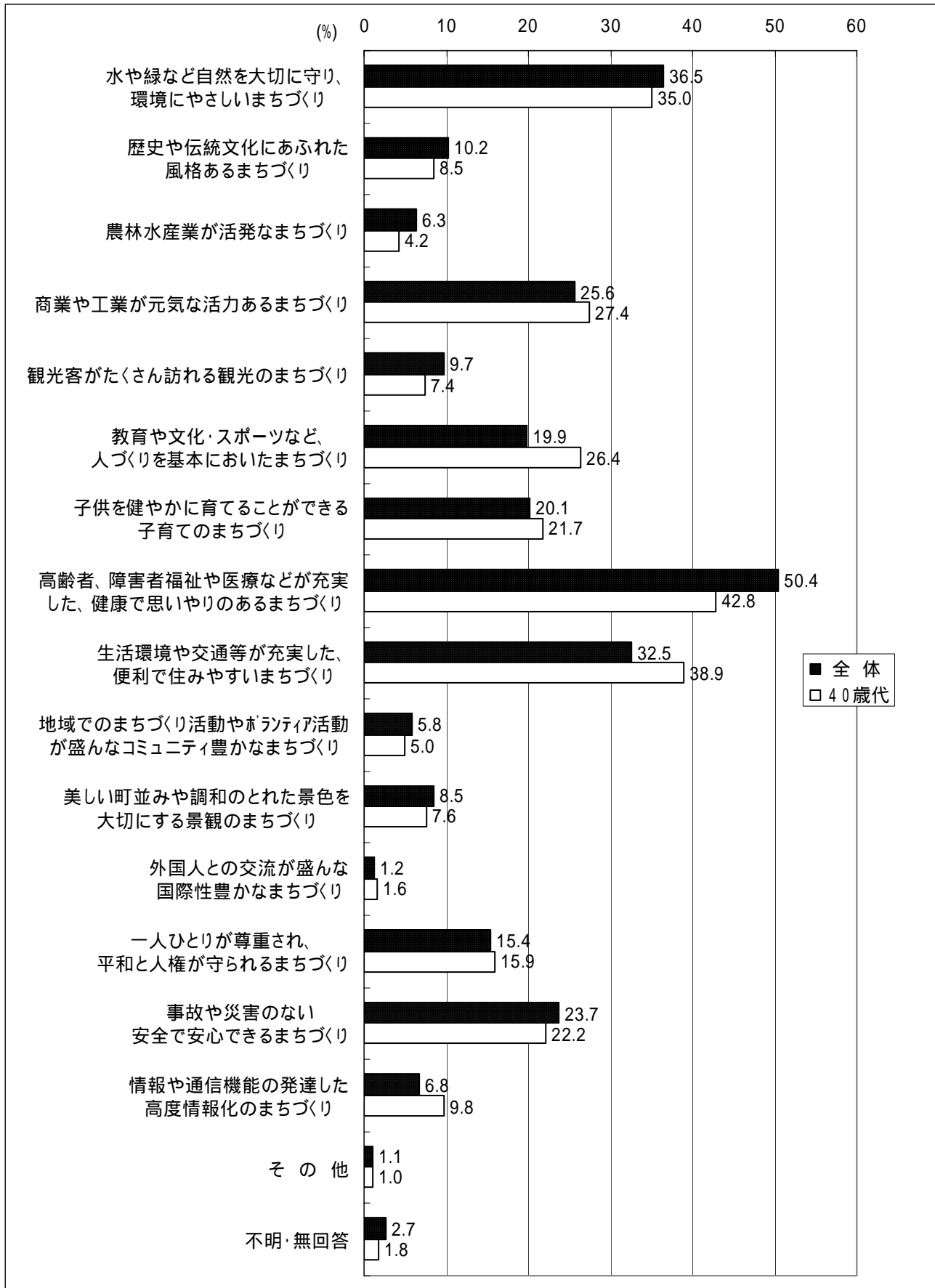
まちづくりの重点×年齢別クロス（20歳代）



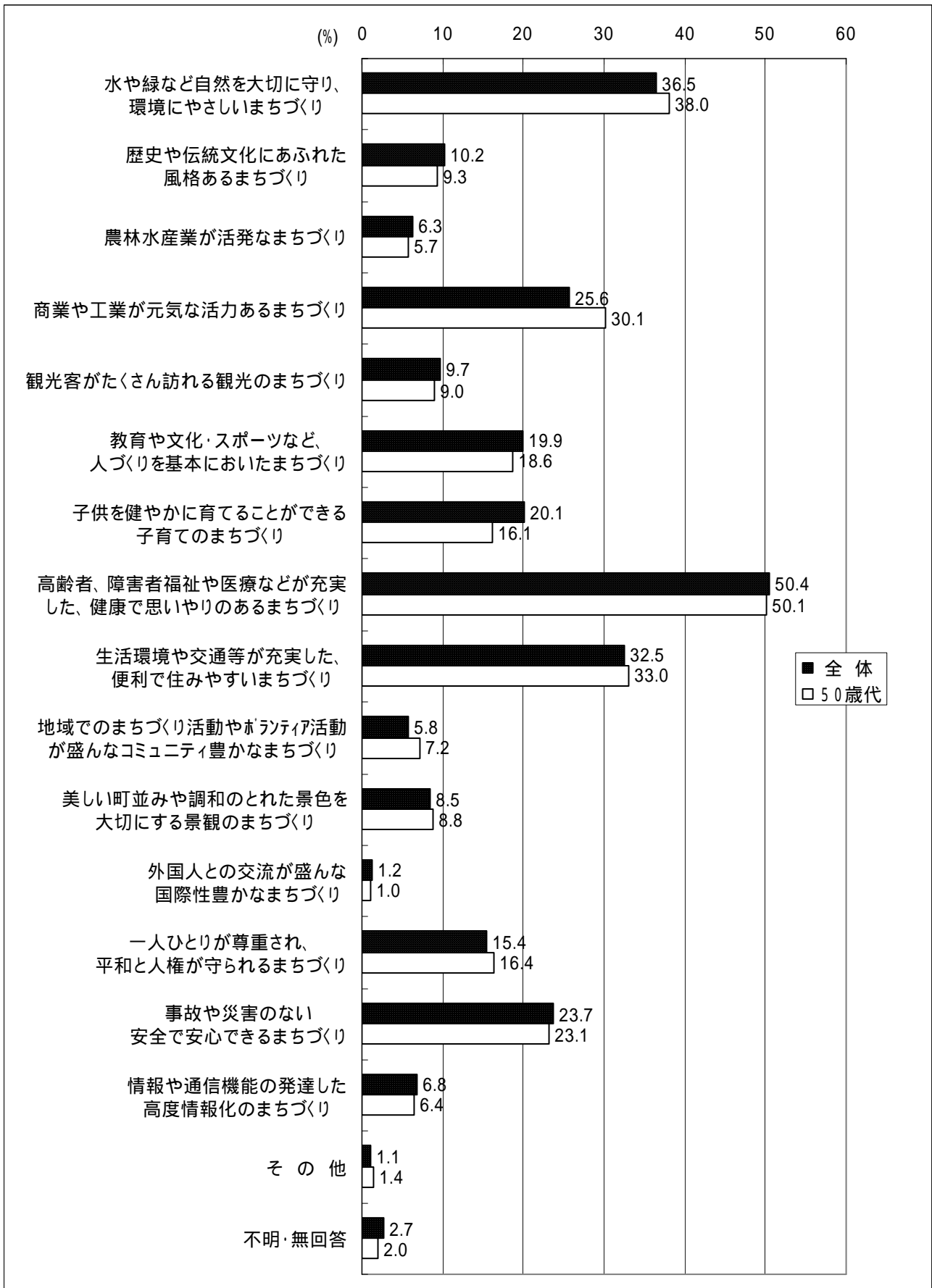
まちづくりの重点×年齢別クロス（30歳代）



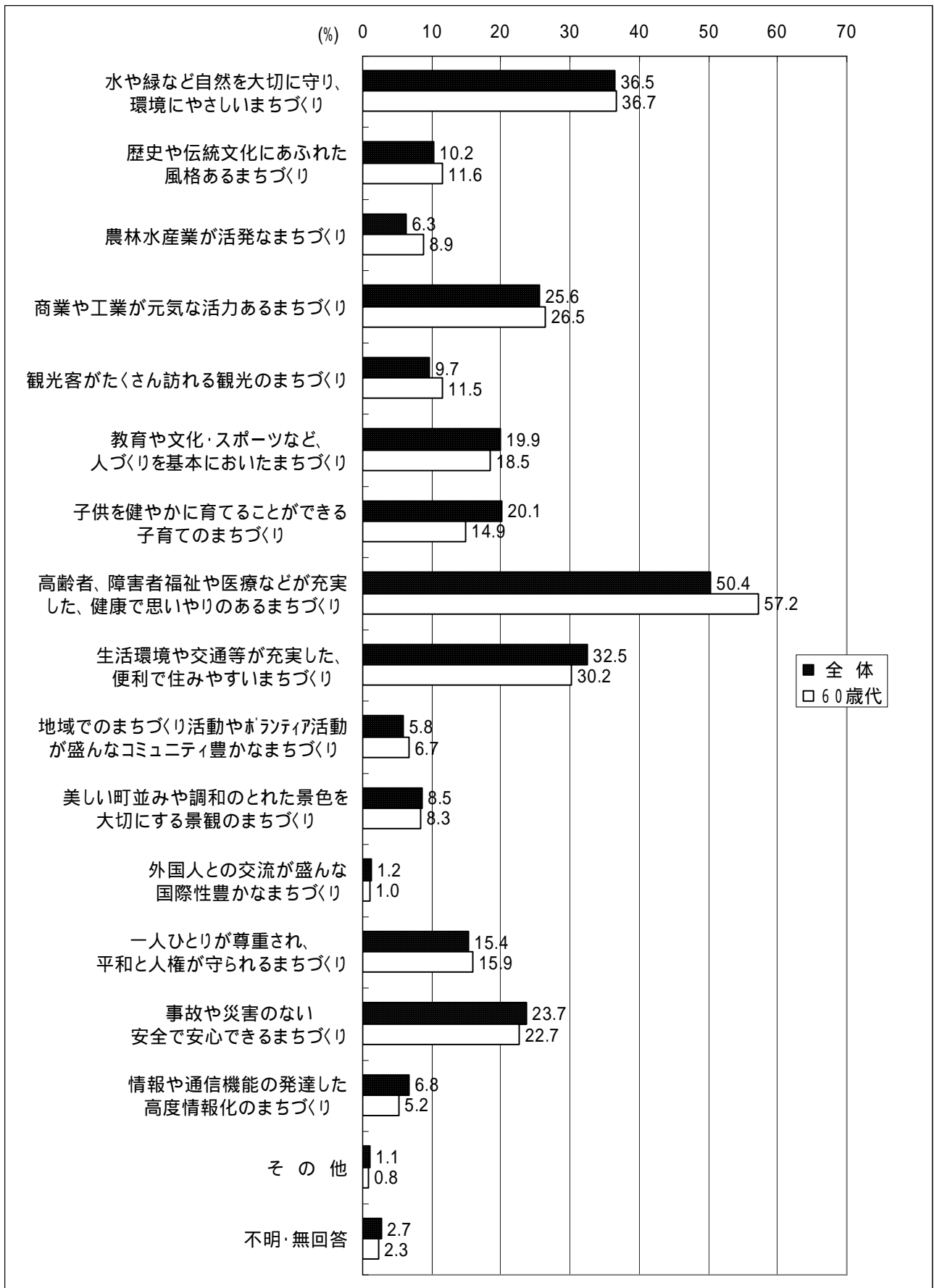
まちづくりの重点×年齢別クロス（40歳代）



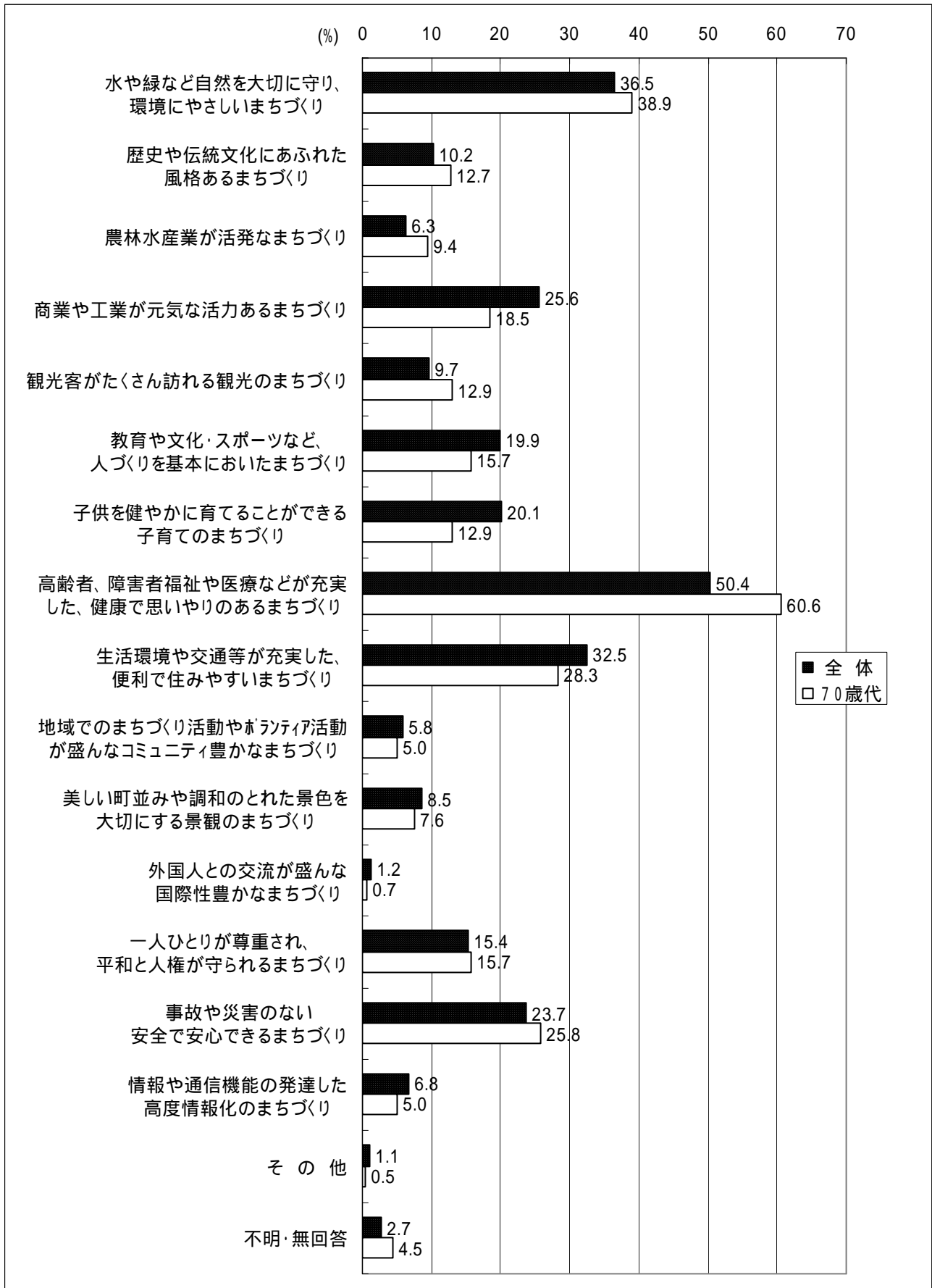
まちづくりの重点×年齢別クロス（50歳代）



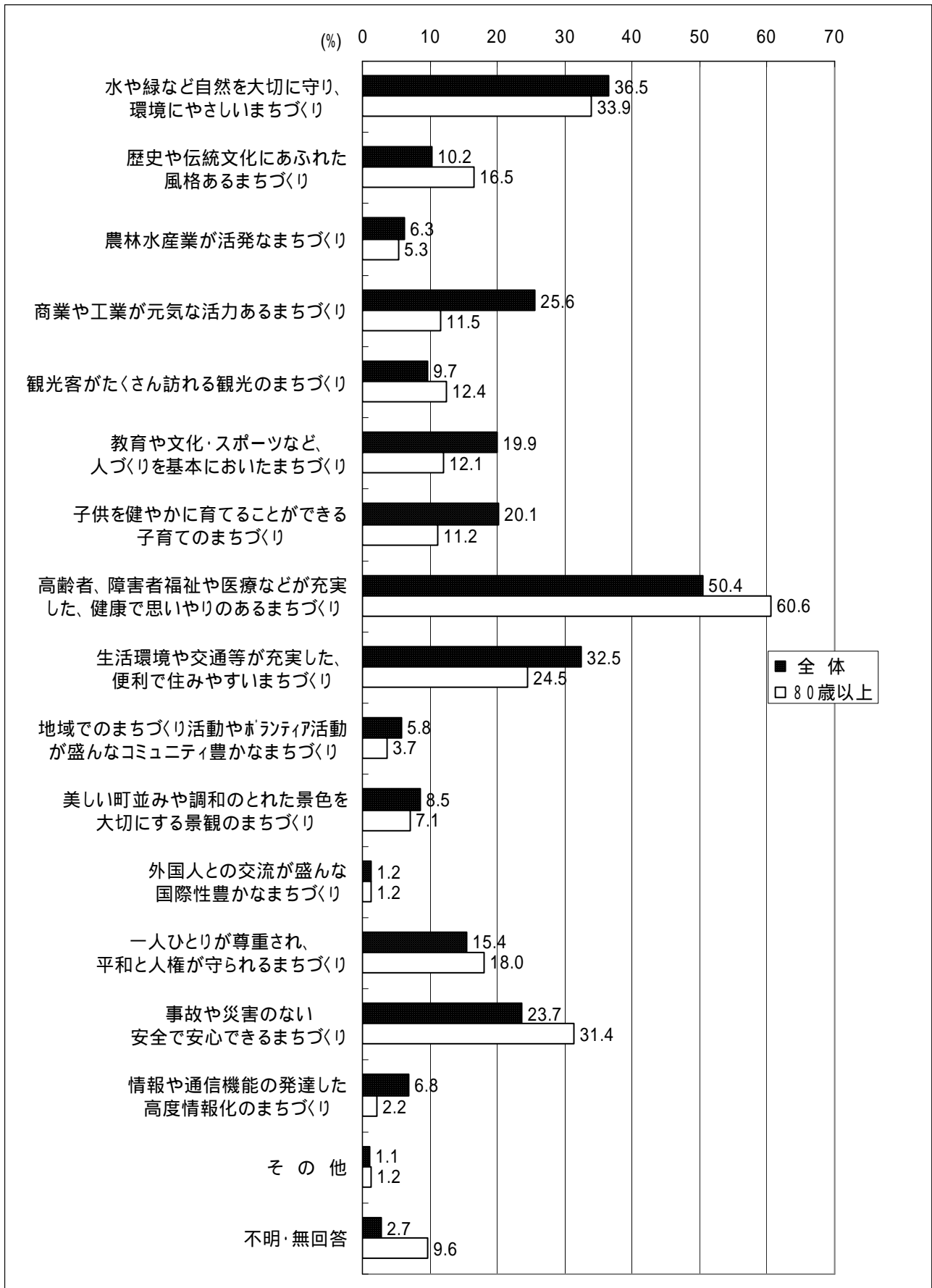
まちづくりの重点×年齢別クロス（60歳代）



まちづくりの重点×年齢別クロス（70歳代）



まちづくりの重点×年齢別クロス（80歳以上）



問8 最後に、1市4町の合併について、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

< 合併自体に関する内容が半数以上を占めている >

全回答者 11,402 人の内、3,362 人が自由記述欄に記入している。(全回答者の内 29.5%)

各回答者からの意見を内容別に分割すると、3,859 件の回答内容となった。

合併自体に関する内容が 57.0%と、過半数を占めている。その中でも情報公開と住民意思に関する内容、合併に対するスタンスや進め方に関する内容がそれぞれ 2 割を超えている。その他、合併に対する期待や希望、新市の名称や地名についても多くの声が寄せられている。

具体的な施策内容については、交流基盤整備・その他行政全般施策についてが 23.3%となっており、その中でも行財政基盤の確立に関する声が 7 割近くになっている。

その他健康・福祉施策が 7.5%、教育・文化施策が 5.1%、環境・防災施策 3.8%、産業施策 3.0%となっている。

自由記入欄まとめ

大項目	中項目	回答数	項目内比率	全体比率	
1産業施策		116	100.0%	3.0%	
	1農林水産業の振興	12	10.3%		0.3%
	2観光・交流型産業の創出	49	42.2%		1.3%
	3新産業の創出	2	1.7%		0.1%
	4地場産業の振興	40	34.5%		1.0%
	5その他	13	11.2%		0.3%
2環境・防災施策		148	100.0%	3.8%	
	1自然環境の保全と総合的な整備	69	46.6%		1.8%
	2住環境整備	6	4.1%		0.2%
	3安全・安心なまちづくり	30	20.3%		0.8%
	4循環型社会の形成	34	23.0%		0.9%
	5インフラ整備	9	6.1%		0.2%
3健康・福祉施策		290	100.0%	7.5%	
	1地域福祉の充実	14	4.8%		0.4%
	2高齢者福祉・介護の充実	61	21.0%		1.6%
	3子育て支援	45	15.5%		1.2%
	4保健・医療システムの確立	130	44.8%		3.4%
	5障害者福祉	14	4.8%		0.4%
	6その他	26	9.0%		0.7%
4教育・文化施策		197	100.0%	5.1%	
	1学校教育の充実	101	51.3%		2.6%
	2生涯学習の充実	47	23.9%		1.2%
	3歴史と地域文化の継承	22	11.2%		0.6%
	4情報基盤整備	27	13.7%		0.7%
5交流基盤整備・その他行政全般施策		898	100.0%	23.3%	
	1道路ネットワークの整備	95	10.6%		2.5%
	2公共交通の充実	142	15.8%		3.7%
	3市街地整備	33	3.7%		0.9%
	4行財政基盤の確立	628	69.9%		16.3%
	(住民負担、議員・職員の適正など経費削減、行政改革、市民サービス等)				
6本合併に関する事項		2,201	100.0%	57.0%	
	1新市名・地名	316	14.4%		8.2%
	2庁舎の位置	73	3.3%		1.9%
	3合併地域	219	10.0%		5.7%
	4情報公開と住民意思	467	21.2%		12.1%
	5合併の必要性	83	3.8%		2.2%
	6エール・期待・希望	329	14.9%		8.5%
	7反対	140	6.4%		3.6%
	8不安・疑問	80	3.6%		2.1%
	9スタンス・進め方	451	20.5%		11.7%
	10本アンケート	43	2.0%		1.1%
7その他		9	100.0%	0.2%	
合計		3,859		100.0%	

住民意向調査のまとめ

(1) 住民の活動範囲

- ・主な活動は龍野市、姫路市に集中している状況にある。
- ・地域別でみると食料品や日用品の買物、スポーツ・レクリエーションなど身近な活動については1市3町内が活動の場となっているケースも多くなっている。
- ・今後は、住民の活動に応じ、1市3町で必要な機能を明確にし、他地域との役割分担も視野に入れる必要がある。
- ・1市3町内においても、住民の活動内容を踏まえ地域特性に応じた役割を明らかにし、1市3町内でのさらなる人の流れをつくりだし、まちの活性化につなげていく必要がある。

(2) 居住環境の評価

- ・自然環境や上下水道の整備については概ね評価が高く、交通面や産業面で評価が低くなっている。
- ・地域別でも若干の差異はあるものの同様の傾向がみられる。
- ・年代別では、若い世代で多くの項目の評価が低くなっている。特に、教育・文化、保健・医療、福祉、都市基盤、地域コミュニティに関連する項目でその傾向が顕著である。
- ・今後は評価の高い自然環境を大切に、まちづくりに生かしていくとともに、評価の低い交通面や産業面について、住民の評価の向上を図り、住みよいまちづくりにつなげていく必要がある。
- ・比較的若い世代から評価が低くなっている分野について、施策を充実させていくことも考えていく必要がある。

(3) 情報の提供方法

- ・広報誌による情報提供を求める人が過半数を占める一方、地元説明会といった直接的な方法を求める人も4分の1程度を占めている。
- ・若い世代で新聞やテレビ、ホームページ等の媒体による情報を求める人が多くなっている傾向がある。
- ・今後は、広報誌を中心とした情報提供の充実を図るとともに、情報伝達対象を意識した地元説明会での丁寧な情報伝達、新聞やテレビ、ホームページなどを介した情報提供を充実させていくことが求められている。

(4) 合併への期待

- ・行財政運営の効率化が過半数を占めるほか、公共料金など住民負担の低減と行政サービスの向上、道路や公共施設の効率的な整備についても期待が高い。
- ・行財政運営の効率化については、新しいまちの規模に応じ、職員数、議員数、各種委員等の計画的な削減を進め、その数の適正化に努める必要がある。
- ・効率化によって削減された経費を有効に活用する等、住民に身近な行政サービスの充実や公共料金の適正な設定等に取り組んでいく必要がある。特に若い世代からの期待が集まっており、若い世代の期待に応える施策の検討が求められている。
- ・道路や公共施設の効率化は、広域的な視点に立った総合的な土地利用計画や交通網体系の立案、公共施設の適切な統合整備による効率的な配置等を進めていくことが求められる。
- ・40歳代までの世代から各市町の施設の相互利用について期待が高く、文化・スポーツ施設等

の充実、相互利用の促進につながる基盤整備等に取り組む必要がある。

(5) 合併への不安

- ・住民負担の増大を心配する人が半数以上を占める一方、行政区域の拡大による弊害を心配する人が多くなっている。
- ・公共料金については、合併への期待同様に若い世代からの心配が多くなっており、住民生活に直結する問題であることから、公共料金の適正な設定に努めることが重要となっている。
- ・広域化によってサービスが行き届かなくなること、一部地域だけが発展すること、役所が離れて不便になること、といった行政区域の拡大による弊害については、効率化などの効果を生かし、サービス水準の維持に努めるほか、窓口サービスなどは従来通り身近な場所で受けられるような対応が必要である。
- ・1市3町の地域ごとの特性を生かし、各地域が担う機能を明らかにし、均衡ある発展を目指すことが大切である。
- ・広域化による弊害に対しては3町からの回答が特に多くなっており、地域のバランスに配慮した取組みを進めていくことが求められる。

(6) 将来のまちづくりの重点

- ・福祉・医療の充実したまちづくり、自然環境にやさしいまちづくり、交通等の利便性の高いまちづくり、安全安心のまちづくり、商工業が活発なまちづくりなどの回答が多くなっている。
- ・若干の違いはあるが、地域別でもこの5つの項目に回答が集まっている。地域によってこの5つの項目以下について回答率に差異が出ている項目もあり、例えば産業面では龍野市で産業全般、新宮町では商工業と農林水産業、揖保川町で商工業、御津町で観光産業と農林水産業に対する回答率が高いなどの特徴が出ている。
- ・年齢別では、乳幼児や小中学校などの学校に通う子どもをもつ人が多い若い世代で子育てのまちづくりに対する回答が多いほか、教育・文化・スポーツなど人づくりのまちづくりに対する回答も全体平均よりも多くなっている。逆に年齢の高い層では福祉・医療のまちづくりを望む人が多い。
- ・居住環境評価との関係を見ると、評価の高い自然環境、環境対策や、評価の低い交通の利便性、商工業の活発さ、医療体制、災害への備え、高齢者や障害者の暮らしやすさといった項目に対し、重点的にまちづくりを進めるべきとの意見が多くなっている。
- ・居住環境評価の高い項目と低い項目にまちづくりの重点が重なる面が見え、地域の長所を伸ばす一方、短所をカバーしていくような施策展開が必要とされる。
- ・若い世代のニーズが強い子育て環境の充実や人づくりを基本としたまちづくりについても、積極的に取り組んでいく必要がある。

(7) 自由記述欄

- ・合併そのものについての意見が過半数を占めているのと、住民負担や職員・議員数の適正化など行財政基盤の確立に関する内容についての意見が多くなっている。
- ・合併後の行財政運営についても、合併の効果を最大限に生かせるよう、積極的な取組みを進めていくことが求められている。